



長崎大学病院

長崎大学病院 医療教育開発センター

〒852-8501 長崎市坂本 1-7-1

TEL : 095-819-7874

<http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kaihatu/>

2016年2月発行 Ver5

長崎大学病院群

たすきがけ病院 ガイドブック

長崎で学ぶあなたのためのベストプログラム

NAGASAKI UNIVERSITY
HOSPITAL

HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING



長崎大学病院



どのような研修が一番いいか？ この質問を何度も 受けたことがあります。

私は、市中病院で、多くの研修医と働いた経験から、
全国の様々な教育病院を回り、様々な指導者と話した経験から、
カナダやアメリカで医学教育を学んだ経験から、
そして、たくさんの医学生と話した経験から、
確信をもって言えることがひとつあります。

日本では、大学に一定期間(8か月～1年前後)＋市中病院に一定期間(8か月～1年)の研修がベスト。

そして、いい研修とは、結局は、あなたのやる気次第。

どんな有名な病院で研修しても、やる気がない人はダメだし、どんな劣悪な環境で働いても
やる気がある人には、必ず実力がついてくる。

さらに、大事なことは、あなたの力を伸ばしてくれる指導医にめぐり合うこと、
あなた自信が気づかないあなたの未知の力を引き出して、伸ばしてくれる多様多彩な指導陣に出会うこと。

この<たすきがけ病院ガイドブック>には、あなたのためのベストの研修プログラムがあります。

自信を持ってそう言い切るのは、150年以上続いた日本で最も歴史のある教育病院だからではなく、
私たちは、日本一の教育病院を目指して、常に、最大限の努力を続けているからです。

ぜひ、長崎大学病院群で初期研修を！
待ってます！

長崎大学病院 医療教育開発センター
センター長 浜田 久之

PROFILE◎略歴

大分医科大学卒業。医学生時代より学習塾を経営する異色の経歴。初期研修は、長崎大学内科で1年＋大分県立病院1年、内科を中心にローテイト。その後、中小の野戦病院でプライマリケア＋消化器疾患を担当。10年間の長崎医療センター勤務で、総合診療病棟を立ち上げ、多くの研修医と働き、研修医教育の基盤を作る。カナダのトロント大学へプライマリケアと臨床教育を学ぶために2年間留学。2008年より長崎大学病院へ。＜若人が集う長崎大学病院＞をスローガンに、スタッフと共に、日本一の教育病院作りに日々奮闘している。

研修プログラム決定の流れ(1)

(日程は年度毎に変更あり)

医師臨床研修マッチング参加登録(開始6月下旬～締切8月上旬)

長崎大学病院群卒後臨床研修プログラム応募(6月下旬～8月初旬)

マッチング決定後に
たすきがけ病院の
希望調査をします！

長崎大学病院群研修面接試験受験(7月下旬～8月下旬)

医師臨床研修マッチング希望順位登録(9月中旬開始～9月下旬中間公表前締切～10月中旬最終締切)

長崎大学病院群プログラム2つのうちのいずれかにマッチ(10月下旬発表)

たすきがけ病院の決定の流れ(2)

たすきがけ病院は
ゆっくり
決められます！

たすきがけ病院の希望調査(1)(コース、たすきがけ病院・地域研修先施設等)(11月)

コースとたすきがけ病院・地域研修先施設の振り分け

個人個人の
意見を聞いて
調整します！

個別調整(面接・電話・メール等)(12月)

ローテーションする研修診療科の希望調査

最終決定

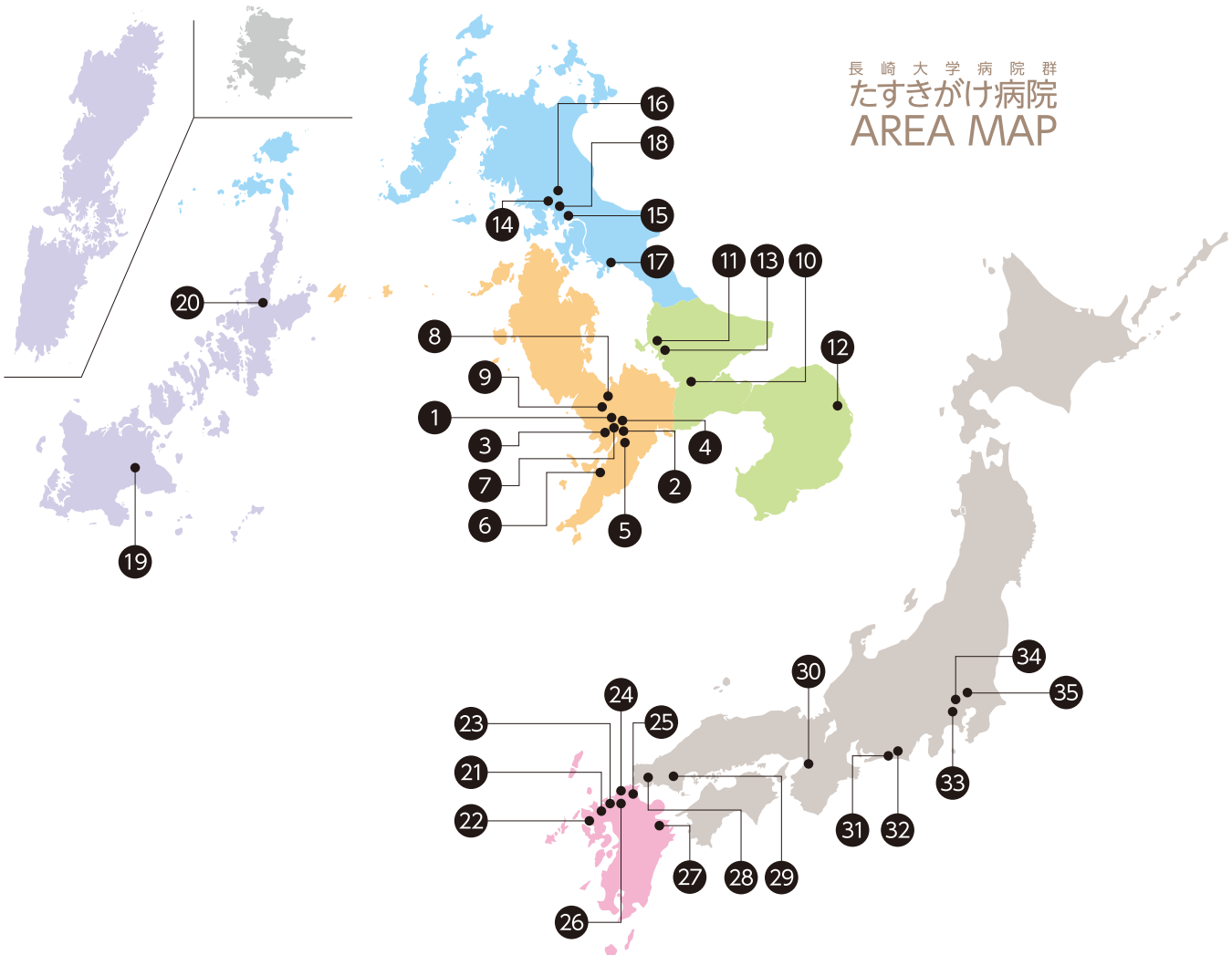
CONTENTS

長崎大学病院群
たすきがけ病院
ガイドブック

長崎で学ぶあなたのためのベストプログラム
NAGASAKI UNIVERSITY
HOSPITAL
HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

長崎大学病院 医療教育開発センター長あいさつ

たすきがけ病院決定までの流れ	01
病院所在地図	02
協力病院一覧	03
救急医療教育室	04
研修プログラム紹介	07
平成28年度 長崎大学病院 初期研修プログラムスケジュール	10
コース説明(A, B, C, Eコース)	11
コース説明(Dコース)	12
特別コースの紹介	14
アカデミックコース	17
各病院紹介	18-87
A・Bコースで研修可能な診療科	88
Dコース(新・鳴滝塾トライアングルコース)で研修可能な診療科	90
お問い合わせ先一覧	92



協力病院一覧	基本プログラム			アカデミック コース 大学進学・ NU-CLEAR	紹介 頁
	Aコース	Bコース	Dコース 新・鳴滝塾 トライアングルコース		
1 長崎大学病院	●	●	●	●	18
2 長崎みなとメディカルセンター市民病院	●	●	●	●	20
3 日本赤十字社長崎原爆病院	●	●	●	●	22
4 済生会長崎病院	●		●	●	24
5 上戸町病院	●		●	●	26
6 長崎記念病院	●		●注 1	●	28
7 井上病院	●		●注 1	●	30
8 光晴会病院			●注 1	●	32
9 虹が丘病院	●		●注 1	●	34
10 諫早総合病院	●	●	●		36
11 市立大村市民病院	●		●		38
12 長崎県島原病院	●		●		40
13 国立病院機構長崎医療センター	●		●		42
14 佐世保市総合医療センター	●	●	●		44
15 佐世保中央病院	●		●		46
16 長崎労災病院	●		●		48
17 国立病院機構長崎川棚医療センター	●				50
18 佐世保共済病院	●		●		52
19 長崎県五島中央病院	●		●		54
20 長崎県上五島病院			●		56
21 国立病院機構佐賀病院	●				58
22 国立病院機構嬉野医療センター	●				60
23 福岡青洲会病院	●	●			62
24 北九州市立八幡病院	●				64
25 北九州総合病院	●				66
26 田川市立病院	●				68
27 大分県立病院	●				70
28 山口県立総合医療センター	●				72
29 周南記念病院	●				74
30 医誠会病院	●	●			76
31 浜松医療センター	●				78
32 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院	●				80
33 練馬光が丘病院	●				82
34 聖マリアンナ医科大学病院	●	●			84
35 東京北医療センター	●				86

●● A・Bコースで研修できる診療科については、○ページの一覧表をご参照ください。
● Dコース(新・鳴滝塾トライアングルコース)で研修できる診療科については、○、○ページの一覧表をご参照ください。
● Dコース(新・鳴滝塾トライアングルコース)の詳細については、12,13ページをご参照ください。
※注1：新・鳴滝塾の構成病院ではありませんが、Dコースで選択可能です。

救急医療教育室 2014年4月始動!!!

救急医療の
実力をつける

初期～2次救急症例を指導する研修医のための専門部署

救急医療教育室では、初期・2次の患者を受け入れている2つの市中病院の救急外来に、センター専任教員と一緒に勤務。マンツーマン指導の元、あらゆる救急患者のファーストタッチを経験できます。

3次救急はこれまでどおり、長崎大学病院の救急救命センターで学べるため、救急医療教育室が誕生することで初期から3次まで、あらゆる救急医療を経験できるようになりました。

長崎大学病院
救急救命センター

生命の危機を伴う、緊急度や重症度の高い患者を中心に診療する**3次救急**を受け持っています



長崎大学病院の救急救命センターでは重症救急患者の対応から救急の基本を学ぶことができます。

市中病院
救急外来

家庭では処置できない治療や手術を必要とする患者を中心に診療する**初期・2次救急**を受け持っています



市中病院の救急外来では、たくさんの症例のファーストタッチを経験できます。



救急医療教育室の基本システム

救急医療教育室で外来救急を研修できるのは、済生会長崎病院と長崎記念病院の2病院です。

研修医は多くのプライマリ患者を経験することができるほか、初期・2次救急の現状を肌で感じることができます。



長崎大学病院
救急医療教育室

センター病院の専任教員が研修医と共に週3～4日程度勤務します。また月に数回輪番当直します。

地域研修中の研修医にセンター専任教員が付き添い、週に半日～1日、救急外来部門に勤務します。



済生会長崎病院



長崎記念病院

救急医療教育室で研修医が入ることは、2つの病院にとっても、「常勤医の疲弊軽減」「大学との連携強化」「病院の活性化」などのメリットがあり、地域の救急医療に貢献できるシステムになっています。

救急医療教育室長の長谷敦子教授からメッセージ

救急医療教育室長
長谷敦子教授

「教育が救急医療を変える」をモットーに、
長崎から地域の救急医療を変えようと
希望に燃える長谷教授。

マンツーマンで皆さんを指導します！一緒に成長していきましょう。

4月から始動し研修医の成長を感じたことはどんなことですか？
→最初の頃、診察時に患者さんに対して緊張を隠せなかった先生方が、丁寧な診察や症状が良くなった事へのお礼を言われ、充実感を味わっている様子、研修を重ね自信を持って対応している様子を見ると、長足の進歩を感じます。軽症・中等症救急患者の初期対応を危なげなく行えるようになり、その中に潜む重症患者を見逃さない！という意思が浸透し、医師としての自覚や使命感がしっかりと芽生えている事が何え、指導医冥利につきます。

救急医療教育室の魅力

→初期対応から研修医の先生に主動していただき、丁寧なマンツーマン指導を行っています。どんな救急症例からでも、医療技術や知識だけでなく、外来業務マネジメント力や社会的配慮までも学んで頂けるところです。疾病や怪我そのものをその場だけで診るのではなく、患者背景などにも気を配り、いろいろな部署や地域で連携していく治療を学んでほしいと思っています。

皆さんへメッセージ

→それぞれの病院が、地域で担っている役割を職員の皆さんが自覚して、頑張っていってほしいです。また研修医の先生に対して、大きな期待を持って教育に協力されています。今後、指導教官や教育協力病院を増やし、救急医療教育室としての勤務回数を増やすことによって、もっと多くの救急症例を経験して欲しいと考えています。救急外来での勤務は、臨床医として必要なものが凝縮されています。マンツーマン指導で更に研修を実のあるものにしますので、一緒に頑張りましょう！

研修医からメッセージ



坂本良輔先生

研修を始めた頃、何事にも必死でした。操作・手技等を覚えるのがやっとで、自分に自信がなく、今できることだけを頑張ろうと思っていました。今は、自信を持って判断するためには、度胸が必要だと感じています。そしてもっとプライマリ研修も、土日の救急医療教育室にも勤務したいと思うようになりました。きっかけは長谷先生と1ヵ月地域病院で一緒に当直に入ってから先生の豊富な知識と経験からの判断や行動など、女性ですが本当にかっこいいです。何より先生みたいになりたいと思いました。もっと自信と度胸をつけていきたいと思っています。救急医療教育室では、指導教官とのマンツーマンのもと、ファーストタッチを自分で判断するのを教科書だけでなく、実際に患者を診て考えながら学んでいきます。十分に今後のためになると思いますし、長谷先生から教わることは自分の研修スタイルも変えるきっかけとなったので、皆さんにも体験して欲しいと思います。



原佑妃先生

救急医療教育室では二次救急の研修を行うので、大学病院の救急とは違って軽症例が多いです。しかし、その中には見逃してはいけない重症例が隠れています。私が研修した時期は、感染性腸炎や便秘による腹痛が多く、ほとんどの症例は整腸剤で対応、患者さんを見るとつい「この人も・・・」と思いながら診察、でも中には腸穿孔の患者さんもいて、先入観にとらわれず問診や診察行うことの重要さを感じました。また、病棟でゆっくり出来た手技も、救急の場では緊張や焦りでうまく出来ないことが多かったです。ただ、初めは何をして良いかわからず、邪魔にならないようにするのも大変でしたが、症例を重ねると自分から動けることも多くなり、特に時間外外来では、患者さんの求めている医療や訴えを汲み取ることが大切で。初めの挨拶から最後の説明まで自分で対応する経験が出来て良かったです。長崎大学病院では、研修医のために様々な学びの場が提供されています。救急医療教育室では、是非、二次救急の現場を体感してみてください。大学病院とは異なる症例に接する貴重な機会だと思います。



白石斗士雄先生

ICLSコースを受講したのは、いざという時に役に立つと思ったからです。受講後は、あまり現場に遭遇していないため、アシスタントインストラクターをして経験を積もうと考えました。客観的に周りが見えおもしろいです。初めは自分の復習にしかならなかったのですが、2回目以降は、ちょっとずつ余裕も出てきて、もっと細かなところまで見て学ぶことが出来ました。アシスタントインストラクターの魅力の1つです。色々な知識を増やし、ステップアップしてインストラクターになりたいと思いますが、まだ知識が足りないので勉強が必要です。経験を積んで、自信を持ってやりたいと思っています。

研修プログラムの紹介

平成28年度の長崎大学病院の
キャッチフレーズは

「VISION」です。

研修医の夢をかなえる最適の
研修環境を整えるために、
日夜取り組んでおります。

2015年は
53人
がマッチング

最終結果
ランキング
全国16位
(1027病院中)

最終結果
国立大学
7位
(42病院中)

納得の研修プログラム



オーダーメイドのプログラムを実現

多様なコースと33の協力病院で
あなたのニーズに対応

- 1 ◎基本プログラムの中に様々なコースがあり、あなたのニーズに合わせたカリキュラムを編成可能です。マッチング後にコース内容を考えることができます。また、研修中でも1ヵ月前までの申請で研修科を変更できます。
- 2 ◎本院と研修協力病院で1年ずつ研修する「たすきがけ研修プログラム」をオススメしています。31病院のたすきがけ協力病院があり、ほとんどの研修医が第一希望の病院で研修しています。
- 3 ◎早い段階からスペシャリストを目指すことも可能です。「家庭医・総合医コース」「感染症コース」や「外科ハブコース」「内科ハブコース」「精神科特化コース」、3つ以上の病院をまわる「トライアングルコース」などの特別コースを設けています。また、大学院で学位がとれる「アカデミックコース」と多彩なコースを用意しています。

徹底したプライマリ・ケア教育

市中病院以上のプライマリ症例数を経験できます！

- 1 ◎専任教員と共に地域病院に行き、外来診療をする「研修医のための外来研修」を実施しています。
- 2 ◎長崎市夜間急患センターなどで、外来診療を行っています。
- 3 ◎1ヵ月間の地域研修は厳選された52施設(市内・離島・へき地)から選べ、みっちりプライマリ・ケアを経験できます。

救急教育の環境を整備

西日本トップレベルの症例数。

1～3次まで広く深く！

- 1 ◎本院内の救命救急センターで救急車対応や2～3次救急患者へのファーストタッチを学べます。
- 2 ◎救命救急センター内に脳卒中センターと外傷センターを併設しており、外傷のプライマリ・ケアや最新の脳卒中医療を経験できます。
- 3 ◎2次救急を受け入れている長崎市内の輪番病院で研修できることも特徴です。

研修プログラムの紹介

納得の研修プログラム



目標達成を支える分厚い指導体制

3方向からがっちりサポート。
他大学出身でも安心です

初期臨床研修では法律で定められた目標を達成する必要があります。本院では研修医1年次で経験しなければならない症例をほぼ達成しています。それはレベルの指導体制があるからです。

- 1 ◎各科に厚生労働省認定指導医講習会を受講した熱い指導医がいます。日々の診療ではもちろん、各研修医の長所短所を(※1)フィードバックシートで伝えるなど細やかな指導が魅力です。
- 2 ◎研修中のストレスを軽減するためにメンター(※2)制度を取り入れています。約70人の先輩医師から研修医自身がメンターを選び、研修中の日々の悩みを気軽に相談することができます。
- 3 ◎研修医教育専属部署には9人の専任教員がいます。院外研修への付き添いや定期的に行われる面談、ポートフォリオ(※3)を元にした進捗状況の確認など、あらゆる面で研修医をフォローしています。

☆学閥はまったくありません。他大学出身の指導医も多数活躍しています。

安全かつ確実に手技をマスターできる体制

シミュレーション教育や
セミナーで手技を存分に



年に数回開催されるICLSコース

- 1 ◎診療現場では指導医のもと、研修医に診察や手技を経験できる場を積極的に設けています。関連研修病院でも豊富な手技が経験できます。また、救急関連講習会やエコーセミナー、内視鏡セミナーなど、論理的に学ぶ機会を設けています。
- 2 ◎研修医室に隣接するシミュレーションセンターには約70種類のシミュレーションを完備。24時間いつでも利用でき、採血、縫合の基礎からIVH、内視鏡、エコー、腹腔鏡まであらゆる手技を学べます。
- 3 ◎国内外より研修医教育のカリスマを招聘する「実力アップセミナー」を年に4～5回開催。ワークショップ形式で様々なことを学べます。



(※1)フィードバックシート…各科の指導医が研修医へ良かった点、今後の努力ポイントなどを伝えるシート
(※2)メンター…仕事やキャリア形成において手本となり、助言や指導をしてくれる先輩医師
(※3)ポートフォリオ…研修の進み具合を確認するシステム

快適な研修環境



研修室



ハード、ソフトの両面から学べる環境を追求

- 1 充実した研修医控室
一人1台の机が配備されるほか、研修医室には食事スペース、仮眠室、近くにシャワー室もあり、自由に利用できます。また、研修医専属の事務スタッフが常駐しており、研修環境を整えています。



仮眠室



シャワー室

- 2 電子教科書は院内どこでもアクセス可能
「Up To Date」「DynaMed」などの電子教科書に院内どこからでもアクセスできるよう無線LANを接続しています。

視聴できる
電子教科書



- 3 バリエティ豊かな学びの場を提供



●院内の実力講師が教える研修医のためのセミナーを2週に1度の頻度で開催しています。



●ネイティブスピーカーが教える無料英会話教室を院内で毎週行っています。



●医学教育で世界的に有名なハワイ大学と提携。救急対応の技術をみっちり学び、英語環境に触れて、ハワイも楽しめる海外研修を毎年開催しています。
●研修医による自主的な勉強会もあります。

給与、待遇について



借り上げ宿舎(一例)

安くありません！宿舎もあります

- 給与は住宅手当、時間外手当などもあり、月給30万円(税込)前後です。公的な市中病院と変わりません。
- 住居については、借り上げ宿舎(敷金礼金不要。6万円前後の物件に3万円程度で入居可能)もあります。
- 研修医専用の無料駐車場があります。
- BLS、ICLS受講の際には補助を支給しています。



研修医専用無料駐車場

平成29年度プログラム研修スケジュール(案)

■募集定員 70 名

プログラム	コース/サブクラス		研修1年目	研修2年目
基本 プログラム (定員66人)	A コース	A1	長崎大学病院	長崎みなとメディカルセンター市民病院、佐世保市立総合病院、日本赤十字社長崎原爆病院、上戸町病院、諫早総合病院、白十字会佐世保中央病院、大分県立病院、国立病院機構通野医療センター、国立病院機構佐賀病院、済生会長崎病院、市立大村市民病院、北九州市立八幡病院、浜松医療センター、山口県立総合医療センター、北九州総合病院、五島中央病院、長崎県島原病院、国立病院機構長崎川棚医療センター、長崎労災病院、田川市立病院、周南記念病院、聖隷浜松病院、練馬光が丘病院、聖マリアンナ医科大学病院、東京北医療センター、佐世保共済病院、福岡青洲会病院、医誠会病院、長崎記念病院、井上病院、虹が丘病院
			内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(2か月)、地域医療(1か月)	選択科(12か月)
			内科(4か月)、救急(3か月)、選択科(4か月)、地域医療(1か月)	内科(2か月)、選択科(10か月)
	A2 (定員2人)		長崎大学病院	国立病院機構長崎医療センター
			内科(3か月)、地域医療(1か月)、選択科(8か月)	総合診療部(3か月)、救急(3か月)、麻酔科(2か月)、選択科(4か月)
	Bコース		長崎みなとメディカルセンター市民病院、佐世保市立総合病院、日本赤十字社長崎原爆病院、諫早総合病院、聖マリアンナ医科大学病院、福岡青洲会病院、医誠会病院	長崎大学病院
			原則として、内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(3か月)	原則として、地域医療(1か月)、選択科(11か月)
	Cコース		長崎大学病院	長崎大学病院
			内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(2か月)、地域医療(1か月)または内科(4か月)、救急(3か月)、選択科(4か月)、地域医療(1か月)	選択科(12か月)または内科(2か月)、選択科(10か月)
	Dコース 新・鳴滝塾 トライアングル コース ^{注1}		長崎大学病院 新・鳴滝塾構成病院A 新・鳴滝塾構成病院B ^{注2}	
Eコース (感染症コース)			内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(14か月)、地域医療(1か月)	
			長崎大学病院	長崎大学病院
			感染(4か月)、内科(4か月)、救急(3か月)、選択科(1か月)	内科(2か月)、地域医療(1か月)、選択(2か月)、主に感染(7か月)

プログラム	コース	研修1年目	研修2年目
周産期重点 プログラム (定員4人)	Aコース	長崎大学病院	基本プログラムAコースA1と同じ研修協力病院
		産婦人科又は小児科(3か月)、内科(4か月)、救急(3か月)、地域医療(1か月)、選択科(1か月)	内科(2か月)、選択科(10か月)
	Bコース	基本プログラムBコースと同じ研修協力病院	長崎大学病院
		内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(3か月)	産婦人科又は小児科(3か月)、地域医療(1か月)、選択科(8か月)
	Cコース	長崎大学病院	長崎大学病院
		産婦人科又は小児科(3か月)、内科(4か月)、救急(3か月)、地域医療(1か月)、選択科(1か月)	内科(2か月)、選択科(10か月)
	Dコース ^{注1} 新・鳴滝塾 トライアングル コース	長崎大学病院 新・鳴滝塾構成病院A 新・鳴滝塾構成病院B ^{注2}	
		産婦人科又は小児科(3か月)、内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(11か月)、地域医療(1か月)	

※特別コース

基本 プログラム	全コース	内科専門医育成ハブセンター初期研修コース 外科専門医育成ハブセンター初期研修コース 家庭医・総合医コース 精神科特化コース
-------------	------	--

※アカデミック(大学院進学)コース(NU-CLEAR コース)

基本プログラム	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター市民病院、日本赤十字社長崎原爆病院、済生会長崎病院、上戸町病院、長崎記念病院、井上病院、虹が丘病院、光晴会病院のみ
周産期重点プログラム	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター市民病院、日本赤十字社長崎原爆病院、済生会長崎病院、上戸町病院、長崎記念病院、井上病院、虹が丘病院、光晴会病院のみ

注1：長崎大学病院で地域医療1か月を含む9か月以上研修し、残りを本院以外の新・鳴滝塾構成病院16病院中2病院で研修する。
注2：新・鳴滝塾の構成病院／長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター市民病院、日本赤十字社長崎原爆病院、済生会長崎病院、上戸町病院、国立病院機構長崎医療センター、市立大村市民病院、諫早総合病院、長崎県島原病院、佐世保市立総合病院、長崎労災病院、佐世保中央病院、佐世保共済病院、長崎県五島中央病院、長崎県上五島病院 鳴滝塾には加盟していませんが、長崎記念病院、井上病院、虹が丘病院、光晴会病院も選択出来ます。

コース説明

A コース

研修1年目		
11ヶ月 大学病院		1ヶ月地域医療
【基本プログラムパターン1】内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(2か月)、地域医療(1か月) 【基本プログラムパターン2】内科(4か月)、救急(3か月)、選択科(4か月)、地域医療(1か月) 【基本プログラムパターン3】内科(3か月)、選択科(8か月)、地域医療(1か月) 【周産期プログラム】産婦人科又は小児科(3か月)、内科(4か月)、救急(1か月)、選択科(1か月)、地域医療(1か月)		
研修2年目		
12ヶ月 関連病院		
【基本プログラムパターン1】選択科(12か月) 【基本プログラムパターン2】内科(2か月)、選択科10か月 【基本プログラムパターン3】内科(3か月)、救急(3か月)、麻酔科(2か月)、選択科(4か月) 【周産期プログラム】内科(2か月)、選択科(10か月)		

B コース

研修1年目	
12ヶ月 関連病院	
【基本プログラム】原則として、内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(3か月) 【周産期プログラム】内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(10か月)	

研修2年目	
1ヶ月地域医療	11ヶ月 大学病院
【基本プログラム】原則として、選択科(11か月)、地域医療(1か月) 【周産期プログラム】産婦人科又は小児科(3か月)、選択科(8か月)、地域医療(1か月)	

C コース

研修1年目	
12ヶ月 大学病院	
【基本プログラム】原則として、内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(3か月) 【周産期プログラム】産婦人科又は小児科(3か月)、内科(4か月)、救急(3か月)、選択科(2か月)	

研修2年目	
1ヶ月地域医療	11ヶ月 大学病院
【基本プログラム】原則として、選択科(11か月)、地域医療(1か月) 【周産期プログラム】内科(2か月)、選択科(9か月)、地域医療(1か月)	

※最大7か月を関連病院・関連施設で研修することができます。

E コース

研修1年目	
12ヶ月 大学病院	
【基本プログラム】感染(4か月)、内科(4か月)、救急(3か月)、選択科(1か月)	

研修2年目	
1ヶ月地域医療	11ヶ月 大学病院
【基本プログラム】内科(2か月)、選択科(2か月)、地域医療(1か月)、主に感染(7か月)	

※周産期プログラムでEコースは選択できません。
※最大7か月を関連病院・関連施設で研修することができます。

長崎県 初期研修 トライアングルコース



募集対象者 平成29年度にマッチング登録する方 ※応募多数の場合は、採用試験結果にて選考いたします。

お問い合わせ先

長崎大学病院 医療教育開発センター
TEL: 095-819-7874 MAIL: kaihatu@ml.nagasaki-u.ac.jp

ナガサキ 新・鳴滝塾
ALL NAGASAKI

平成29年度 初期研修トライアングルコース (長崎大学病院群臨床研修基本プログラムDコース)

コース登録者への
サポートとして、
1.宿舎の準備
2.メンター(相談者)
を配置!

Iパターン

11ヶ月 長崎大学病院	1ヶ月 地域	6ヶ月 A病院	6ヶ月 B病院
----------------	-----------	------------	------------

IIパターン

5ヶ月 長崎大学病院	6ヶ月 B病院	1ヶ月 地域	6ヶ月 A病院	6ヶ月 長崎大学病院
---------------	------------	-----------	------------	---------------

IIIパターン

自由に組み合わせるプラン。長崎大学病院は、8か月(以上)研修+地域1か月。
残り15か月は、2つ以上の病院を自由に組み合わせ。
*最大限にコース参加者の希望が通るように、各病院と事前調整します。

例えば、こんな
選択もお勧め!

1. 県内の病院をいいとこどり

長崎大学病院 8か月(内科系を中心に) ~ 1か月(地域)
~ 県北地区(佐世保4病院の中からひとつ)7か月(外科系を中心に)
~ 県央地区(大村市、諫早市の3つの病院の中からひとつ)8か月(救急を中心に)

2. プライマリを十二分に鍛えてから専門へ

長崎市内病院 8か月(内科や救急を中心に)
~ 離島病院 7か月(プライマリケアを中心に) ~ 1か月(地域)
~ 長崎大学病院 8か月(専門科中心に)

3. 救急三昧

長崎大学病院 8か月(救急基本3か月と内科5か月) ~ 1か月(地域)
~ 救急症例の多いA病院 7か月 ~ 救急症例の多いB病院 8か月

いろんな組み
合わせが可能です。
ぜひ、マッチング前に
事前相談ください!

コースメリット

①組み合わせ自由自在!

長崎県内の研修病院、及び長崎大学病院の協力病院から3つ選べる。地域研修も合わせると4か所での研修が可能。

* A・B病院(18施設)

長崎みなとメディカルセンター市民病院、長崎原爆病院、済生会長崎病院、上戸町病院、長崎医療センター、諫早総合病院、市立大村市民病院、長崎県島原病院、佐世保市総合医療センター、長崎労災病院、佐世保中央病院、佐世保共済病院、長崎県五島中央病院、長崎県上五島病院、長崎記念病院、井上病院、光晴会病院、虹が丘病院 から選択。

* 地域研修は、離島や開業医、一般病院を含めて、52か所から選択可能。

<http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kaihatu/initial/pdf/guide.pdf>

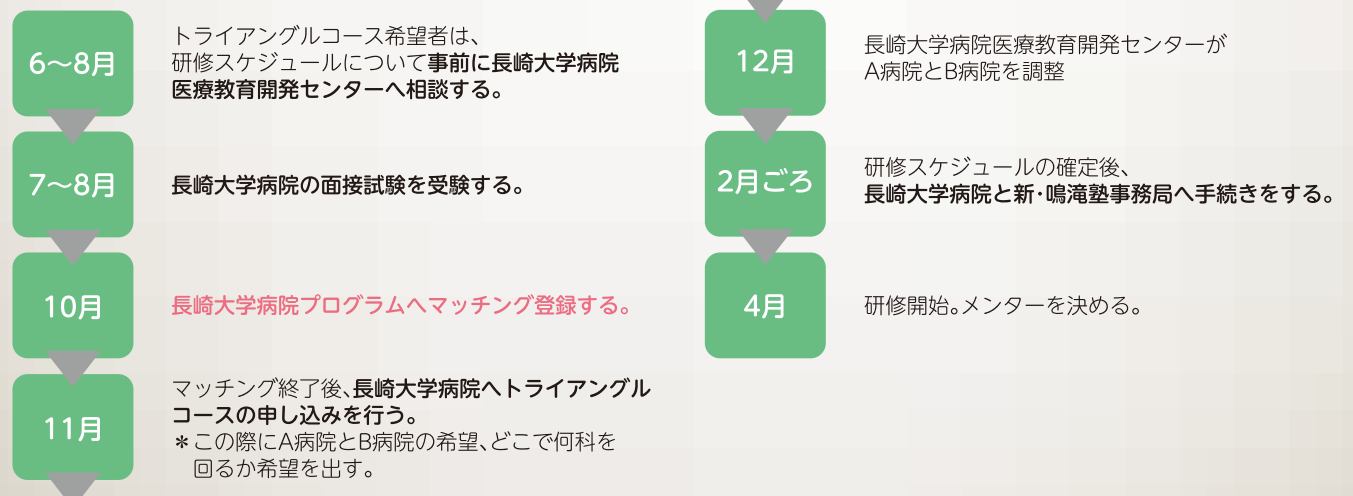
・各病院の受け入れは、同時期に原則1名の予定。

* 病院の組み合わせ方、ローテーションの回り方に関しては、マッチング前にご相談下さい。

②しっかり指導!

1年間を通して、メンター(なんでも相談できる指導医)がつく。
最短コースで専門医資格受験が可能となるように指導。

申し込み方法



2015.4月から
内科専門医育成ハブセンター初期研修コース新設

新・内科専門医制度を見据えて先取り！
内科医志望、内科に興味を持っているひとにおすすめ！



長崎大学病院の各内科が組織の垣根を越えて連携し、
内科専門医を目指す研修医を全面的にサポートします！

2017年度より専門医制度が変わります。新・内科専門医制度では、現在の認定内科医試験よりも、多岐にわたる症例の経験が必要となってきます。長崎大学病院は責任をもって、みなさんが内科専門医を取得できるように2015年度より内科専門医育成ハブセンターを設立し、サポートしていくことになりました。

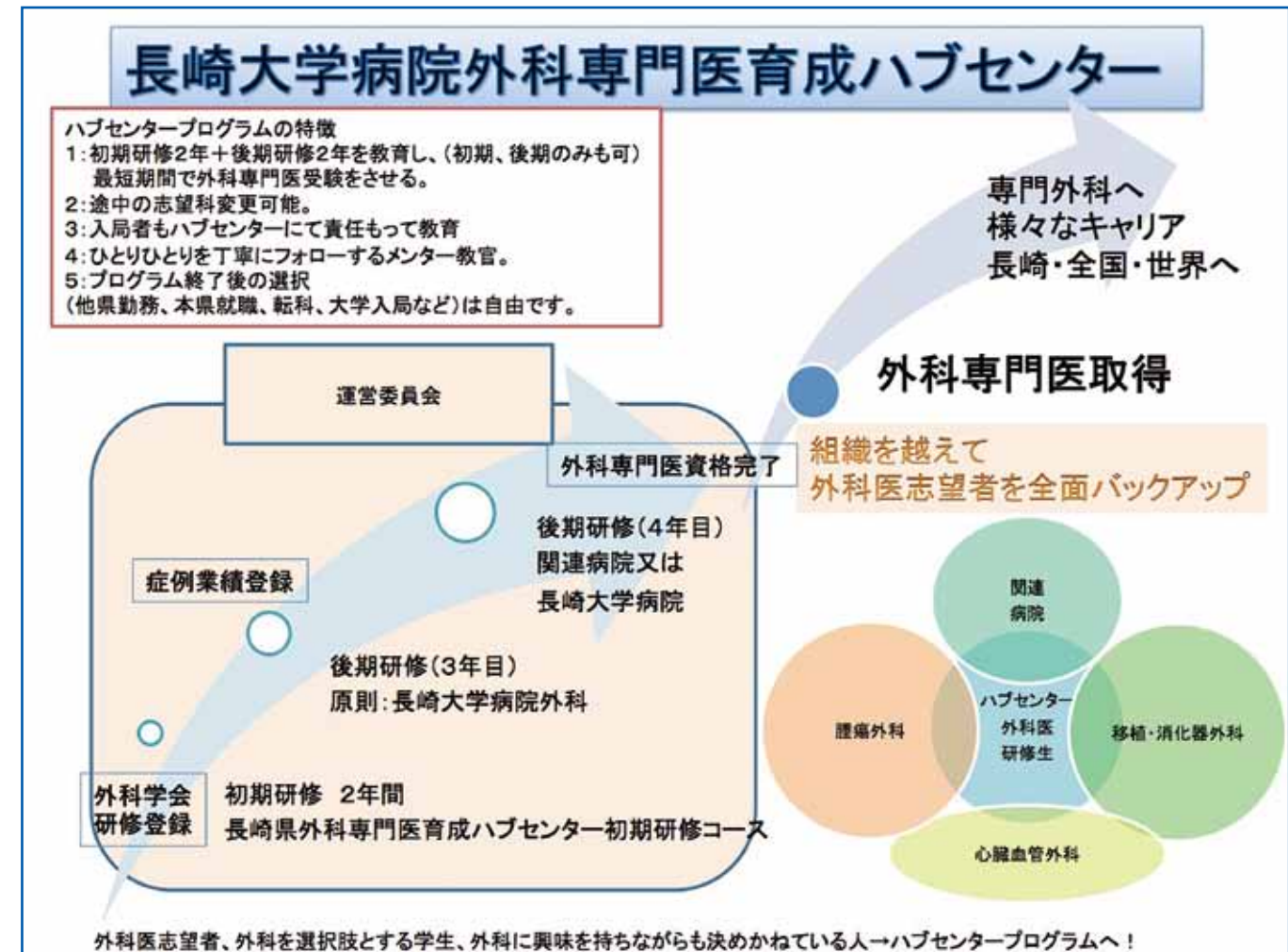
プログラムの特徴

- ◎初期研修から後期研修へ、内科専門医取得へ向けた継続的な研修を受けることができます。
- ◎いつの時点からでも、コースは選択可能です。
- ◎内科専門医取得に必要な症例をチェックしながら、指導医がひとりひとり丁寧にフォローします。
- ◎後期研修では2015年度より入局科以外の内科ローテートも可能になりました。

外科専門医育成ハブセンター 初期研修コース

外科専門医育成ハブセンター

長崎大学病院の腫瘍外科、移植・消化器外科、心臓血管外科が垣根を越えて連携し、外科専門医を目指す研修医などに対して、専門医取得に必要な質の高い、魅力的な外科専門医育成プログラムを提供する外科専門医育成の教育拠点として、外科専門医育成ハブセンターを新設しました。
初期研修2年＋後期研修2年を基本としつつ、初期研修、または後期研修のいずれかのみでの研修でも可能です。
また、各外科医局へ入局することなく研修することも可能です。



▼研修スケジュール(例)

例1 (初期研修からの4年間)

初期研修1年目(大学or協力病院)													初期研修2年目(大学病院)												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
救急			内科						選択必修 ※1	地域	選択	呼吸器 外科	小児 外科	心臓血管 外科	消化器外科										
後期研修1年目													後期研修2年目												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
大学で外科専門医取得に必要な手術症例を経験する													協力病院で手術経験(術者)を積む												

例2 (初期研修のみ) 【初期研修プログラムを修了させつつ、手術症例を経験する。】

初期研修1年目(大学病院)												初期研修2年目(大学病院or協力病院)												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
内科			救急			選択必修※1	地域	選択	心臓血管外科	小児外科	呼吸器外科	内科			外科									

※1選択必修…精神科、麻酔科、小児科、産婦人科から1科1か月以上

家庭医・総合医コース

☆将来、**専門医**になりたい人⇒初期研修を幅広く！

☆将来、**総合医**になりたい人⇒初期研修からマインドを持つ！

家庭医・総合医コースへ！

家庭医・総合医コースとは？

①コース概要

家庭医・総合医に必要な診療科を研修。
2年間で総合診療科3ヵ月、救急3ヵ月、精神科1ヵ月、皮膚科2ヵ月、
内科3ヵ月、整形外科2ヵ月、小児科2ヵ月、産婦人科2ヵ月、地域医療2ヵ月、
選択科4ヵ月の研修を行う。
さらに、本コースのためのセミナーを開催。

②研修可能分野

1年目：総合診療科、救急、精神科、皮膚科、地域研修（長崎大学病院）
2年目：整形外科、小児科

③選択要件

どなたでも選択できます。



2017年
総合医専門医制度
始まる！！

■初期研修スケジュール(例)

1年目 大学病院					2年目 協力病院				
総合診療科 3ヵ月	精神科 2ヵ月	皮膚科 2ヵ月	救急 3ヵ月	地域医療 2ヵ月	小児科 2ヵ月	内科 3ヵ月	整形外科 3ヵ月	放射線科 1ヵ月	麻酔科 1ヵ月
							産婦人科 2ヵ月		

必修科目（内科6か月、救急3か月、地域医療1か月）

選択必修科目（外科、小児科、産婦人科、麻酔科、精神科のうち 2科目を選択）



アカデミックコース

大学院に行きながら初期研修ができる！ 長崎大学病院 アカデミックコース

◎コース情報

☆初期研修と大学院が両立できます。
☆はっきりした研究テーマをもっている人、
また、長崎大学医学部医学科NU-CLEAR training program適用者にお勧めです。
※研究の指導教官が必要です。

<条 件>

大学院を受験すること（初期研修終了までに）。

研修科目スケジュール(例)

初期研修1年目(大学病院)			
内科A科3か月	内科B科3か月	救命救急3か月	精神、小児、麻酔、産婦、 外科から2診療科
初期研修2年目(大学病院)			
地域1か月	選択研修10か月		

※コース内容・ローテーションに関しては、マッチング前にご相談ください。
また、NU-CLEAR training programに関しては、長崎大学医歯薬学総合研究科学務課大学院係に
問い合わせください。

1 長崎大学病院

- 概要： 病床数：862床 (H27年11月1日現在)
 医師数：613名 (H27年11月1日現在)
 1 日平均外来患者数：1243名 (H26年実績)
 1 日平均入院患者数：722名 (H26年実績)



専門医修練施設としての認定

内科(教育病院)、小児科、皮膚科、外科(指定病院)、整形外科、産婦人科、眼科(施行施設・研修施設)、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳外科(A項)、放射線科(修練機関)、麻酔科、病理科(認定施設)、臨床検査科(認定5年)、救急科、形成外科、精神・神経科



研修実施責任者
医療教育開発センター
浜田 久之

- 臨床研修指導医数：282名 (H27年11月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当(月額)	1 年次:約300,000円(概算)※研修医手当を含む
	2 年次:約300,000円(概算)※研修医手当を含む
宿日直の有無	有(交代制夜間勤務)救命救急センター等にて、救急対応研修
勤務形態	非常勤職員(フルタイマー)
保険	協会けんぽ、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	病院及び個人において加入
宿舎	民間アパート借り上げによる宿舎有
住宅手当	有(上限27,000円)

【理念】

長崎大学病院は、最高水準の医療を提供するとともに、人間性ゆたかな優れた医療人を育成し、新しい医療の創造と発展に貢献する。

●臨床研修の特色

長崎大学病院は若人が集う病院をスローガンに掲げ日本一の教育病院を目指しています！

【その1:プライマリから3次まで】プライマリ研修に力を入れます！
 大学病院での救急車対応や、2～3次救急患者へのファーストタッチを学べます。全研修医が病院での外来研修を体験できるのでプライマリケアは大丈夫です。さらに、救急専門医と研修医がマンツーマンで、大学外での輪番病院で救急外来研修もあります。
 1 次～3 次まで、救急を学べるので心配ありません！
 【その2:がっちり指導】指導体制が変わります！
 3つの方面からフォローをおこない、がっちり指導します。
 ポートフォリオ(勉強ファイルのようなもの)で研修医教育専属の部署(医療教育開発センター)の指導医6名が、研修の進捗をしっかりとチェックします。
 2つ目は、各科の指導医は、毎月、研修医へフィードバックシートで良かったところ、努力ポイント等を的確に指導します。3つ目は、研修医1人にメンター(きさくな相談係のようなもの)が1人つきます。
 【その3:どんだん学べる環境】
 頭を鍛える！：電子教科書のUp ToDateや携帯からアクセス可能なDynaMedで、何でも調べられます。研修医のためのグランドラウンドでは、各科の若手の先生からトピックスや研修の必須事項を、気楽に学べます。
 腕を鍛える！：実力アップセミナー(年に4～5回)は、国内外より研修医教育のカリスマを招聘し、ワークショップ形式で、様々なことを学びます。シミュ



レーションセンターは、24時間対応。
 英語を鍛える！：週1回の無料英会話教室。短期ハワイ大学救急シミュレーション研修。
 【その4:少人数制のプログラム】
 少人数のマンツーマン教育！：基本的に各診療科への配属は、研修医の希望にそって行います。さらに研修医3～4名以内の少人数です。十分な症例と十二分な指導が受けられます。長崎県内、県外の協力病院での研修も、少人数制です。協力病院の教育は、大学教員が定期的に巡回・面談を行い、質を保つようにしています。
 【その5:ハード&ソフト】
 研修医室は、新しい！：ひとり1台の机、電子カルテ端末、食事スペース、仮眠室、研修医専属事務1名、充実した研修医室。新病棟や新外来棟は、真新しく、働きやすい。日本の最先端に行く電子カルテは、非常に使いやすい。
 住宅手当又は有料借り上げ宿舎、研修医専用無料駐車場、医師賠償保険は病院加入、超過勤務手当など充実しています。

長崎大学病院 医療教育開発センター◎☎852-8501 長崎市坂本1-7-1

お問い合わせ

TEL:095-819-7874
FAX:095-819-7781

E-mail : kaihatu@ml.nagasaki-u.ac.jp
URL : http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kaihatu/

●JR長崎駅から、長崎/バス8番(医学部経由下大橋行き)に乗り、大学病院前下車、徒歩1分
 ●JR長崎駅から、市内電車(赤迫方面行)に乗り、大学病院前下車、徒歩8分

指導医からの声

長崎大学病院がいまアツい！

ここで研修された先生方であまり不満を感じている方は少ないのでは。それは、とにかく研修医や実習の学生を大事にするからです。甘やかすだけでなく、きちんと教える。これは、おそらく長崎の歴史・文化そのものなのではないでしょうか。臨床医として目の前の患者さんを助けることがもっとも大事ですが、それと同時に膨大な知識や経験を次世代に伝えることもわれわれの使命と感じている指導医も多いのではないのでしょうか。各科にエース級の指導医がいることをわたしは

知っています！地方大学であるがゆえに、病院内での分業は少なく、あらゆる疾患がいろいろな重症度でやってきます。したがって、オールラウンドかつ高度な医療が求められ、実践しているのです。先輩方のご尽力により、すでにかつての「ダイガクビューイン」ではなく、臨床のスピード、精度をともなった臨床・教育そして研究機関に変貌しております。一生やっていく大事な仕事をわたしたちと一緒にスタートしませんか！まずはいろんな同僚、先輩方の声を聞いてみて下さい。フレッシュな皆様を心よりお待ちしております。



2013 年度ベスト指導医
脳神経内科
中嶋 秀樹

長崎大学基幹型研修医からの声



寺島 歩

◎長崎大学病院を選んだ理由

地元は愛知県ですが、大学から長崎にきました。もともとは全く長崎に残るつもりはなく、卒業後は地元に戻りたいと思っていました。しかし、5年生になり実習が始まると、先生方の指導が熱心でとても雰囲気の良い印象を持ちました。また、6年間の大学生活で同級生や先輩後輩のつながりができ、働きやすい環境であったことが一番の決め手だと思います。

◎メンター制度について

メンターの先生には、よく飲み会やご飯に連れて行って頂いています。また、メンターの先生の繋がりで顔見知りの先生方も増え可愛がって頂いています。定期的にメンター会があり、毎回色々な話を聞くことができ楽しく息抜きもできますし、先生に気にかけてもらっていると思うときちゃんと頑張らないという気持ちになります。



石橋 可奈子

◎実際に研修をしてみた感想(ギャップ)

研修をする前は机上での勉強のみで臨床力が全くなく、薬剤の適切な使用法や副作用、また各患者の背景など考慮することができませんでした。しかし、指導医が一つ一つ丁寧に指導してくださり、恐怖心を持たずに患者さんと向き合うことができるようになりました。ギャップとしては、意外と指導医と研修医の距離が近く、わからないことがあったらすぐに医局に行って質問できることです。また大学病院というとなかなかお堅いイメージがあるのですが、スタッフもとても優しく、1 か月だけ回る科であっても研修医を温かく迎え入れてくれました。

◎プライマリ研修について

大学病院では主に市中病院から紹介で来られた、診断がついた人を診ることが多いですが、プライマリ研修では自分で鑑別を挙げ、検査を行い、診断をつけるなど自分の判断が要求されます。また、前情報が一切ない中で臨床診断を行うことは自信にも繋がりますし、一度経験すると印象に残ると思います。月に1回程度定期的に研修できるため回っている科にも負担になりませんし、また毎回同行していただく先生も違うので色々な先生の臨床の仕方を参考にすることができました。



2 長崎みなとメディカルセンター 市民病院

- 概要： 病床数：513床(平成28年度より150床増床)
 医師数： 85名(H26年11月1日現在)
 1 日平均外来患者数：547名(H26年実績)
 1 日平均入院患者数：309.5名(H26年実績)



専門医修練施設としての認定

日本内科学会認定医制度教育病院、日本神経学会専門医制度教育関連施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本呼吸器学会認定施設、日本感染症学会専門医研修施設、日本高血圧学会専門医認定施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器病学会認定施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、呼吸器外科専門医認定機構基幹施設(長崎大学病院)の関連施設、日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設、日本整形外科学会認定研修施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本泌尿器科専門医教育施設、婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構登録参加認定施設、日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設、周産期新生児専門医の暫定研修施設、周産期母体・胎児専門医暫定研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、放射線科専門医修練機関、日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医修練施設、麻酔科認定病院、日本緩和医療学会認定研修施設、日本臨床細胞学会認定施設、日本病理学会病理専門医研修認定施設B、胸部外科専門医認定機構基幹施設(長崎大学医学部附属病院)の関連施設、日本肝臓学会認定施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設、マンモグラフィ(乳房エックス線写真)検診施設

- 臨床研修指導医数：47名(H27年10月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処 遇：

研修手当(月額)	1 年次:約304,400円(別途諸手当有) 2 年次:約320,200円(別途諸手当有)
諸手当等	賞与・時間外・宿日直手当など
宿日直の有無	有・4～5回程度/月
勤務形態	非常勤医師
保険	全国健康保険協会、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	病院において加入
宿舍	無
住宅手当	条件に応じて支給



研修実施責任者
副院長
須山 尚史

【理 念】

臨床研修は、医師としての長い航海に耐える船を造る作業である。臨床能力を養うことで船はより大きく丈夫になり、症例を重ねるごとに羅針盤はより正確な方向を指す。その船を進水させる「みなと」として、病院を挙げて研修医の指導と支援を行っていく。

● 臨床研修の特色

当院の臨床研修の特色は、「研修医のための研修病院」になることをスローガンにして、スタッフ一同で研修医教育に力を注いでいることです。プログラムの内容として、内科分野では、病歴聴取の方法や鑑別診断の挙げ方、身体所見のとり方とその解釈、各薬物療法の実施から各領域での内視鏡・カテーテル挿入や超音波などの手技まで幅広く経験することができます。外科分野では、気管挿管、麻酔手技、各手術の基本手技、術後の管理などを経験することができます。どちらの分野も指導医・上級医の熱い指導と完全サポートの下に安心して研修することができ、やる気次第でたくさんのご経験を吸収できる自由度があります。循環器カテの件数は多く、この分野でキャリアを積みたい研修医はとても力がつく環境です。必須科目である救急科は指導医のもと、first touchは全て研修医が行い、2年間で診断能力を高められる研修が可能です。ヘリポートを整備し、「脳血管



新市立病院完成予想図

障害医療)や「冠動脈疾患医療」、「がん医療」の治療など高度・急性期医療にもさらに力を入れています。地域医療の分野では、長崎県がこれまで力を入れてきた全国的にも評価の高い離島医療研修・へき地医療研修を経験することができます。医局間の垣根はなく、地域医療公開講演会、緩和ケア研修会、臨床病理検討会(CPC)、カンサーボード、各科勉強会など多岐にわたって勉強会が開催され、知識を深めるのに大変よい環境が整っています。病院一丸となり、研修医のための研修が常によりよいものになるよう努力し、責任を持って研修医教育にあたっています。

お問い合わせ

長崎みなとメディカルセンター 市民病院 人事給与グループ ☎ 850-8555 長崎市新地町6-39

TEL:095-822-3251
FAX:095-826-8798

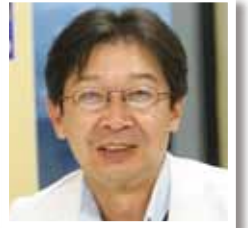
E-mail : byouin_jinji@ncho.jp
URL : http://shibyو.nmh.jp/

- JR長崎駅より徒歩15分
- 長崎電気軌道・市民病院前駅より徒歩1分
- 長崎バス・市民病院前バス停より徒歩1分

指導医からの声

当院の研修に関しての私の方針は、将来たくさん
の研修医が切磋琢磨して生き生きとした研修
病院になること。時間はかかりますが、その研修
医がスタッフとなり実力をつけて、またこの病
院に戻ってきて今度は研修医を教え、将来素晴
らしい病院となり、その伝統を受け継いでくれ
ることを信じて、目先のことにこだわらず、今い
る研修医を精一杯指導していきます。自分の専
門科に来る来ないは関係なく、研修医を精一杯

指導してくれる指導医が当院のスタッフの中に
は大勢います。



救急科、外科、胸部外科、外傷外科
高下 英次郎

長崎大学基幹型研修医からの声



渡部 太郎(1年次)

私は、1年目を長崎みなとメディカルセンター
市民病院、2年目を長崎大学病院にしました。1
年目で沢山の経験をし、2年目からは専門の勉強
をスタートさせようと思ったからです。その為
にも、たすきがけ先は診療科が豊富で症例の多
い、長崎みなとメディカルセンター 市民病院
を選びました。今のところ満足のいく研修に
なっています。



谷口 育昌(2年次)

長崎大学病院での研修は上級医の数の多々、カ
ンファの充実により考える力を養っていただけ
るという利点があります。一方、私が選んだ長崎
みなとメディカルセンター市民病院では、当直
や病棟業務で自分の力を実践する機会がある
という利点があります。環境が変わるというのは
ストレスになるものですが、その負荷が成長へ
繋がるものだと思います。様々な角度から医療
にアプローチすることで自分の理想の医師像が
形成されるのではないのでしょうか。



選択にあたって注意事項

原則として、1科のローテーションは2ヶ月以上
連続することとする。(マイナー科を除く)



3 長崎原爆病院

- 概要： 病床数：350床 (H27年11月1日現在)
 医師数：62名 (H27年11月1日現在)
 1日平均外来患者数：590.5名 (H27年実績)
 1日平均入院患者数：284.1名 (H27年実績)



専門医修練施設としての認定

日本内科学会認定医制度教育病院、日本血液学会認定血液研修施設、日本リウマチ学会教育施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本神経学会准教育施設、日本肝臓学会認定施設、日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本感染症学会認定研修施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本高血圧学会専門医認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設、呼吸器外科専門医合同委員会認定基幹施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本大腸肛門病学会認定施設、日本乳癌学会関連施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設基幹教育施設、日本産科婦人科学会専門医制度卒業後研修指導施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関(修練部門：画像診断・I V R、核医学、放射線治療)、日本I V R学会専門医修練施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院(麻酔科標榜研修施設)、日本病理学会病理専門医研修認定施設A、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設



- 臨床研修指導医数：25名 (H27年11月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当(月額)	1年次:約257,400円(別途宿日直手当有) 2年次:約272,900円(別途宿日直手当有)
諸手当等	宿日直手当、時間外手当
宿日直の有無	有・3～4回/月
勤務形態	常勤
保険	全国健康保険協会、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	個人任意加入
宿舍	無
住宅手当	有(上限28,500円)



研修実施責任者
副院長
上田 康雄

【理念】

赤十字の使命のもとに、
 地域並びに被爆者の皆様へ
 良質な医療を提供します。

●臨床研修の特色

当院は浦上駅傍という長崎市内の中心地に立地しており、がん拠点病院及び救急告示病院として長崎市内の地域医療・救急医療の中核を担っています。年間を通しての研修プログラムは必修科目(内科、救急部門、地域医療)だけでなく、選択必修科目(外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科)についても全て必修科目として取り入れ、2年間で十分に研修目標を到達できるようプログラムを設定しています。救急医療については、内科、外科、整形外科などの指導医と共に4日1度の救急輪番日(日当直)を担当して貰い、救急・プライマリケアの基本的な診療能力(態度・技能・知識)を身につけて貰います。また、当院には多数のカンファランス等があり、C P Cはロー



テーションに関係なく全ての研修医に参加して貰っています。選択科目の研修期間は、2年目に8ヶ月間と長く設定しており更に各診療科の垣根が低いため、研修医は自由に将来専門にしたい診療科で研修することができます。地域医療についても、長崎県の地域特性を活かした離島の協力施設における研修を準備しています。

日本赤十字社 長崎原爆病院 © 〒852-8511 長崎市茂里町3-15

●JR浦上駅から徒歩5分

お問い合わせ

TEL:095-847-1511
 FAX:095-847-8036

E-mail : soumu@nagasaki-med.jrc.or.jp
 URL : http://www.nagasaki-med.jrc.or.jp/

NAGASAKI GENBAKU HOSPITAL

指導医からの声

神経内科
 木下 郁夫

■日頃よりどんな点に注意して研修医指導をしていますか
 →研修医本人の希望に対し、柔軟に対応するようにしている

■研修医に何を望んでいますか
 →研修を通して医療人として必要な基本姿勢・態度を身に付けてもらいたい

■貴院のたすきがけ病院のおすすめポイントを教えてください。
 →各診療科カンファレンス、抄読会、C P C、学会発表予行演習、各種院内委員会(医療安全、院内感染、N S T等)への参加など教育研修も充実している。

長崎大学基幹型研修医からの声



黒部 彩那

私は眼科に進むことを決めていたので、内科全般のcommon diseaseを一度に診ることができた原爆病院を1年目に選択しました。入院患者さんに加え、輪番当直では多くの外来患者さんも診ることができ、1年目でも多くの経験を詰めるのが魅力だと思います。輪番当直で多くの先生方にお世話になるので、指導医以外の先生にも日頃の診療での疑問点などを気軽に質問する

ことができ、またどの先生も快く指導してくれます。私のように内科疾患を広く経験したい人や、将来の選択科を迷っている人には特にオススメです。

選択にあたって注意事項

精神科、産婦人科、小児科はありませんので、必要であれば大学病院研修中に行ってください。



4 済生会長崎病院

- 概要： 病床数：205床 (H27年11月2日現在)
 医師数：62名 (H27年11月2日現在)
 1日平均外来患者数：261名 (H26年実績)
 1日平均入院患者数：170.8名 (H26年実績)



専門医修練施設としての認定

日本内科学会認定 教育関連病院、日本内分泌学会認定 内分泌代謝科認定教育施設、日本甲状腺学会認定 認定専門医施設、日本循環器学会認定 循環器専門医研修施設、日本消化器病学会認定施設、日本肥満学会認定 肥満症専門病院、日本透析医学会認定 教育関連病院、日本外科学会指定 外科専門医制度関連施設、日本消化器外科学会認定施設、日本整形外科学会認定 研修施設、日本麻酔科学会認定 研修施設、日本病理学会認定 研修登録施設、日本臨床細胞学会認定施設、日本高血圧学会認定施設、日本脳神経外科学会研修施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本静脈経腸栄養学会認定・NST (栄養サポートチーム) 稼働施設、日本大腸肛門病学会認定施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院



研修実施責任者
臨床研修教育センター長
芦澤 潔人

- 臨床研修指導医数：15名 (H27年11月2日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当 (月額)	1 年次: 約400,000円 (諸手当等含む) 2 年次: 約440,000円 (諸手当等含む)
諸手当等	諸手当 (研修医手当、宿日直手当) 賞与有 (基本給の1ヶ月) 年2回
宿日直の有無	有・3～4回/月
勤務形態	常勤
保険	政府管掌保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	個人任意加入
宿舍	有
住宅手当	宿舍料10,000円 (光熱費別)

【理念】

良心と思いやりをもって、
 地域の人々の医療、福祉、
 健康に貢献します。

●臨床研修の特色

4名の研修医を募集しています。少ない人数ですが、医師40名で手厚く教育・指導を行っていただけるベストな数になりました。当院は長崎市内でもトップクラスの救急車搬送数の急性期病院であるため、研修医はしっかりと救急対応が学べる環境です。救急以外の診療科も、熱心な指導が特徴です。多くの疾患があつまり症例数が豊富なため、多くのことを学んでいただけます。それぞれの医師がもつ専門分野の技術や、最先端医療を経験、習得することも可能です。コメディカルを交えた勉強会を開催するなど、病院全体で研修医を育てるアットホームな環境づくりを進めています。無料低額診療や市民開放講座など、済生会が実践している患者支援体制は医師としての自分が必要とされることを実感してもらえる病院です。



済生会長崎病院◎〒850-0003 長崎県長崎市片淵2丁目5番1号

お問い合わせ

TEL: 095-826-9236
 FAX: 095-827-5657

E-mail: info@nsaisei.or.jp
 URL: http://www.nsaisei.or.jp

- 車にてJR[長崎駅]より7分
- 最寄路面電車停留所: 諏訪神社前
- 最寄バス停: 西山郵便局前、経済学部前

指導医からの声

■日頃の研修医指導で注意している点

⇒研修医の特性・性格をみて伸ばしてあげること。得意なことはもっと経験させて、不得意な点は一緒に取り組んでいく。厳しさも忘れずに、研修医が毎日明るく仕事ができるように心がけている。

■研修医に望んでいること

⇒目の前の患者さんを大事に、チーム医療を実践してもらいたい。

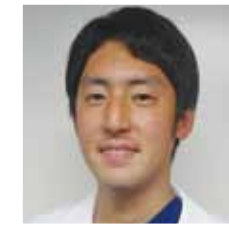
■当院のオススメポイント

⇒①救急車受入数、市内トップクラス②長崎大学病院「救急医療教育室」が行われている③病院の建物が新しく、きれいな環境で働ける④職員食堂の食事がおいしい。(実習学生にも大好評です)



内科 (内分泌代謝内科)
芦澤 潔人

長崎大学基幹型研修医からの声



井山 慶大

済生会長崎病院では、麻酔科・整形外科を研修しています。麻酔科では、毎日少なくとも2例を担当します。二ヶ月で80例以上は挿管をしました。本当に症例数の多い病院です。国家試験では麻酔を勉強することはあまりなく、最初は麻酔に関して無知だったのですが、指導医の先生が優しく指導してくださって、二ヶ月立つ頃には一人で導入から覚醒までおこなうようになりました。また術中のバイタル変動に対する考え方や対応の仕方、薬の使い方も教えてもらうことができ、今後内科などで病棟を担当したときにも役立つ知識を得ることが出来ました。大学と

違って病院の規模が小さいので、手術室で一緒に他科の先生方との交流があるのも1つ魅力です。術中に婦人科の勉強をさせてもらうことも多々ありました。整形外科研修はまだ始まったばかりですが、手術と一緒に入ることはもちろん、救急対応も指導医と診ています。簡単な裂創などは自分が縫合したりもします。当直帯では、primaryも見ることができます。外来で診るcommonの症例から手術が必要な症例まで幅広く診ることができます。最終的には執刀医となれることを目指して研修しています。

選択にあたって注意事項

①各診療科の受入人数上限によっては、希望通りのローテイトを組めない場合があります。

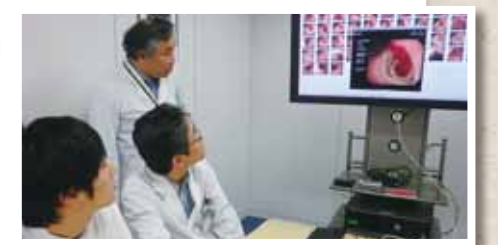
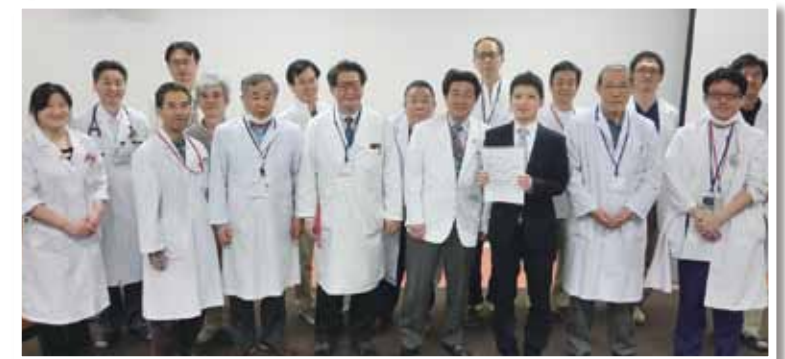
*精神科はありません。

②研修開始後の診療科の変更は原則できません。疑問・不安点は解決できるよう事前にサポートします。研修全体に関すること、各診療科での実習などお気軽に問い合わせください。

③職員用の駐車場はありません。交通機関を利用して通勤ください。(自転車通勤などお問い合わせください。)

④研修初日は、8時半に済生会長崎管理棟 (病院横) の3階医局までお越しください。

たすきがけ研修に関する問い合わせ先：
 moriya@nsaisei.or.jp



5 上戸町病院

- 概要： 病床数：104床 (H27年11月1日現在)
 医師数：12名 (H27年11月1日現在)
 1日平均外来患者数：167名 (H26年実績)
 1日平均入院患者数：95名 (H26年実績)



専門医修練施設としての認定

プライマリ・ケア連合家庭医専門医、整形外科専門医、リハビリテーション専門医



研修実施責任者
院長
三島 一幸

- 臨床研修指導医数：7名 (H27年11月末日現在)
 (指導医資格取得医師数)

●処遇：

研修手当(月額)	1年次:402,600円(別途諸手当有) 2年次:381,100円(別途諸手当有)
諸手当等	賞与有、各種手当有
宿日直の有無	有・3～4回/月
勤務形態	常勤職員
保険	政府管掌保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	法人にて全員加入
宿舍	無
住宅手当	医師住宅手当70,000円 研修先に伴う諸費用支給

【理念】

いのちの平等を尊重し、
いつでも、だれもが安心して
かけられる病院をめざします。

●臨床研修の特色

【総合的・継続的に患者さんから学べる研修】

当院では、総合診療方式による研修を行っています。高齢化社会が進み、患者さんは複数の疾患を抱えていますが、当院の研修では一つの疾患だけを診るのではなく、1人の患者さんが抱える複数の疾患に対するアプローチを行います。また経済的な問題や家庭の問題などの社会的背景に目を向け、全人的な医療を行うことを研修目標としています。さらに、退院した患者さんの多くは継続的な治療が必要であるため、その後の外来診療や訪問診療などで患者さんを継続的に診ることができます。

【中小病院の特性を活かした小回りのきく研修】

研修医の要望を取り入れながら、個々の研修医に合わせて研修プログラムを変更することができます。また中小規模であるため他職種とのコミュニケーションがとりやすく、チーム医療を実践しチームリーダーとしての自覚を高めていくことができます。医局は各科に分かれておらず、アットホームな雰囲気です。



指導医からの声

■日頃よりどんな点に注意して研修医指導をしていますか
 →医師の仕事の「やりがい」や「責任」を教えたい

■貴院のたすきがけ病院のおすすめポイントを教えてください。
 →アットホーム、研修内容や指導体制が充実

■研修医に何を望んでいますか
 →コミュニケーションを大切にして、組織の中で力を発揮出来る医師になってもらいたい



総合内科・感染症
近藤 慶



6 長崎記念病院

- 概要： 病床数：304床 (H28年3月1日現在)
 医師数：19名 (H28年3月1日現在)
 1 日平均外来患者数：約309名 (H27年実績)
 1 日平均入院患者数：約237名 (H27年実績)



専門医修練施設としての認定

日本消化器病学会認定施設・日本整形外科学会専門医研修施設・日本超音波医学会認定専門医研修施設・日本循環器学会専門医研修施設・日本形成外科学会認定医研修施設・日本外科学会外科専門医制度修練施設・日本小児科学会専門医研修関連施設・放射線科専門医修練協力機関・日本麻酔学会麻酔科認定施設



研修実施責任者
外科部長
松尾 光敏

- 臨床研修指導医数：5名 (H28年2月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当(月額)	1 年次:約380,000円 (別途諸手当有)
	2 年次:約400,000円 (別途諸手当有)
諸手当等	各種手当有
宿日直の有無	
勤務形態	4週6休
保険	各種保険有
医師賠償責任保険	有
宿舍	専用の宿舍はありません。病院で借り上げる場合は、原則無料です。
住宅手当	有

【理念】

地域のために、
より良い医療を、
心をこめて

●臨床研修の特色

当院は人口6万人の長崎市南西部地域に位置し、一般病床、回復期リハ病床、医療療養病床、介護療養病床を保有し、プライマリーケア・救急医療だけでなく、療養・介護にわたる地域の中領域の医療を担っています。また、平成21年に長崎県で第1号の社会医療法人の認定を受けています。80列CT、MRI、血管造影装置など、医療機器も充実しています。

さらに、長崎市南西部地域の医療・介護・福祉などの連携を強化するため地域の医療機関とともに「長崎市南西部地域医療協議会」を立ち上げ年4回の協議会を開催しています。

地域の医療機関、介護事業所や行政等との連携を推進しており、地域の診療所の協力で、訪問診療に同行することも可能です。平成24年度には長崎大学病院群研修プログラム「地域基盤型プライマリーケア外来研修」施設として、また平成26年度には長崎大学病院の教育拠点としての認定を受け、救急医療教育センターの研修施設として、地域医療のプライマリーケアから救急医療までファーストタッチのできる研修施設として対応しています。

お問い合わせ

長崎記念病院 ☎ 871-0301 長崎市深堀町1丁目11-54

TEL:095-871-1515
FAX:095-871-1510URL : <http://www.nmhp.or.jp>●長崎バス利用
深堀1丁目から徒歩0分

指導医からの声

長崎記念病院は『地域のために より良い医療を 心をこめて』の理念のもと、地域に密着した医療を提供しています。当院の特徴は何と言ってもケアミックス病院であることです。同じ病院に様々な区分の病床が存在しています。急性期～回復期・介護に至るまで、患者さんの管理を学ぶことができます。今後ますます進むであろう超高齢化社会下での患者さんの転帰に関して、実際に医療・介護内容を学ぶことができ、そ

のマネジメントの一端をつかむことができるのではないのでしょうか。職員数は全体で450人弱ですが病院の規模として、“チョウドイイ”規模なので、相手の顔の見える距離・走っていけばすぐに相談できる距離で仕事ができるということが、私としては非常に気に入ってます。若さあふれる研修医の先生方の存在は大変ありがたく大歓迎です。



外科
朝長 哲生

社会医療法人春回会 井上病院

- 概要： 病床数：112床 (H27年4月1日現在)
 医師数：24名 (H27年4月1日現在)
 1日平均外来患者数：171名 (H26年実績)
 1日平均入院患者数：10名 (H26年実績)

専門医修練施設としての認定

日本内科学会教育関連施設、日本消化器病学会認定医制度認定施設、日本消化器内視鏡学会認定専門医制度指導施設、日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設関連施設、日本呼吸器学会関連施設、日本大腸肛門病学会認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、社団法人日本老年医学会認定施設、臨床研修協力病院(長崎大学)、日本消化管学会専門医制度指導施設、日本睡眠学会認定施設



研修実施責任者
医局(院長補佐)
瀬戸 信二

- 臨床研修指導医数：8名 (H27年4月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当(月額)	1年次:370,000円 2年次:430,000円
諸手当等	別途支給
宿日直の有無	有2〜3回程度/月
勤務形態	常勤
保険	健康・厚生・雇用・労災
医師賠償責任保険	個人任意加入
宿舍	無
住宅手当	無

【理念】

- ①医療を通じ地域の方へ安心を提供すること
- ②絶え間ない質の改善を行うこと
- ③自分や自分の家族が受けた医療を行うこと
- ④働き甲斐のある明るい職場をつくること

●臨床研修の特色

当院はベッド数112床の小〜中規模の病院ですが、長崎市内有数の救急病院として多くの救急患者を受け入れるとともに、開放型病院として開放病床による診療もっており、地域医療における中核病院の一つとして機能しています。救急患者をはじめとして多岐にわたる疾患や1人で複数の疾病を有する高齢者の診療を第一線で診療できることが最も大きな特徴です。加えて、健診センターを併設していることより、健診から診療さらには指導という一貫した診療体系を体験できることも特色の一つとして挙げられます。

なかでも、消化器疾患に関しては、健診から手術まで指導医を含む多数の医師と専門技師関わった診療を行っており、年間の内視鏡件数9,000例以上、外科的手術200件以上の多くを数えます。また、多数の症例を抱える循環器・呼吸器疾患に加え、糖尿病・高血圧などの生活習慣病に対しては、内科部門だけでなく、健診から眼科、透視



センターまでの一貫した診療体制が構築されています。さらに、睡眠時無呼吸症候群に対しても、睡眠センターを設けて、専門医を中心とした専門の医療スタッフが健診から診療・指導までアクティブに従事しており、同時に多くの臨床的な研究も行っています。

最後に、第一線病院としては必要不可欠なプライマリ・ケア医療の充実に力を入れており、日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部会事務局が当院内に置かれています。当支部会の活動は、これからの長崎県の医療・保健・福祉の在り方にも大いに関連して来ると思われ、毎年、長崎県支部会総会・学術集会を開催し、幅広い職種の方々にご参加頂き、交流・意見交換の場を創出しています。

社会医療法人 春回会 井上病院 ☎ 850-0045 長崎市宝町6番12号

お問い合わせ

TEL:095-844-1281
FAX:095-813-0303

URL : <http://www.shunkaikai.jp/inoue/>

- 宝町バス停・電停より徒歩2分
- 銭座町バス停・電停より徒歩2分

指導医からの声

循環器内科の准教授を経て、平成21年より当院に勤務しています。この間、内科認定医、循環器専門医、老年医学会専門医、高血圧専門医、プライマリ・ケア認定医を取得し、また、ミシガン大学医学部家庭医療科に留学し外来診療の指導法についても学ぶことができました。加えて、当院では、私以外にも多くの学会認定指導医が在院し指導に当たっています。内科学会、外科学会をはじめ、プライマリ・ケア連合学会、老年医学会、消化

器病学会、消化器内視鏡学会、循環器学会、超音波医学会、高血圧学会、呼吸器内視鏡学会、感染症学会、禁煙学会など多岐にわたります。小〜中規模の病院であることを逆に利点として、自主性を重んじながらも、より緊密な指導下での研修実践が可能となるよう心がけています。このような子どもの特徴と経験を生かし、またそれを伝えながら、研修医の皆様と一緒に勉強していきたいと思っています。



循環器内科
瀬戸 信二

選択にあたって注意事項

主として内科の研修となりますが、希望があれば外科の研修も可能です。



8 光晴会病院

- 概要： 病床数：179床 (H27年11月30日現在)
 医師数：26名 (H27年11月30日現在)
 1 日平均外来患者数：238.8名 (H26年実績)
 1 日平均入院患者数：134.1名 (H26年実績)



専門医修練施設としての認定

日本内科学会認定教育関連施設・日本消化器病学会認定関連施設・日本腎臓学会研修施設・日本透析医学会認定施設・日本呼吸器学会認定施設・日本外科学会専門医制度修練施設・日本消化器外科学会専門医修練施設・日本泌尿器科学会専門医教育施設・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設・日本胸科学会教育関連施設・日本心血管インターベンション治療学会研修施設・日本心臓血管外科専門医認定基幹施設・日本糖尿病学会認定教育施設・日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設・日本乳癌学会関連施設・日本感染症学会認定研修施設



研修実施責任者
病院長
岡田 和也

- 臨床研修指導医数：7名 (H28年2月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当 (月額)	1 年次: 約350,000円 2 年次: 約400,000円
諸手当等	賞与・時間外手当・当直手当
宿日直の有無	有・3～4回/月
勤務形態	常勤or非常勤
保険	協会けんぽ・厚生年金保険・雇用保険・労災保険
医師賠償責任保険	病院にて加入 (個人任意加入)
宿舍	有
住宅手当	有 家賃の半額補助 (上限50,000円まで)

【理念】

Humanism
 医療の原点に立った心温まる医療
 High level
 高度医療の提供
 High Growth
 職員一同連携し仕事を通じての
 人間的成長

●臨床研修の特色

当院は長崎市北部、JR道ノ尾駅前であり、市の北部、時津町、長与町や西彼杵半島を含む医療圏の救急告示病院としてまた中核病院として診療を行っています。循環器内科では緊急心カテ、PCI、ペースメーカー植込み、心臓血管外科の救急から手術療法 (最近ではステントグラフトを積極的に導入) まで、あるいは消化器の内科的疾患から手術療法まで、糖尿病さらには腎炎から腎不全、透析 (CAPDおよび血液透析) までと臓器特異的な専門性の高い診療を行っています。小さな病院ではありますが、最善の治療を提供することを目指しています。研修プログラムは、各領域を研修医の希望に応じて構成し研修することができます。特色のある診療科のみローテーションすることも、いくつかの診療科を複数ローテーションすることも可能です。



医療法人光晴会病院 ☎ 852-8053 長崎市葉山1丁目3番12号

お問い合わせ

TEL: 095-857-3533
 FAX: 095-857-2572

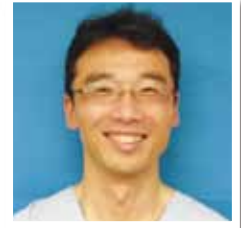
E-mail: info@kouseikai.org
 URL: http://www.kouseikai.org/

- JR長与線/道ノ尾駅下車徒歩2分
- 長崎バス/道ノ尾下車徒歩1分
- 長崎バイパス川平ICより車で約10分

指導医からの声

私どもは長崎北部を中心に開業医との関わりを大切にしている病院です。外来新患は月700人程度、救急車搬入は月60症例ほどあります。内科は呼吸器、消化器、透析、循環器、外科は消化器、心臓血管と細分化していますが、救急が多く救急初期対応を学べる環境です。透析科、心臓血管外科といった専門性の高い診療科があり、血液透析の実際や心臓血管手術を経験できる点が特徴です。総合内科がないためcommon diseaseを対象とする総合診療という意味では物足りないかも知れませんが専門性の高い診療科で多くの症例を経験できることから「たすきがけでこの分野を特に勉強したい」という研修医には当院での研修は最適だと思います。さまざまな処置や手技を自分の手で数多く経験できる点、大学病院のようにカンファに追われることなく調べたり勉強したりする“自分の時間”がある点、それぞれの専門医の治療の実際や考え

方を学べる点など中規模病院ならではの特色を生かした私どものプログラムは貴方の要望に柔軟に答えられると思います。もちろん患者さんやご家族との関わり、スタッフ間のコミュニケーションに不安がないようにサポートしていきます。また医局は全科ひとつですので垣根なく何でも相談することができます。昼食を取りながら気になる患者さんのことを相談する、なんてことは日常事です。私が所属している循環器内科は急性心筋梗塞にも対応できる緊急体制を取っておりカテーテル治療を中心にペースメーカー、ICDなどの不整脈治療も行っています。忙しくはありますが定期的に抄読会を開いて最新の知識の習得を心がけ、学会発表も積極的に行っています。循環器内科のみならず病院全体として向上心を持って診療に当たる雰囲気があると思います。当院での研修に参加して臨床の力をつけてください。



循環器内科
武野 正義

選択にあたって注意事項

限られた診療科ではありますが、中規模病院ならではのアットホームで密度の濃い研修が可能です。



9 虹が丘病院

- 概要： 病床数：150床 (H27年11月1日現在)
 医師数：16名 (H27年11月1日現在)
 1 日平均外来患者数：166名 (H26年実績)
 1 日平均入院患者数：116名 (H26年実績)



専門医修練施設としての認定

日本循環器学会 循環器専門医研修施設・日本外科学会 外科専門医制度関連施設・日本消化器内視鏡学会 指導施設・日本呼吸器学会 関連施設・日本透析医学会教育関連施設・日本アフェリシス学会認定施設



研修実施責任者
糖尿病内科部長
福島 徹也

- 臨床研修指導医数：5名 (H28年3月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当(月額)	1 年次:300,000円 2 年次:320,000円
諸手当等	
宿日直の有無	
勤務形態	常勤
保険	全国健康保険協会、厚生年金、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	病院にて加入
宿舍	有
住宅手当	無

【理念】

創立者精神の継承
 「患者第一主義の徹底」
 「安心と満足のゆく最高の医療の提供」
 を基本理念にかかげ、職員一同が力を
 合わせて地域医療に貢献いたします。

●臨床研修の特色

長崎市北部にある病床数150床の中規模病院です。大規模病院とは異なり、地域に密着した医療を担っています。感冒、嘔吐下痢などの一般的な疾患から、急性腹症、虚血性心疾患など急性期疾患、高血圧、糖尿病、慢性腎臓病などの生活習慣関連疾患、市中肺炎や睡眠時無呼吸症候群などの呼吸器疾患などを診察する機会が多いです。疾患別としては、下肢血管センターがあり、長崎県内のPAD治療の中心を担っており、外科的手術件数は全国トップクラスです。血管治療にあたっては、バイパス術、血管内治療など様々なアプローチをチームで行い、最新の救急治療にあたっています。また、下肢血管疾患がある場合は虚血性心疾患合併率も高く、全身血管病としての治療を行います。循環器疾患に関しては、冠動脈や末梢動脈カテーテル治療を積極的に行っています。256列マルチスライスCTによる冠動脈CTや心臓MRIなど画像システムも充実しています。冠動脈評価だけでなく、心

臓リハビリ室を新設し、心筋梗塞や心不全など心疾患患者の心臓リハビリを外来でも継続していくことができます。糖尿病診療はコーチング理論を取り入れ、できるだけ患者さんのやる気を出せるよう、チーム医療で取り組んでおります。糖尿病教室は月2クール施行しております。教科書的な教育ではなく、患者さんのやる気を導きだせるよう、毎週の病棟カンファで、スタッフ全員で共通認識を持ち、患者治療にあたります。呼吸器内科では肺炎、肺気腫、喘息、慢性呼吸不全など多岐に渡る呼吸器疾患に対して、病初期から回復期まで、リハビリ室等と連携を取りながら診療を行っています。また、睡眠時無呼吸症候群検査および治療も施行しています。慢性腎臓病に対しては、透析予防から導入、維持透析(血液透析および腹膜透析)まで行っております。急性期のCHDFなど体外循環治療も行い、集学的医療も可能です。消化器疾患は内視鏡検査、大腸カプセル内視鏡検査、肝疾患治療、肝臓治療(TACE、RFA)、胆道系治療は全般に渡り行います。カプセル内視鏡検査は九州内でもいち早く取り入れて施行しております。消化器外科では、ヘルニア、胆石手術、胃癌・大腸癌では手術から化学療法まで行います。各専門分野での診療はもちろんですが、総合診療内科の患者さんを多く診察する機会に恵まれています。中規模病院特有の科の垣根が低いことも特色です。

指導医からの声

当院では、地域に密着した、温かい医療の提供と専門的疾患治療の提供の両立を目指しております。症例も専門分野からCommon diseaseまで多岐に渡り、急性期疾患は勿論、老年医療で療養型病院への転院や、施設入所の流れなども学べます。研修にあたっては、小さな医局(常勤医17名、各分野1~3名)とコンパクトな病院なので、相談

は電話一本で気軽にできます。優しい先生ばかりで、若手に教えることも大好きですので、懇切丁寧に教えることができます。医療スタッフも気軽に動いてくれますので、検査なども非常にスムーズに行うことができます。長崎市内での地域医療を学びたい、経験したい方は是非研修に来て下さい。



糖尿病
福島 徹也



医療法人厚生会 虹が丘病院 © 〒852-8055 長崎県長崎市虹が丘町1番1号

お問い合わせ

TEL:095-856-1112
FAX:095-857-7400

E-mail: jimubu@nijigaoka.org
URL: http://www.nijigaoka.org

10 諫早総合病院

HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：323床 (H27年10月1日現在)
医師数： 77名 (H27年10月1日現在)
1 日平均外来患者数：650.4名 (H26年実績)
1 日平均入院患者数：255.8名 (H26年実績)



専門医修練施設としての認定

日本アレルギー学会認定教育施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本外科学会専門医修練施設、皮膚科認定専門医研修施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本神経学会専門医制度研修施設、日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医制度研修施設、日本透析医学会認定施設、日本気管支学会認定施設、日本呼吸器学会認定施設、日本麻酔科学会麻酔指導病院、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本産婦人科学会認定医制度卒後研修指導施設、日本内科学会認定内科専門医教育関連病院、日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、日本高血圧学会認定研修施設



研修実施責任者
医長
泊 慎也

- 臨床研修指導医数：29名 (H27年10月1日現在)
(指導医資格取得医師数)

●処遇：

研修手当 (月額)	1 年次: 約300,000円 2 年次: 約310,000円
諸手当等	賞与無
宿日直の有無	有・4～5回/月
勤務形態	常勤(任期付)
保険	健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	個人任意加入
宿舍	無
住宅手当	無 (月額に込)

【理念】

生命の尊重と安全の確保

●臨床研修の特色

- 将来、病院を担える人材を育てるというpolicyに基づき、指導を行っています。
- 患者さんの目線に立って基本的診療を行う姿勢を身につけることを重視し、さらに、救急での豊富な症例をfirst touchで経験することにより、診療に自信を持てるよう指導を行っています。気管内挿管、中心静脈路確保、腰椎穿刺、胸腔・腹腔穿刺など基本手技の習得は全員に行っています。カンファランス、回診、研修医勉強会・講習で、研修に必要な症例の経験や事項の講義はもちろんのこと、各研修医が質問や討議する積極的姿勢を身につけてもらうよう指導しています。内科の朝回診では各班の部長による多様なアプローチを学べます。担当症例は個人間でばらつきがないように、各自の受け持ち症例や経験手技の一覧を記録し、参考にしてしますので、経験すべき症例を偏り無く、担当できます。



- 論文抄読会や学会発表も指導しています。
- 随時、各人の希望を取り入れて、研修内容を調整できます。
- 厚生福利面では学会発表旅費支給、当直回数調整、年休、夏季休暇などについて配慮しています。
- 県央・県南地区から多くの救急・急性疾患例が集まり、2日に1回の輪番もあるため、全科に渡って、多くの指導医の下で初期対応から入院診療への流れを実践できます。

独立行政法人・地域医療機能推進機構 諫早総合病院 ☎ 0954-8501 長崎県諫早市永昌東町24番1号

●JR諫早駅より徒歩5分

お問い合わせ

TEL: 0957-22-1380
FAX: 0957-22-1184

E-mail: rinken@hospital-isahayasougou.jp
URL: http://isahaya.jcho.go.jp/

ISAHAYA GENERAL HOSPITAL

指導医からの声

■日頃よりどんな点に注意して研修医指導をしていますか
→研修医の個性を伸ばせるような指導

■研修医に何を望んでいますか
→積極性、自分で考えること

■貴院のたすきがけ病院のおすすめポイントを教えてください。
→①垣根が低い、何でも気軽に聞ける。②症例が豊富。③熱心な先生が多い、やる気があればさせてもらえる。④学会発表や論文執筆の指導が充実



リウマチ膠原病
藤川 敬太

長崎大学基幹型研修医からの声



森 美央

健康保険諫早総合病院では内科を垣根なく廻ることができ、苦手意識があったり興味が無いと思いついて入局したい科が定まっていなかったため、より多様な疾患を診たくてこの病院を選びました。私たち研修医のデスクもある医局では、内科に限らず各科の先生方が共同で使っているため直接ご相談ができ、専門的なアドバイスを簡単にもらえます。先生方やスタッフの皆さん

も教育的かつ友好的で、とても居心地よく過ごさせて頂きました。研修に関する要望も言いやすいし通りやすいので、自分次第でどんな研修でもできると思います。



辻 清和
研修医 2 年目

たすきがけ病院として諫早総合病院を選んだのは研修1年目が大学病院と規模が大きい病院であったため、中規模の地域中核病院で研修してみたかった、また先輩から良い評判を聞いていたという理由からでした。実際に研修してみて、当直では多くのcommon diseaseを経験できるのはもちろんのこと、ICU入院となる重症患者や非常に稀な疾患まで経験することができました。また、希望があれば手技もどんどんさせて

もらえるので特に志望科が決まっている僕としてはとても有意義な研修を送ることができました。医局の雰囲気良く、各科の垣根が低いことも特徴です。高齢化が進み、多くの合併症をもつ患者が多いため、他科疾患の診療に悩むことも多いですが、各科の先生方に気軽に質問できる環境なので幅広く専門的な意見を聞くことができ、とても勉強になりました。高いモチベーションに育てくれる研修病院だと思いますので満足のいく研修ができると思います。

選択にあたって注意事項

精神科はありませんので、必要であれば大学病院研修中に行ってください。



11 市立大村市民病院

- 概要： 病床数：280床 (H27年4月1日現在)
 医師数：29名 (H27年10月1日現在)
 1 日平均外来患者数：208.9名 (H25年実績)
 1 日平均入院患者数：163.9名 (H25年実績)



専門医修練施設としての認定

日本消化器内視鏡学会指導施設、日本静脈経腸栄養学会(JSPEN)稼働施設、日本静脈経腸栄養学会実地修練認定教育施設、日本栄養療法推進協議会(JCNT)NST稼働施設、日本臨床細胞学会認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本大腸肛門病学会専門医修練施設、日本整形外科学会認定医研修施設、日本不整脈デバイス工業会 ICD 認定施設、心臓リハビリテーション(大血管疾患リハビリテーション) 認定施設、久留米大学医学部卒後教育認定施設(心臓血管外科)、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本循環器学会大規模臨床試験(J-CHF) 参加認定施設、3 学会心臓血管外科専門医認定修練基幹施設、日本呼吸器学会関連施設、日本不整脈学会研修施設



研修実施責任者
 病院長
 谷岡 芳人

- 臨床研修指導医数：7名 (H27年4月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当(月額)	1 年次: 約400,000円(別途諸手当有)
	2 年次: 約450,000円(別途諸手当有)
諸手当等	当直手当
宿日直の有無	有・2~4回/月
勤務形態	正職員
保険	政府管掌保険
医師賠償責任保険	加入
宿舍	民間アパート借り上げによる宿舎有
住宅手当	有(上限27,000円)

【理念】

わたくしたちは、地域の皆様の
 「健やかな生活」を支援する
 「あたたかい医療」を行います。

●臨床研修の特色

当院では、科を乗り越えた研修ができるという点です。例えば内科の研修中であっても放射線科の専門医のレクチャーを受けに行ったり、外科を研修しながら内視鏡も継続したりという感じです。いろんなことを同時並行で学んでいけるというのは、他にはない強みだと思います。医局が一か所にまとまっていて、コミュニケーションがうまく取りやすいからこそ、実現できる形だと思っています。また、地域医療振興協会の全施設が研修協力施設となっていますので、北は北海道～南は沖縄(与那国)まで全国各地の病院・診療所で研修ができます。

お問い合わせ

公益社団法人地域医療振興協会 市立大村市民病院 総務課 ☎ 856-0817 長崎県大村市古賀島町133番地22

TEL: 0957-52-2161
 FAX: 0957-52-2199

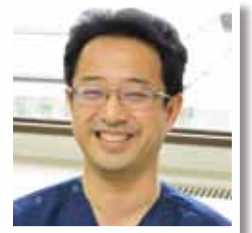
E-mail : etsushit@jadecom.jp
 URL : <http://www.omh-jadecom.jp/html/index.html>

●長崎空港、JR大村駅、
 大村ICより共に車で5分

指導医からの声

うちの売りは、医者数は少ないけれど科が揃っているし、コンパクトな病院だからみんなの顔が見えること。
 全然違う科の先生に質問したり診てもらいたい時は、食事しながら電子カルテを広げたりと気軽にコンサルトできます。
 振興協会の中の後期研修医が応援という形で3ヶ月ごとに来てくれるので、研修医のいい兄貴分としてコミュニケーションが取れるし、ほかの病院のやり方とここのやり方が融合でき、すごく勉強にもなっています。
 研修の最初の1週間はある看護師さんに付いて

1週間同じ勤務を経験してもらいました。次は検査科の検査技師、放射線科、リハビリの順で病院というものが実際どんな風に成り立っているのか3週間かけて体験してもらい、医者というものは病院の一部分を担っているだけで、その他のスペシャリストが集まって成り立っているということを最初に知ってもらいます。
 医者はレントゲンというオーダーを簡単に出すけど、現場では大変。年配の方に「息を吸って」と言っても聞こえなかったり、真っ直ぐ立てない人をみんなで支えて「今撮って!」とかやっているのを知ることはすごく大切だと思います。



総合診療部長
 野中 和樹

研修医からの声



神野 太陽

Q.大村市民病院を研修先に選んだ理由は何だったのですか？
 病院見学の際、病院の規模も思い描いていた通りで、いろんな職種の人とも関われるかなあと漠然と思っていたところ、その時に説明してくれた総合内科の野中先生と楠本先生が素晴らしい、「この人たちのもとで働きたい」という決定的な出会いになりました。

Q.実際に研修してみていかがでしたか？
 違う職種の人との関わりが本当に多く、いろんな刺激を受けています。

Q.進みたい科は決まりましたか？
 初めは総合診療に興味があったのですが、心臓血管外科に進むことにしました。
 アフターファイブには3月にアメリカの医師国家試験を受けるので、その勉強をしています。

心臓血管外科医として成功するためには外の世界を見ることも必要だと思っているので、何年かはアメリカで働き、50歳くらいで引退して、その後は長崎の地域医療に貢献することが僕の最終目標です！

Q.長崎での生活はいかがですか？
 もともと長崎出身ですが、水や食べ物美味しい、海や山など自然や観光地・温泉が多いところ、人が優しい長崎の生活は快適ですね。

Q.医師を目指している人へのメッセージをお願いします。
 心壊れることなく、医者として健康に、正常に成長してください！

選択にあたって注意事項

①産婦人科・小児科・精神科の実習はできません。

12 長崎県島原病院

HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：254床 (H27年4月1日現在)
 医師数：31名 (H27年10月1日現在)
 1日平均外来患者数：289.5名 (H26年実績)
 1日平均入院患者数：205.2名 (H26年実績)



専門医修練施設としての認定

日本内科学会教育関連病院、日本消化器病学会専門医制度関連施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本大腸肛門病学会認定施設、日本乳癌学会関連施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本脳卒中学会研修教育病院、日本脳神経外科学会研修施設、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、日本放射線腫瘍学会認定協力施設、日本病理学会研修登録施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設、日本循環器学会専門医研修関連施設、日本感染症学会連携研修施設



研修実施責任者
外科 院長
松尾 繁年

- 臨床研修指導医数：19名 (H27年10月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

●処遇：

研修手当 (月額)	1年次: 約319,000円 (別途諸手当有) 2年次: 約360,000円 (別途諸手当有)
諸手当等	宿日直手当・時間外手当
宿日直の有無	有・4～5回/月
勤務形態	非常勤職員
保険	政府管掌保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
医師賠償責任保険	病院にて加入 (個人任意加入)
宿舍	有
住宅手当	有 (上限27,000円)

【理念】

患者さん本人の立場に立った医療



●臨床研修の特色

長崎県島原病院の初期研修プログラムの特徴として、選択必修科目である『外科』(2か月)を必修科目にしていることです。その研修期間中に行う手術にはほぼ入ることができますので、多くの症例を経験することが可能です。また、定員は1学年2名となっており、指導医によるマンツーマンの指導を受け密度の濃い研修ができます。院外研修先としては、協力型研修病院(2病院:長崎医療センター・高城病院)研修協力施設(6施設:山崎産婦人科・上五島病院・有川医療センター・奈良尾医療センター・奈留医療センター・県南保健所)と連携しております。研修医にあったプログラムを選択することができます。



プログラム責任者
脳神経外科 副院長
徳永 能治

お問い合わせ

長崎県島原病院 総務係 ☎ 855-0861 長崎県島原市下川尻町7895番地

TEL: 0957-63-1145
FAX: 0957-63-4864

E-mail: shimabara@nagasaki-hosp-agency.or.jp
URL: http://www.shimabarabyoin.jp/

●JR九州 諫早駅乗換え
島原鉄道 諫早駅→島原外港
徒歩 3分

NAGASAKI PREFECTURE SHIMABARA HOSPITAL

指導医からの声

■日頃よりどんな点に注意して研修医指導をしていますか。
 →常に目を光らせながらも研修医の自主性を重視し、長所を伸ばせるよう心がけている。
 ■研修医に何を望んでいますか。
 →患者・家族・スタッフとコミュニケーションが取れる医師。また患者の立場を理解して診療できる医師になること。

■貴院のたすきがけ研修のすすめポイントを教えてください。
 →①少数精鋭ゆえにマンツーマンによる目の行き届いた指導
 ②島原半島における基幹病院であるため多様な症例
 ③放射線治療を含め、がんに対する集学的治療



消化器内科
山西 幹夫

研修医からの声



松瀬 慶和

島原病院は地域の基幹病院ですが、common diseaseを数多く経験できることが魅力です。そして考えていた以上に稀な症例に出会う機会が多いです。つまり、各診療科で様々な症例を経験することが可能と言えます。検査やその手技を経験する場合は比較的多いのではないのでしょうか。研修内容はそういった環境を踏まえて自分なりのメニューを組むことができます。少数精鋭で密度の高い臨床研修を行える病院だと思います。



中島 聡

島原病院は島原半島の中核病院であり、近隣から遠方まで様々な場所から患者さんが来院されます。内科、外科、整形外科をはじめ、多彩な緊急疾患に触れることができます。中でも脳神経外科はホットラインにより、脳出血、脳梗塞などの脳卒中に迅速に対応する体制が整っています。また、内科では内視鏡、気管支鏡、CAGなど1つの診療科に偏ることなく、6ヶ月間広く内科疾患を学べます。外科では年間650例を超える多く

の手術が行われており、虫垂切除、ヘルニア整備から胃切除、大腸切除など研修医として経験すべき症例に困ることはありません。最後に島原病院は上級医の先生方が気さくで、覚えておくべき大切なことは自分の経験を踏まえ小さなことから教えてもらえます。学びやすい環境を整えていただいていることに感謝しながら研修医として成長していける病院だと思います。

選択にあたって注意事項

当院には精神科・小児科・産婦人科はありませんので、必要であれば大学病院研修中に行ってください。



13 長崎医療センター

HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：643床 (H27年7月1日現在)
 医師数：195名 (H27年7月1日現在)
 1 日平均外来患者数：760.7名 (H26年実績)
 1 日平均入院患者数：538.6名 (H26年実績)



学会施設としての認定

三学会構成心臓血管外科専門医認定機構、呼吸器外科専門医認定機構、日本医学放射線科学会、日本インターベンショナルラジオロジー学会、日本眼科学会、日本感染症学会、日本肝臓学会、日本肝胆膵外科学会、日本救急医学会、日本胸部外科学会、日本形成外科学会、日本外科学会、日本血液学会、日本甲状腺学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器外科学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本産婦人科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本周産期・新生児医学会、日本循環器学会、日本消化器外科学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会、日本小児科学会、日本静脈経腸栄養学会、日本静脈経腸栄養学会、日本神経学会、日本心血管インターベンション学会、日本腎臓学会、日本整形外科学会、日本精神神経学会、日本超音波医学会、日本てんかん学会、日本透析学会、日本糖尿病学会、日本東洋医学会、日本内科学会、日本内分泌学会、日本乳癌学会、日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会、日本泌尿器科学会、日本皮膚科学会、日本病態栄養学会、栄養管理・NST実施施設、日本病理学会、日本プライマリ・ケア学会、日本ペインクリニック学会、日本放射線腫瘍学会、日本麻酔科学会、日本輸血学会、日本輸血細胞治療学会、日本リウマチ学会、日本臨床細胞学会、日本臨床腫瘍学会、認定輸血検査技師制度協議会



研修実施責任者
 統括診療部長
 松岡 陽治郎

- 臨床研修指導医数：82名 (H27年9月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当 (月額)	1 年次: 約301,140円 (別途当直手当有) 2 年次: 約301,140円 (別途当直手当有)
諸手当等	当直手当
宿日直の有無	有・4～5回/月
勤務形態	非常勤職員
保険	政府管掌保険
医師賠償責任保険	個人任意加入
宿舍	単身用50戸 世帯用2戸
住宅手当	宿舎料 (11,800円/月) 民間アパートへの入居も可

【理念】

高い水準の知識と技術を培い
 さわやかな笑顔と真心で
 患者さん一人一人の人格を尊重し
 高度医療の提供を目指します

●臨床研修の特色

1. 研修病院としての40年にわたる伝統：
40年以上前からプライマリケア習得を目指す
研修教育を行ってきた。当時の厚生省研修モデル
指定病院、全国3病院のひとつ
2. 指導医の教育にける熱意
3. 初期研修に必須の救命救急と総合診療科の充実
4. 大学病院並みの深さと市中病院並みの症例の多さ
5. 励ましあい、刺激し合う仲間たちの存在
6. 後期専門研修を見据えたテーラメイドの研修プログラムと個別の進路指導
7. リサーチマインドを育てる臨床研究支援・学会発表
8. 手技取得のための計画的な講習会の実施



お問い合わせ

独立行政法人国立病院機構長崎医療センター◎〒856-8562 長崎県大村市久原2丁目1001-1

TEL: 0957-52-3121 (代)
 FAX: 0957-54-0292 (代)

E-mail: kensyu@nagasaki-mc.com
 URL: http://www.nagasaki-mc.jp/

- 長崎空港から車で約15分
- JR大村駅から車で約10分
- JR諫早駅から車で約20分
- 長崎自動車道 大村インターから車で約15分
- JR岩松駅から徒歩20分

NAGASAKI MEDICAL CENTER

指導医からの声

- 日頃よりどんな点に注意して研修医指導をしていますか
 →研修医の観察力・判断力を伸ばすように心掛けている。
 ■研修医に何を望んでいますか
 →専門的な知識は元より、全人的な医療を心掛ける医師になってもらいたい。
 ■貴院のたすきがけ研修のおすすめポイントを教えてください。

- ①当院は40年以上のローテーション研修を行って、各診療科の基本的なことを理解し最低限の全身管理を行うことが医師を育成してきた。
 ②たすきがけコースでは、当院でも指導が充実した診療科での研修を提供します。
 ③受け入れることができる人数は少ないですが、各学年20名以上の同期と研修が可能です。仲間と知り合い、切磋琢磨することで実りある研修が期待できます。



救急医学、外科学
 高山 隼人

研修医からの声



中岡 賢治朗

長崎医療センターは大学病院と同じく、長崎県の医療の中核的存在となる3次医療機関ですが、大学病院とはまた違った特性をもっています。大村市内はもちろんですが、ドクターヘリの基地があることから離島も含めた長崎県内各地から患者が集まってきます。症例の内容も時間外外来の当直を含めると、風邪や心不全、肺炎といった1～2次疾患から、集中治療や高い専門性を要する3次疾患まで多彩な症例を数多く経験

することができます。1年目に大学で基本を学び、2年目に医療センターで実践しながらさらに深めるという流れは自分にとって良かったと思います。熱意ある指導医の先生方と向上心の高い同期に囲まれ、多くの刺激を受けながら学べる環境がここにはあるので、新しい研修医の先生方も医療センターとのたすきがけを是非考えてみてください。

選択にあたっての注意事項

ローテイト12ヶ月の内訳は、総合診療科(3ヶ月)、救命救急センター(3ヶ月)、麻酔科(2ヶ月)、および自由選択科(4ヶ月)となります。

※ローテイト例

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
総合診療科	救命救急	麻酔	選択科								



14 佐世保市総合医療センター

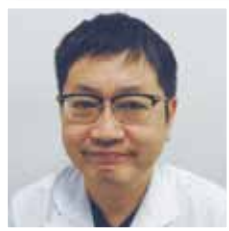
HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：594床 (H26年10月1日現在)
医師数：120名 (H27年10月1日現在)
1日平均外来患者数：745.2名 (H26年実績)
1日平均入院患者数：503.2名 (H26年実績)



専門医修練施設としての認定

日本医学放射線学会放射線専門医修練協力機関、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本病理学会研修認定施設、日本リウマチ学会認定教育施設、日本内科学会認定医制度教育病院、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設、日本感染症学会連携研修施設、日本消化器病学会関連施設、日本消化器内視鏡学会認定専門医制度指導施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション学会研修関連施設、日本神経学会認定教育関連施設、日本血液学会認定血液研修施設、骨髄移植推進財団非血縁者間骨髄採取・移植認定施設、日本腎臓学会研修施設、日本透析医学会専門医制度認定施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本アレルギー学会認定準教育施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、呼吸器外科専門医合同委員会認定基幹施設、日本呼吸器外科学会、日本胸部外科学会認定施設、日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設、マンモグラフィ検診施設画像認定証、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設、日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院、日本泌尿器科学会専門医制度教育施設、日本小児科学会専門医研修施設、日本周産期・新生児医学会周産期専門医暫定研修施設、日本産科婦人科学会専門医制度卒業研修指導施設、日本形成外科学会認定施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本頭頸部外科学会認定頭頸部がん専門医研修施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設、日本ペパングリニック専門医認定指定研修施設



研修実施責任者
集中治療科(研修管理委員長)
横田 徹次

●臨床研修指導医数：51名 (H27年10月1日現在) (指導医資格取得医師数)

●処遇：

研修手当(月額)	1年次:305,000円(別途諸手当有) 2年次:310,000円(別途諸手当有)
諸手当等	当直手当有 時間外手当有(通勤手当、住居手当については支給条件有)
宿日直の有無	有・4回程度/月
勤務形態	非常勤特職医師
保険	健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	病院にて加入(個人任意加入)
宿舎	有
住宅手当	H27年4月より新公宅！綺麗なお部屋ですよ！



【理念】

私たちは、患者様を中心として、安全で安心できる心暖まる医療を提供します。1. チーム医療の実践
2. インフォームドコンセントに基づいた医療 3. 先進的な高度医療

●臨床研修の特色

『北の大学病院』と形容されるほど、症例は集まり、難治例や珍しいものも多くありますが、市中病院であるため軽症も同じように一例に來ます。幅広い、たくさんの症例を経験できる病院です。しかし、大学病院と比べ患者さまにとっても敷居が低い分、患者様の要望が多かったり、経済的な面が問題になって教科書通りの治療が行えなかったりと、家庭環境に配慮した治療方針にしなければならなかったりと、より症例としてではなく、人間を診るのだということを実感、再認識できる病院だと思っています。日々、第1線の先生が何かの答えを出して、診療をしています。指導医がどこを見て判断し、どのように患者に話しているのか、なぜその治療を選んだのか、…そんな指導医の振る舞いを近くで見る事が研修医時代には一番の収穫になると思います。また、患者様の性格にもよりますが、一番信頼を置いてくれるのは一番接し

た医師であることが多くあります。回診のときなどに医師みんなで訪問したら、多くの場合患者様は其中でも一番信頼できる医師を見ます。少なくとも、指導医よりも多く患者様のもとに通うようにしてほしい…そう指導しています。研修医時代に習得したものがその後の医師人生でそのまま使用できる部分は少ないかもしれませんが、もっと普遍的な部分、習得に至るプロセスなどを、佐世保市立総合病院では学んでいただきたいと思っています。

お問い合わせ

佐世保市総合医療センター◎〒857-8511 佐世保市平瀬町9-3

TEL:0956-24-1515
FAX:0956-22-4641

E-mail : kensyu@hospital.sasebo.nagasaki.jp
URL : http://www.hospital.sasebo.nagasaki.jp/

JR/MRをご利用の場合
●MR佐世保中央駅から徒歩15分
●JR佐世保駅から車で7分
バスをご利用の場合
●佐世保駅前から[相浦・鹿子前方面]行き元町バス停下車、すぐ
●佐世保駅前から[矢峰・大野・平戸方面]行き 松浦町バス停下車、徒歩5分
●病院循環バス

SASEBO CITY GENERAL HOSPITAL

指導医からの声

■日頃よりどんな点に注意して研修医指導をしていますか
→研修医の先生方の興味のあることや、それぞれの将来の希望に合わせた内容に重点を置いて指導しています。

■研修医に何を望んでいますか
→積極性と患者さんに対する真摯な態度が必要です。

■貴院のたすきがけ病院のおすすめポイントを教えてください。
→①症例数が多く、いろいろな手技を習得できる点。
②外国人症例を経験できる点。
③救命救急センターでファーストタッチした内科系疾患患者は入院中も引き続き担当医として治療に関わることができ、幅広い診療が可能な点。



呼吸器/感染症
福田 雄一

長崎大学基幹型研修医からの声



大塚 雅和

私は長崎大学病院協力型研修医として1年目を長崎大学病院、2年目を佐世保総合病院で研修させて頂きました。佐世保市中心部に位置する当院は佐世保市内ではなく平戸や松浦市まで広範囲をカバーしています。このため当院では多くの症例をみることができ、経験を多く積むことができていると思います。また大学病院と比較すると少ないですが、研修医の数も比較的多く様々なことを研修医間で話し合うことができる

のも魅力であると思います。私は小児科に進むことを決めていたため、NICUがあることも研修先を決めるきっかけになりました。Common diseaseから重症例まで経験することができて大変有意義な研修を送れていると感じています。協力型の研修は大学病院で学んだ知識・経験と合わせることでバランスの取れた研修が出来ると思います。ぜひ一度見学に来られてはいかがでしょうか。



大塚 絵美子

私は長崎大学病院協力型研修医として、1年目を長崎大学病院、2年目を佐世保市立総合病院で研修させて頂きました。1年目は大学病院で医師としての基本的な考え方や姿勢を身につけ、2年目は多くの症例を経験したいと考えたからです。実際に2つの病院を経験して、どちらの病院も各診療科の揃った病院で各科の先生方も揃っているため、研修するにはぴったりだったと思います。その中でも、大学病院は一度に受け持つ患者

さんの数は少ないですが、一つの症例に関して文献の検索も含め、深く考えることができました。佐世保市立総合病院では夜間当直や二次輪番当直も経験し、いわゆるcommon diseaseから重症症例までたくさんの症例や手技をこなすことが出来ました。私はどちらの病院も研修医として経験すべき病院だったと感じています。学生の皆さんもぜひ見学に来られてはいかがでしょうか。

選択にあたって注意事項

- ①精神科は宮原病院での研修となります。
- ②地域研修は、基本的に宇久診療所または千住病院での研修となります。



15 佐世保中央病院

HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：312床 (H27年10月1日現在)
医師数：56名 (H27年10月1日現在)
1日平均外来患者数：540.3名 (H26年実績)
1日平均入院患者数：267名 (H26年実績)



専門医修練施設としての認定

日本内科学会 教育病院、日本糖尿病学会 教育施設、日本消化器病学会 認定施設、日本リウマチ学会 教育施設、日本循環器学会 専門医修施設、日本透析医学会 認定施設、日本外科学会 専門医制度修練施設、日本呼吸器外科学会 専門医制度関連施設、日本胸部外科学会 専門医制度関連施設、日本消化器外科学会 専門医修練施設、日本消化器内視鏡学会 指導施設、日本救急医学会 専門医指定施設、日本大腸肛門病学会 専門医修練施設、日本神経学会 准教育施設、日本脈管学会 認定研修関連施設、日本医学放射線学会 修練機関、日本脳神経外科学会 専門医訓練施設、日本プライマリ・ケア学会 研修施設、日本ハイパーサーミア学会 認定施設、日本高血圧学会 専門医認定施設、日本病理学会 研修認定施設B、日本緩和医療学会 研修施設、日本心血管インターベンション治療学会 研修関連施設、日本乳癌学会 関連施設、日本臨床細胞学会 教育研修施設、日本臨床細胞学会 施設認定、日本静脈経腸栄養学会 NST稼働施設、血管内レーザー焼灼術実施・管理委員会 血管内レーザー焼灼術実施施設、日本不整脈学会・日本心電学会 不整脈専門医研修施設、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 関連施設関連施設



研修管理委員長
病院長
碓 秀樹

●臨床研修指導医数：20名 (H27年10月1日現在) (指導医資格取得医師数)

●処遇：

研修手当 (月額)	1 年次: 300,000円 (別途宿日直手当有)
	2 年次: 315,000円 (別途宿日直手当有)
諸手当等	当直手当有
宿日直の有無	有・4回/月
勤務形態	常勤研修医
保険	全国健康保険協会、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	病院加入有り、個人加入は任意
宿舍	無
住宅手当	有 (50,000円～)



現在、救急搬送数は年間2,000件近くになり、一次から三次までの様々な症例の患者様が受診されます。救急外来及び当直における研修を多く取り入れていますので、最初にトリアージする判断力が養われ、プライマリーケアの基礎的な知識が身につきます。たとえ重症や難しい症例にあたっても、医師のみならず看護師やメディカルによるサポート体制が整っていますので、アドバイスを受けながら診療に集中することができます。研修医も佐世保中央病院職員の一員としてチーム医療に関わることで、知識や技術だけでなく、コミュニケーション能力も高めることができる環境が整っています。

【理念】

「患者さんが一日も早く社会に
復帰されることを願います」

●臨床研修の特色

佐世保中央病院のプログラムは、将来、プライマリーケアに対処しうる第一線の臨床医、あるいは高度の専門医、このいずれを目指すにおいても必要となる診療に関する基本的な知識や技能及び態度の修得が可能な内容となっています。当院では、平成19年に電子カルテを自社開発していますので、実際に現場で使用するスタッフの意見がすぐに反映され日々進化し続けています。そのため、大変使いやすい電子カルテとなっており、最先端の医療システムを経験することが可能です。また平成20年に地域医療支援病院に指定され、平成23年には社会医療法人の認定を受けました。今後も病診連携を重視した地域完結型医療の提供、人材育成や最新医療機器の導入、救急の受け入れ態勢強化に努めていきます。

社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院 総務室 ☎ 857-1195 長崎県佐世保市大和町15

●JR佐世保駅よりバス10分

お問い合わせ

TEL: 0956-33-7151
FAX: 0956-33-8557

E-mail: sch-kensyui@hakujyujikai.or.jp
URL: http://www.hakujyujikai.or.jp/chuo/

SASEBO CHUO HOSPITAL

指導医からの声

■Q.日頃よりどのような点に注意して指導していますか？

研修医が幅広い知識を得られる環境、不安を抱かない環境をつくりながら指導することを心がけています。

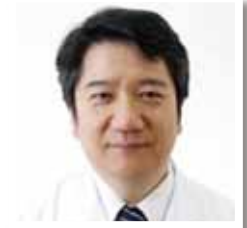
■Q.研修医に望むことは何ですか？

多職種協働の取り組みに積極的に携わり、病院スタッフの一員であることを意識して、コミュニケーション能力の向上に努めてほしいと考え

ています。

■Q.佐世保中央病院のたすきがけ研修のおすすめポイントを教えてください。

集中して研修に取り組んでもらうために私たちは何ができるのかを常に考えています。その一つとして、朝食を準備することにしました。一人暮らしだと朝食を抜いてしまいがちになると思いますので、しっかり食べて朝一番のゴールデンタイムを有効活用してください。



リウマチ・膠原病内科
植木 幸孝

研修医からの声



池田 貴裕

Q.佐世保中央病院を選んだ理由は？

実は、この佐世保中央病院は自分の中の研修病院の候補には挙がっていなかったんです。たまたま見学することになって、実際に見たら病院の雰囲気が自分にピッタリで「ここだ！」と思いました。“運命の出会い”みたいな感じでした。

Q.研修において何か工夫していますか？

毎週水曜日の朝7:30から研修医だけの勉強

会を自主的にやっています。他の研修医からもらったお題で資料を作り、専門の先生に監修してもらった上で他の研修医にレクチャーするという形式です。手技はたくさん経験できるので、中身も伴うようにしたいとの思いで始めました。医局の垣根が低いので気軽に相談できますが、ただ教えてもらうだけでなく、自分から積極的に調べて教える側に立つことで自信を高めることもできました。

選択にあたって注意事項

当院で研修できない診療科 (産婦人科・精神科等) があります。希望される場合は、1年目の大学病院での研修中に行ってください。



16 長崎労災病院

HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：350床 (H27年11月1日現在)
医師数：47名 (H27年11月1日現在)
1 日平均外来患者数：289.4名 (H26年実績)
1 日平均入院患者数：366.6名 (H26年実績)



専門医修練施設としての認定

日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連認定施設、日本消化器病学会専門医制度関連施設、日本感染症学会認定研修施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本循環器学会循環器専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本乳癌治療学会認定施設、日本甲状腺外科学会内分泌・甲状腺外科専門医制度認定施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本脊椎脊髄病学会クリニカルフェロー認定施設、日本脊椎脊髄病学会アドバンスコース登録施設、日本形成外科学会認定医研修施設、日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設、日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設、日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院、日本脳ドック学会認定脳ドック施設、マンモグラフィー検診制度管理中央委員会認定マンモグラフィー検診施設、日本麻酔学会麻酔科認定病院、日本集中治療医学会専門医研修施設、日本ペインクリニック学会指定研修施設、日本肝臓学会関連施設、日本消化器外科学会専門医制度関連施設



研修実施責任者
副院長
吉田 俊昭

●臨床研修指導医数：19名 (H27年11月1日現在) (指導医資格取得医師数)

●処 遇：

研修手当 (月額)	1 年次: 287,870円 (基本給)
	2 年次: 301,840円 (基本給)
諸手当等	時間外手当 賞与: 規定による
宿日直の有無	有・2～3回/月
勤務形態	常勤 (長崎労災病院2号嘱託)
保険	組合健康保険、厚生年金、厚生年金基金、労働災害補償保険
医師賠償責任保険	病院にて加入 (個人任意加入)
宿舍	有 (単身用2戸)
住宅手当	宿舎料 (8,550円/月)

【理 念】

私たちは、働く人々と地域の皆様に安全で質の高い医療を提供するために最善を尽くします。

●臨床研修の特色

臨床研修制度の基本理念である医師としての人格を養い、医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、プライマリー・ケアの基本的な診療能力の習得を達成するために、当院と機能的に連携する研修協力病院及び研修協力施設で長崎労災病院群を構成し、1 年目は当院で基礎科目の研修を行い、2 年目に研修協力病院及び研修協力施設で必修科目、当院で選択科目の研修を行うプログラムとしている。特徴としては、内科系・外科系患者の急患が多く来院するので、症例が多く、広く急性期疾患に対応する能力を修得することが容易である。特に、救急集中治療科においては専従専門医のマンツーマン指導が可能である。本院に無い小児科・産婦人科・精神科については近隣の病院の協力を得ているので、病院間の連携のあり方を学び、また他施設の医療のあり方を学ぶ機会にも恵まれる。



お問い合わせ

独立行政法人 労働者健康福祉機構 長崎労災病院 ©〒857-0134 長崎県佐世保市瀬戸越2丁目12番5号

TEL: 0956-49-2191
FAX: 0956-49-2358

E-mail: shomu@na-robyo.jp
URL: http://www.na-robyo.jp/

●J松浦鉄道泉福寺駅下車徒歩10分、JR佐世保駅より市営バス「矢峰」行き乗車「労災病院前」下車すぐ



指導医からの声

■日頃よりどんな点に注意して診療を行っていますか？
内科診療、感染症診療問わず、オーソドックスでな方法ですが、患者さんの症状、背景(疫学的なもの含む)をしっかり聴取し、特に感染症なのか非感染性疾患なのかシステムレビュー、身体所見を確認しながら鑑別診断を行い、問題臓器を特定し、その原因を臨床推論に基づいて可能な限りシステムチェックに探るようにしています。その中で患者さんやそのご家族の考えや希望なども確認し、治療に生かすようにしています。
■研修医に何を望んでいますか？
全ての患者さんが教科書です。貪欲に一例一例から学び、担当の患者さんは自分が最も良く知っているという自信を持ち、主治医力を培うよう頑張ってください。また一緒に働いている多くのスタッフにも感謝の念を忘れずに研修を進めて下さい。
■研修のおすすめポイントは
当院は13診療科、350床を有する中規模急性期病院としてその役割を担っており、佐賀県境に面した佐世保市北部に位置しているため、佐世保市のみでなく佐賀県の伊万里市、有田町方面、更には長崎県

北の平戸市、松浦市方面からも多数の患者さんが来院され長崎県北医療を支えている医療機関です。特徴として当院は外科系診療科が充実しており、外傷、脳血管障害、急性腹症などの外科系救急疾患の診療、研修が可能です。専従医のいる集中治療室も整備されており、敗血症性ショック、急性呼吸不全、急性心不全、侵襲性の高い術後など、全身管理が必要な重篤な患者さんの診療研修が可能です。内科診療科は循環器、消化器、呼吸器、感染症のグループがあります。コモンディージーズ、高齢者医療のみならず、悪性腫瘍を含めた各臓器疾患を担当し、外来研修、カンファレンス、勉強会を通じて内科臨床の基礎力を培うことが可能です。私自身は2015年4月に感染症内科のチーフとして大学病院から当院に赴任しましたが、当院は中規模病院であるが故に各科の垣根は低く、円滑に診療が行えることが特徴です。初期研修医の先生にとってプライマリーケア、入院管理、地域医療を学べるポテンシャルを持った施設だと思います。我々指導医も研修医の先生から学ぶ事も多いものです。互いに切磋琢磨し、双方向性の研修を行って行きましょう。



感染症、一般内科
古本 朗嗣

■日頃よりどんな点に注意して診療を行っていますか？
問診、診察、画像等を使用し総合的に判断し診断すること。疾患について勉強し治療方針について指導医に相談すること。手術に関してはアプローチ方法も含め疾患について充分把握の上望むこと。
■研修医に何を望んでいますか？
多くのことを吸収するために積極的に治療に携わること。
■研修のおすすめポイントは
当病院は初歩的な治療から難易度が高い治療まで多くのスタッフと症例より学ぶことが可能です。1つの疾患を深く学ぶことも大切ですが、当院は多くの症例と接し経験を積むことが可能です。当病院は佐世保市にあり佐世保市以外にも長崎県北部や佐賀県西部から数多くの患者さんが来院されます。当院は整形外科、脳神経外科、外科を中心とした外科系の急性期医療にも力を入れています。緊急手術から慢性期疾患まで手術症例数は年間3,000例を超えており、

ICU、救急医療などの麻酔科が充実しているのも特徴です。また、屋上ヘリポートを有しており、多くの重症患者さんがドクターヘリにより搬入されます。整形外科は多岐に渡る疾患を小児から高齢者まで判断から手術を基本とする治療までトータルで行います。また、疾患に対する治療効果が術直後から四肢機能でわかる大変魅力のある診療科です。当院においては骨折などの一般外傷、脊椎外科、四肢関節外科、スポーツ整形外科を中心に年間2,000例を超える手術を専門医、指導医が臨床研修カリキュラムに従ってきめ細やかな指導を行っており、医療技術の習得に加え学会発表、論文作成に関しても指導を受けることができます。当院は地域拠点病院として様々な症例に対し多くの経験を積むことが可能です。また海の幸にも恵まれ九十九島国立公園の絶景など自然も満喫できます。わたしは学生時代はラグビーをしておりました。その経験から仕事もチームワークが大切だと考え診療を行っています。是非チームワークで共に動きましょう。お待ちしております。



整形外科
馬場 秀夫



研修医からの声



出口 嘉彦

地域研修で1か月間、麻酔科で研修させていただきました。1日平均3件ほどの手術をもさせてもらい、麻酔についての基本や手順を学び、指導医のもと、マスク換気・挿管・腰椎穿刺など、連日経験することができました。また、病院全体の雰囲気が良く、他科の先生やコメディカルの方にもやさしく迎えてもらえ、病院にまだ慣れていない自分に声をかけてくれたり、指導していただいたりと、非常にはたらくやすく、充実した研修を行うことができました。

選択にあたって注意事項

外科系のみではなく、内科系も4月からは感染症内科も新設予定につき診療指導体制も充実しているので内科研修も受け入れ可能です。また、整形外科症例・脳神経外科症例が多いのでそれらの画像診断を研修するのにも有効です。(昨年12月には整形外科選択2年目初期研修医の先生が放射線科で研修されました。)



病院長
福崎 誠

国立病院機構 長崎川棚医療センター

- 概要： 病床数：315床 (H27年2月1日現在)
 医師数：29名 (H27年2月1日現在)
 1日平均外来患者数：153.4名 (H25年度実績)
 1日平均入院患者数：243.0名 (H25年度実績)



専門医修練施設としての認定

日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本神経学会専門医制度教育施設、日本循環器病学会認定循環器専門医研修施設、日本外科学会専門医制度指定修練関連施設、日本消化器外科学会認定専門医修練関連施設、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設、日本感染症学会専門医研修施設、日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設、日本アフェリシス学会教育認定施設、日本呼吸器学会認定施設、日本脳神経外科学会専門医訓練場所、協力型臨床研修病院



研修実施責任者
副院長
松尾 秀徳

- 臨床研修指導医数：13名 (H27年2月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当(月額)	1年次:330,000円 2年次:330,000円
諸手当等	無
宿日直の有無	無
勤務形態	非常勤職員
保険	全国健康保険協会、厚生年金、雇用保険、国家公務員災害補償法適用
医師賠償責任保険	個人任意加入
宿舍	専用宿舎有
住宅手当	無

【理念】

病む人のために病む人の望む
安心・安全な医療を提供します。

●臨床研修の特色

救急から専門的医療まで豊富な症例を経験出来、マンツーマンでの指導に加え、各科でのカンファランス、他の診療科・部門との合同カンファランスで医師として必要な知識・技術を身につけるとともに、患者さん及び家族とのコミュニケーション、医師としての倫理、チーム医療における医師の役割について研修する。診療科の垣根がなく、研修医が少人数のため多くの症例を経験することが可能で、家庭的雰囲気の中で研修が可能である。当院は近隣地域における急性期病院としての機能を十分果たすことを責務とし、地域医療支援病院としても「あじさいネット」を有効に活用し連携を深めており、内容の濃い研修が出来ます。



お問い合わせ

独立行政法人国立病院機構 長崎川棚医療センター ☎859-3615 長崎県東彼杵郡川棚町下組郷2005番地1

TEL:0956-82-3121
FAX:0959-83-3710

E-mail: 8210sy01.hosp.go.jp
URL: http://www.nkmc.jp/

●JR川棚駅から、徒歩10分

指導医からの声

■日頃よりどんな点に注意して研修医指導をしていますか
 →各研修医の将来のあり方を考えてサポートするよう心がけている

■研修医に何を望んでいますか
 →患者・家族との関係、医師としての倫理、チーム医療における医師の役割

■貴院のたすきがけ研修のおすすめポイントを教えてください
 →小規模病院なので家族的な雰囲気のなか密度の高い質の高い研修が可能



神経内科
中根 俊成

選択にあたっての注意事項

- ①神経内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科・感染症内科の研修が可能
 ②一般外科・呼吸器外科・脳神経外科の研修が可能
 ③他施設では経験出来ない結核の研修が可能
 ④上記以外に臨床研究部での研究への参加も歓迎



■宿舎の内部



18 佐世保共済病院

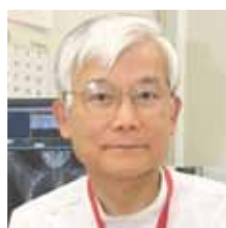
HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：413床 (H27年4月1日現在)
 医師数： 54名 (H27年11月1日現在)
 1 日平均外来患者数：562名 (H26年実績)
 1 日平均入院患者数：262名 (H26年実績)



専門医修練施設としての認定

日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本産科婦人科学会認定医制度の専攻医指導施設、日本臨床細胞学会認定施設、臨床研修指定病院 (協力型・管理型)、臨床研修指定病院 (歯科)、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本産婦人科学会婦人科腫瘍登録施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本透析医学会専門医教育関連施設、日本静脈経腸栄養学会 N S T 稼働認定施設、日本静脈経腸栄養学会 N S T 専門療法士実地修練施設、マンモグラフィ検診施設画像認定、日本周産期・新生児医学会、周産期母体・胎児専門医暫定研修施設、関連 1 1 学会認定ステントグラフト実施施設、日本腎臓学会研修施設、日本小児口腔外科学会研修施設、日本循環器専門医研修関連施設、日本アレルギー学会教育施設、日本口腔外科学会認定関連研修施設、生殖医療専門医制度研修連携施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設



研修実施責任者
院長
木寺 義郎

- 臨床研修指導医数：12名 (H27年11月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

●処遇：

研修手当 (月額)	1 年次: 300,000 円 (別途諸手当有) 2 年次: 315,000 円 (別途諸手当有)
諸手当等	当直手当、時間外手当、賞与有
宿日直の有無	有・4~5 回/月
勤務形態	常勤 (健保職員)
保険	協会けんぽ、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	個人任意加入
宿舍	有
住宅手当	単身用宿舍を無償貸与

【理念】

博愛の精神・人の和・自己研鑽

●臨床研修の特色

当院は創立100余年の歴史ある病院で、創立以来佐世保市と長崎県北地域の急性期医療を担う中核病院としての役割を果たしています。病院は交通アクセスも良く、市街地アーケードに隣接した佐世保市の中心部に位置し、来院者の利便性が非常に高い立地となっております。また、市の中心部にありながら佐世保川とその周辺公園を眺望できる絶好の環境の中で地域医療支援病院・救急告示病院としての診療を行っています。職員間においても、職種や診療科の垣根が低く、各診療科間で気軽に話し合える雰囲気があります。こうした環境の中で、臨床研修においては研修医が基礎的な知識と技術の習得ができるよう、そして快適で充実した研修生活を送れるよう個人の希望に応じた研修プログラム作りに努めています。



お問い合わせ

国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院 © 〒857-8575 長崎県佐世保市島地町10-17
 TEL: 0956-22-5136 E-mail: soumu@kkr.sasebo.nagasaki.jp
 FAX: 0956-25-0662 URL: http://www.kkr.sasebo.nagasaki.jp/

●JR佐世保駅よりタクシーで7分
 車で来院の場合は佐世保中央ICから
 車で2分

SASEBO KYOSAI HOSPITAL

指導医からの声

■日頃よりどんな点に注意して研修医指導をしていますか
 →基礎的な知識と実技の習得ができるような指導を心がけています。

■研修医に何を望んでいますか
 →チーム医療の一員としての基本的な診療ができる医師を目指してほしいです。

■貴院のたすきがけ病院のおすすめポイントを教えてください。
 →当院は職員みんながとても温かく、和気藹々とした雰囲気の病院です。充実した研修生活を送れるよう、個人の希望に応じた研修プログラム作りに努めています。また、佐世保米海軍診療所での研修など当院ならではの貴重な体験もできますよ。



麻酔科
深野 拓

選択にあたっての注意事項

研修内容については相談に応じます。病院見学も随時受け付けておりますので、お気軽に当院総務課までご連絡下さい。



Aコース

Bコース

トライアングルコース

アカデミックコース

19 長崎県五島中央病院

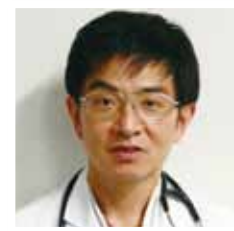
HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：304床 (H27年11月1日現在)
医師数：32名 (H27年11月1日現在)
1日平均外来患者数：597名 (H26年度実績)
1日平均入院患者数：208名 (H26年度実績)



専門医修練施設としての認定

内科(教育関連施設)、呼吸器(認定施設)、整形外科(研修施設)、眼科(研修施設)、放射線科(修練機関)、精神科(研修施設)、外科(指定施設)、日本がん治療認定医機構認定研修施設、肝疾患専門医療機関、循環器(研修関連施設)、日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設、日本消化器病学会関連施設



研修実施責任者
医療局長兼検査部長
深堀 正美

- 臨床研修指導医数：13名 (H27年11月1日現在)
(指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当(月額)	1年次:431,000円(別途当直手当有) 2年次:451,000円(別途当直手当有)
諸手当等	当直手当有
宿日直の有無	有・4回程度/月
勤務形態	非常勤
保険	全国健康保険協会、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	病院において加入
宿舍	有
住宅手当	借り上げ宿舍(17,600円/月)

【理念】

五島の地域医療に貢献し、
患者様に信頼される
病院をめざします。

●臨床研修の特色

当院は離島である下五島地域の約4万人の人口をカバーする島内唯一のへき地医療拠点病院です。そのため、症状の軽重問わず様々な疾患の患者さんが集まってくるので、プライマリ・ケアとして対応する症例が豊富です。また、プログラムの中の選択科の一つとして「離島医療総合コース」を設けており、小離島診療所への診療応援をはじめとし、地域医療についてさらに踏み込んだ研修を行うことも可能です。さらに、地域での救急医療も同様に当院が中核を担っておりますので、救急車等による救急搬送は勿論、そこからヘリコプターでの本土三次救急病院への搬送も行っており、研修期間中に一連の流れを経験することが可能です。また、304床という中規模病院での特徴の1つとして、医局が一つであるために各診療科の先生たちとの相談がスムーズに行えるという利点があり、担当指



導医以外の先生からの指導等も可能です。さらに、研修医数も少ないため、1人当たりの症例数も多く、様々な症例・手技を経験できます。また、研修プログラムも研修医の希望に合わせた設計が可能です。修了後についても、当院での後期臨床研修や大学病院への入局をはじめ、他病院や官公庁への就職の実績など、様々な進路が拓かれています。

お問い合わせ

長崎県五島中央病院◎〒853-0031 長崎県五島市吉久木町205

TEL:0959-72-3181
FAX:0959-72-2881

E-mail : gobyu@nagasaki-hosp-agency.or.jp
URL : http://www.gotocyuoh-hospital.jp/

●五島福江空港・福江港より車で10分

NAGASAKI PREFECTURE GOTO CYUOH HOSPITAL

指導医からの声

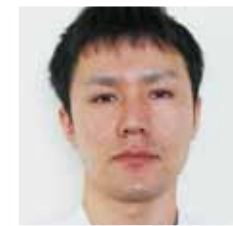
外科
橋本 敏章

■日頃よりどんな点に注意して研修医指導をしていますか
→やって見せて、言って聞かせて、やらせてみる

■貴院のたすきがけ研修のおすすめポイントを教えてください
→医局は全科1つなので、コンサルトが容易

■研修医に何を望んでいますか
→なんでもやってみるという気持ち

研修医からの声



東 祥嗣

下五島は人口約3万人程度の小さな島で、人口比率は高齢者が多くを占めます。入院患者の大半が70代後半以上、90代も多くいらっしゃいます。高齢者は若年者と違い合併症は多く、輸液管理だけでも苦労しました。また栄養管理やせん妄対策などの入院管理や、退院後の対応など社会的背景に考慮するなど「患者」を診るという点で大変勉強になりました。研修医は少ないため様々な症例、予約外診察や救急車対応、基本的手技の経験は大変しやすい

と思います。画像読影も充実した環境でたくさん症例でできたことは本当に貴重な経験でした。また職種間の垣根が大変低く、検査手技も色々とさせていただきました。検査の感度、特異度について大変勉強になりました。この病院では都会の病院や大学病院のような最先端の治療はできません。しかし基本的な経験、知識を学ぶ必要がある研修医にとってはとてもよい病院だと思います。

選択に洗濯にあったっての注意事項

内科、外科、整形外科他の中で救急医療、ヘリ搬送、洋上救急を行います。

A
コース

B
コース

トライアングルコース

アカデミックコース

20 長崎県上五島病院

HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：186床 (H27年11月1日現在)
医師数：19名 (H27年11月1日現在)
1日平均外来患者数：520名 (H26年実績)
1日平均入院患者数：150名 (H26年実績)



専門医修練施設としての認定

日本整形外科学会専門医教育施設、泌尿器科専門医教育施設、日本外科学会専門医制度関連施設、日本消化器病学会専門医制度関連施設、日本消化器外科学会専門医制度関連施設



研修実施責任者
院長
八坂 貴宏

- 臨床研修指導医数：4名 (H27年11月1日現在)
(指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当 (月額)	1年次:301,140円 (別途諸手当有) 2年次:301,140円 (別途諸手当有)
諸手当等	時間外手当・休日手当・当直手当・研修手当・図書購入費補助有
宿日直の有無	有・4回/月
勤務形態	研修医 (非常勤)
保険	健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	加入
宿舍	単身用1戸、世帯用1戸 (月5,000円)
住宅手当	無

【理念】

地域と共に歩み信頼され
親しまれる病院

●臨床研修の特色

卒後臨床研修制度の基本理念である「医師としての人格の涵養」「プライマリ・ケアの基本的な診療能力」を身に付ける上では、非常に有利な地域性、社会性、地域医療システムがあり、本土病院と連携することで、医療連携、遠隔医療、専門医療も学ぶことができます。



お問い合わせ

長崎県上五島病院 ☎ 857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷1549-11

TEL:0959-52-3000
FAX:0959-52-2981

E-mail: kamihp@gold.ocn.ne.jp
URL: http://www.kamigoto-hospital.jp/

●長崎港より高速船90分

NAGASAKI PREFECTURE KAMIGOTO HOSPITAL

指導医からの声

自然豊かな、人情あふれる土地でへき地診療・総合診療に関心のある研修医を待っています。熱意と周りのスタッフと協議して働ける人材を希望しています。当院での研修では、訪問診療から重症の救急対応まで色々な疾患に対応できるようになります。



外科
八坂 貴宏

研修医からの声



増田 真吾

患者さんとの距離がとても近い病院です。また、とにかく各科での垣根がなく、研修科に関わらず、指導を受けられます。多様な疾患を受け持つことができ、充実しています。



Aコース

Bコース

トライアングルコース

アカデミックコース

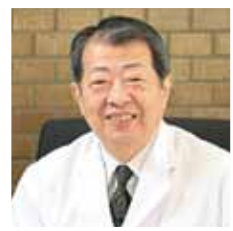
国立病院機構 佐賀病院

- 概要： 病床数：292床 (H27年1月1日現在)
 医師数：40名 (H27年1月1日現在)
 1 日平均外来患者数：290名 (H26年度実績)
 1 日平均入院患者数：208名 (H26年度実績)



専門医修練施設としての認定

日本内科学会教育関連施設、小児科専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本整形外科学会研修施設、日本形成外科学会認定施設、日本産婦人科学会卒後研修指導施設、日本眼科学会研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本医学放射線学会専門医修練機関、日本消化管学会胃腸科指導施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本消化器病学会認定施設



研修実施責任者
院長
島 正義

- 臨床研修指導医数：22名 (H27年1月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当(月額)	1 年次:約315,000円 2 年次:約321,300円
諸手当等	
宿日直の有無	有(内科研修時のみ)・3回/月
勤務形態	
保険	健康保険、厚生年金、雇用保険
医師賠償責任保険	任意で加入
宿舍	無
住宅手当	無

【理念】

赤ちゃんからお年寄りまで
 患者さんにやさしい病院、
 家族にも思いやりのある病院、
 そして質の良い医療が提供できる
 病院をめざします



●臨床研修の特色

当院は佐賀市の中心部より北西約2km、JR佐賀駅より北方約1kmの国道34号線に面した位置にあり292床15標榜診療科、定員医師現員40名の急性期型総合病院で年間約4,000人の救急患者と約1,000人の救急車搬送患者を受け入れ2次救急病院としての機能を担っています。長崎大学出身の指導医も多く、長崎からはJRや車で1.5時間ほどの利便性で来ていただきやすい環境です。当院では長崎大学病院の研修では研修する機会の少ない日常診療で遭遇することの多い疾患を経験でき、中規模病院で各診療科が有機的に機能しながら診療していますので気軽に指導医に何でも相談できる診療体制をとっていることが当院の特徴です。また当院ではがん診療および成人専門医療を診療の2本柱と位置づけているので特に内科および外科研修では多くの症例数の実地医療

療を経験し身につけることができます。また小児科は佐賀県における周産期新生児医療の三次医療施設として、小児一般診療では佐賀中部医療圏における二次医療施設としてその責務を果たしており多くの診療実績があります。また産婦人科の研修は周産期主体の実践型で具体的には研修1ヶ月目で産婦人科診察、検査、手術、術前後管理に慣れていただきます。研修2ヶ月目には、帝王切開の前立ち(第1助手)、胎児超音波検査、会陰裂傷縫合を実践できることを目標に指導いたします。年間の実績は、分娩数600例弱、母体搬送約170例、早産約170例、産科手術約300例(帝王切開270例)婦人科手術約100例と豊富ですので、チーム医療の中で自然に臨床経験を積むことが可能です。そのほかにも循環器科、放射線科、麻酔科、整形外科、形成外科、眼科、皮膚科、泌尿器科の研修が選択可能です。

国立病院機構佐賀病院 ☎ 849-8577 佐賀県佐賀市日の出1-20-1

お問い合わせ

TEL:0952-30-7141
 FAX:0952-30-1866

E-mail: 606jy01@hosp.go.jp
 URL: http://www.saga-hosp.jp/

●JR佐賀駅徒歩20分 ●バス(市営バス・昭和バス)は「市文化会館前」下車:徒歩1分
 高速バス(唐津・伊万里線)「総合体育館前」下車:徒歩3分 ●長崎自動車道路「佐賀大和IC」より車で10分

指導医からの声

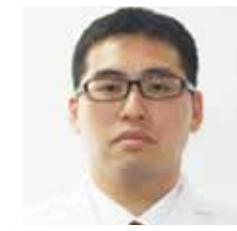
たすきがけ研修の魅力は大学病院での専門的研修と一般病院における日常診療の研修を交互に経験できることではないでしょうか。当院は管理型の研修医(定員3名)だけでなく、佐賀県の研修プログラム(オール佐賀プログラム「葉隠」定員2名)のほか、佐賀大学からのたすきがけの研修医や福岡の新古賀病院、青洲会病院などからも協力病院として研修にきています。短期間ではありますがが他大学、他病院の研修医と一緒に

研修することもお互い大変刺激になっているようです。長崎大学からも是非、たすきがけで来て下さい。



外科
円城寺 昭人

研修医からの声



松隈 国仁

研修医一年目の松隈です。毎日それなりに忙しく、楽しい研修生活を過ごさせて頂いています。比較的小ざんまりした病院ですので、研修で回っていない科の先生からもすぐに覚えてもらえ、コンサルトした際など例えば、皮膚疾患や整形疾患のことなど教えて頂く機会があります。また、急性期の疾患を扱う事が多いのでファーストタッチから退院までの一連の流れを経験することができます。自分が最初から診て無事退

院した患者さんと外来などでばったりお会いして、「あの時はありがとうね。」と言われたときは医師として非常にやりがいを感じました。いわゆる雑用と呼ばれる業務もほとんどないので、空いた時間は教科書を読んで勉強したり、エコー室でエコーの練習をしたりと自分がしたいことを自由にさせて頂いています。市中病院ならではの小回りのきいた研修ができると思いますので、是非一度研修に来てください。

選択にあたっての注意事項

耳鼻咽喉科、脳神経外科はありません。



国立病院機構 嬉野医療センター



- 概要： 病床数：424床 (H27年1月1日現在)
 医師数：85名 (H27年1月1日現在)
 1日平均外来患者数：562.7名 (H25年度実績)
 1日平均入院患者数：377.5名 (H25年度実績)



専門医修練施設としての認定

日本内科学会、日本リウマチ学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本呼吸器学会、日本プライマリケア学会、日本消化器学会、日本消化器内視鏡学会、日本循環器学会、日本胸部外科学会、日本呼吸器外科学会、日本整形外科学会、日本脳神経外科学会、日本泌尿器学会、日本透析医学学会、日本産婦人科学会、日本眼科学会、日本耳鼻咽喉科学会、放射線科専門医修練協力機関、日本臨床細胞学会、日本麻酔科学会、日本ペインクリニック学会、日本緩和医療学会、日本脳卒中学会



研修実施責任者
 教育研修部長
 臨床研修委員長
 内藤 慎二

- 臨床研修指導医数：28名 (H27年1月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

●処遇：

研修手当(月額)	1年次:325,000円程度 2年次:325,000円程度
諸手当等	通勤手当
宿日直の有無	有・4回程度/月
勤務形態	非常勤職員
保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険(公務員災害補償法の適用有り)
医師賠償責任保険	個人加入(強制)
宿舎	有(エアコン等各種設備完備)
住宅手当	無

【理念】

ひとり一人を大切に

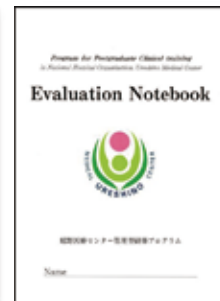
医療は患者さんの為のものであり、安心で安全な医療の実践が必要である。ひとり一人を大切にすることは、この医療の実践に重要である。この「ひとり一人」は、患者さんのみならず当院に関係する全ての人々を指し、ひとり一人が大切にされることによって、ひとり一人が周囲を大切にすることによって、当院は人命を尊び人格を敬って医療に携わっていくものである。

●臨床研修の特色

- ① i) 嬉野医療センター基幹型プログラムと ii) オール佐賀プログラム葉隠(嬉野医療センター)の2つのプログラムを用意しています。
 ② 適正な研修医数により、指導医の直接指導のもと一人あたり多くの症例・手技を経験できます。
 ③ 当院独自の研修評価表を作成しており、研修医は常時明確に経験すべき症例、習得すべき技術について確認しながら研修を進める事ができます。(写真:研修医総合評価表/Evaluation Notebook)
 ④ ヘリポートを完備した地域完結型救命救急の中核病院であり、救急医と共に6名の麻酔科医が全ての緊急手術に迅速対応しており充実した救急研修ができます。
 ⑤ 麻酔科が充実しており、そのため手術数も多く外科系科の研修に

は最適です。

- ⑥ 佐賀県南西部の小児医療の中核病院であり小児科医7名が在籍、common diseaseを中心に多くの小児疾患を経験できます。
 ⑦ 医局は総合医局で各科の垣根がないアットホームな雰囲気であり、研修医はどこに所属していても気軽に相談ができます。
 ⑧ 医師として不可欠な学会発表、論文作成を義務付けています。(平成26年3月修了者の例:2年間の学会発表数:全国学会2回、地方会2回。当院研修を修了した研修医は全員自分の論文を持っています。)



嬉野医療センター ☎ 843-0393 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿内2436

お問い合わせ

TEL:0954-43-1120
 FAX:0954-42-2452

E-mail: kyouikukensyu@uresino.go.jp
 URL: http://www.uresino.go.jp/

① 高速長崎自動車道 嬉野インターチェンジより約3分 ② JR佐世保線武雄温泉駅下車しJRバス(嬉野温泉行約30分)にて嬉野温泉下車、徒歩5分 ③ 長崎空港より高速長崎自動車道利用 車で30分 ④ 福岡空港より高速長崎自動車道利用 車で約90分

指導医からの声

麻酔・ペインクリニック
 ・緩和医療
 香月 亮

■日頃よりどんな点に注意して研修医指導をしているか

- ①怒らないで叱る
 ②ON/OFFをはっきりと
 ③なんでも経験させる

■研修医に何を望んでいるか

→大切な人に行うような医療を提供できるようになってほしい

■おすすめポイント

→豊富な症例数と指導の豊かさから、麻酔科を研修すれば、麻酔・蘇生に必要な手技をすべて取得できます。

教育研修部長
 内藤 慎二

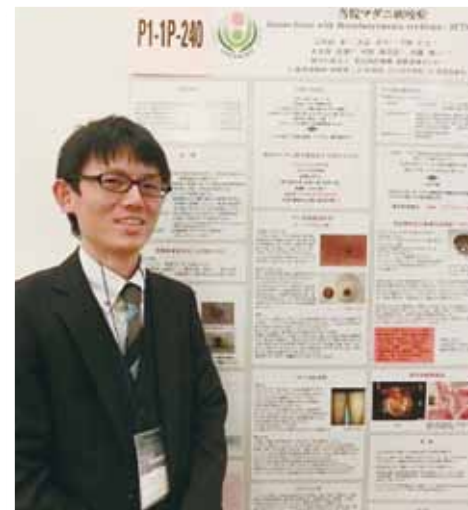
当院の研修プログラムを通して、研修医は医師としての不可欠な知識・技能を学び、指導医は全力でそれを指導いたします。是非皆さん一度見学にお越し下さい。皆さんが嬉野という地に持たれているのどかなイメージとは全く異なる最

先端の医療・研修の姿を見ることが出来るはずです。嬉野医療センターには、皆さんが医師として人間として成長できる、そして夢や希望を実現できる環境があります。

選択にあたっての注意事項

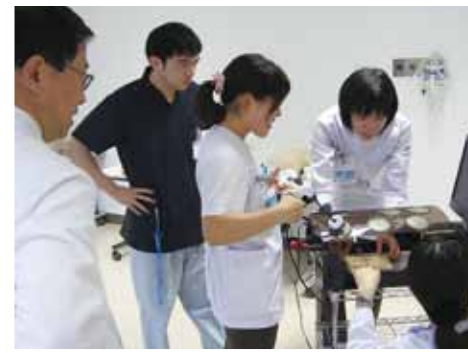
- ①精神科、血液内科はありません(精神科は肥前精神医療センター、血液内科は長崎医療センターで行います。)
 ②地域医療は、生月病院で行います。

■研修医集論文



■臨床研修修了式

■スキルアップラボ研修



23 福岡青洲会病院

- 概要： 病床数：213床 (H27年11月13日現在)
 医師数：44名 (H28年4月1日現在)
 1 日平均外来患者数：222.3名 (H●年実績)
 1 日平均入院患者数：189.8名 (H●年実績)



専門医修練施設としての認定

内科臨床研修教育関連施設、日本循環器学会循環器専門医研修施設、日本心臓インターベンション治療学会研修関連施設、日本呼吸器学会専門医制度認定施設、日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定施設、日本病院総合診療医学会認定施設、日本腎臓学会認定施設、日本神経学会認定施設 (准教育施設)、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本脳神経外科学会関連施設 (長崎大学脳神経外科)、救急科専門医指定研修施設、日本外科学会専門医制度修練施設 (長崎大学移植・消化器外科関連施設)、日本整形外科学会認定専門医研修施設、日本形成外科学会専門医制度教育関連施設 (長崎大学形成外科)



研修実施責任者
 病院長・臨床研修管理委員長
 高山 昌紀

- 臨床研修指導医数：21名 (H28年4月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当 (月額)	1 年次: 350,000円 (準夜当直・当直手当別途支給) 2 年次: 400,000円 (準夜当直・当直手当別途支給)
諸手当等	準夜当直・当直手当、引越し費用は病院負担 準夜当直手当: 10,000円/回 当直手当: 20,000円/回 賞与有り (1 年次: 450,000円/年、2 年次: 800,000円/年)
宿日直の有無	準夜当直 (17:30~23:30) 有り (人数に依り当直になる場合も有ります)。日直なし 準夜当直の場合は2回/週、当直の場合は4回/月
勤務形態	常勤
保険	社会保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	病院にて加入
宿舍	職員マンション有り (単身用。世帯用)
住宅手当	外部に賃貸の場合、上限50,000にて家賃の半額を補助 (病院借り上げ社宅規定に依る)

【理念】

1. 医療人たる使命を自覚し、一視同仁、親切丁寧をモットーとする。
2. 安心安全で、良質な医療・介護を提供する。
3. 地域住民とともに健康と福祉の増進に貢献する。
4. 最新の医療知識、技術の習得に努め、業務の改善に努力する。

●臨床研修の特色

当院では、来院された患者さんを丁寧に診察し、専門性の必要とされる急性期から慢性期、また在宅医療へとつなげ、地域に根ざした医療を展開しており、救急にも幅広く対応できることを特色としています。救急搬入数は年間3,000以上で、他の科をローテートしている場合でも救急の研修が可能です。また、ドクターカーも運用しており、同乗の機会も有ります。研修に於いては、指導医よりマンツーマンに依る直接的な指導と多くの手技を学ぶことができます。また、当直を廃止して準夜帯 (17:30~23:30) の救急外来を取り入れる事で、数多くの症例を指導医の下に経験できる様にしています (人数に依り、当直に変更する場合があります)。地域医療に於いては、長崎県平戸市の青洲会病院での研修も魅力的です。



お問い合わせ

社会医療法人青洲会 福岡青洲会病院◎〒811-2316 福岡県糟屋郡粕屋町長者原西4丁目11番8号

TEL: 092-938-0345 (青洲会本部)
FAX: 092-938-0346 (青洲会本部)E-mail: resident@seisyukai.jp
URL: http://www.f-seisyukai.jp

●西鉄バス天神方面より (所用時間約32分): 天神大和証券前 (14) バス停より74番「青洲会病院行き」(妙見経由) 乗車→青洲会病院バス停下車 (病院敷地内)
 ●JR伊勢駅 (JR香椎線) から徒歩で約15分
 ●JR原町駅 (JR篠栗線) から徒歩で約20分
 ●福岡IC (九州自動車道) から車で約10分
 多の津ランプ (福岡北九州高速道路) から車で約5分

指導医からの声

当院の初期研修の目標は、社会人として、医師として認められる良い医師の養成です。医師としての知識、基本的技術の修得はもちろんですが、中規模病院の特色としてコメディカルの人たちとのコミュニケーションも十分にとれますので、チーム医療におけるリーダーシップをとれる医師になってほしいと思っています。臨床においてはベテランの先生方より直接指導を受けることができ、病理の常勤の先生もいらっしゃる



外科
 上田 剛資

いますので、必ずや満足 of いく初期研修を行えると思います。粕屋地区の救急のほとんどを受け入れていますので、少数精鋭での研修を希望される方は、是非一度見学に御来院下さい。

当院の紹介をさせていただきます。当院は、救急指定病院として年間約3,000件の救急搬入があり、この地域では救急病院としての認識が高く、研修に於いても十分に救急医療を学ぶ事が可能です。外科系診療科と内科系診療科のバランスも良く、また災害拠点病院でもあり、この地域に於ける救急・災害医療を担っています。急性期医療から在宅まで地域の病院・診療所と開放型病院として連携を図りながら医療・看護・介護を提供しており、重症患者からcommon diseaseまで幅広く診ることが可能です。私が当院を研修先として選んだ理由は、大きくわけて三つあります。まず一つ目は、科と科の垣根がなく医局全体の雰囲気がいいため、患者さんについての相談や質問などをしやすい環境にあることです。また一度ローテーションでお世話になった他科の先生にもコンサルトしやすい環境が作られており、医局では常に他科の先生とのディスカッションが繰り返されています。二つ目は数多くの手技をこなせることです。当院は研修医が2人と他病院に比べて少ないため、それだけ多くの手技がまわってきます。胸腔穿刺、腹腔穿刺、中心静脈穿刺など1年目から多くの手技を経験することが可能です。三つ目は若いスタッフが多く、同世代のコメディカルと共に働けることです。当院では入職後に同期の看護師、理学療法士、作業療法士とともに2週間の研修をおこないます。そこで共に研修をおこなうことで、他職種との親睦を深めることが可能です。その後病棟業務がはじまった際に、病棟では同期が心の拠り所になりますし、他職種間でわからないことを相談、質問などすることが可能です。

研修医からの声



佐々木 諒
 (平成26年3月初期研修終了)
 福岡大学皮膚科入局

当院の紹介をさせていただきます。当院は、救急指定病院として年間約3,000件の救急搬入があり、この地域では救急病院としての認識が高く、研修に於いても十分に救急医療を学ぶ事が可能です。外科系診療科と内科系診療科のバランスも良く、また災害拠点病院でもあり、この地域に於ける救急・災害医療を担っています。急性期医療から在宅まで地域の病院・診療所と開放型病院として連携を図りながら医療・看護・介護を提供しており、重症患者からcommon diseaseまで幅広く診ることが可能です。私が当院を研修先として選んだ理由は、大きくわけて三つあります。まず一つ目は、科と科の垣根がなく医局全体の雰囲気がいいため、患者さんについての相談や質問などをしやすい環境にあることです。また一度ローテーションでお世話になった他科の先生にもコンサルトしやすい環境が作られており、医局では常に他科の先生とのディスカッションが繰り返されています。二つ目は数多くの手技をこなせることです。当院は研修医が2人と他病院に比べて少ないため、それだけ多くの手技がまわってきます。胸腔穿刺、腹腔穿刺、中心静脈穿刺など1年目から多くの手技を経験することが可能です。三つ目は若いスタッフが多く、同世代のコメディカルと共に働けることです。当院では入職後に同期の看護師、理学療法士、作業療法士とともに2週間の研修をおこないます。そこで共に研修をおこなうことで、他職種との親睦を深めることが可能です。その後病棟業務がはじまった際に、病棟では同期が心の拠り所になりますし、他職種間でわからないことを相談、質問などすることが可能です。

選択にあたって注意事項

- ◎病院見学は随時行っております。お気軽にお尋ね下さい。
- ◎現在は準夜当直 (17:30~23:30) を導入していますが、人数によって当直に変更する場合があります。
- ◎小児科・産婦人科・精神科・地域医療の研修は、当院には無い診療科で協力機関にて行います。
- ◎当院に於ける選択科は、総合内科・循環器内科・呼吸器内科・脳神経内科・消化器内科・腎臓内科・外科・脳神経外科・整形外科・形成外科・泌尿器科・救急科・麻酔科・放射線科・眼科となります。



24 北九州市立八幡病院

HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：313床 (H27年1月1日現在)
医師数： 74名 (H27年1月1日現在)
1 日平均外来患者数：512.5名 (H25年度実績)
1 日平均入院患者数：256.8名 (H25年度実績)



専門医修練施設としての認定

日本内科学会認定教育関連病院、日本循環器学会専門医研修施設、日本心血管インターベンション学会研修関連施設、日本神経学会認定准教育施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本外科学会専門医修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本呼吸器学会認定施設、日本小児科学会専門医研修施設、日本小児神経学会認定施設、日本脳神経外科学会専門医訓練施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本整形外科学会認定医研修施設、日本形成外科学会認定医研修施設、日本眼科学会専門医研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本耳鼻咽喉科学会認定専門医研修施設、日本麻酔科学会麻酔指導病院、日本医学放射線学会専門医修練施設、日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医修練認定施設、日本超音波医学会専門医制度認定施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本プライマリケア学会認定研修施設、日本肝臓学会肝臓専門医認定施設日本消化器病学会認定施設、日本外傷学会外傷専門医研修施設、日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設



研修実施責任者
統括部長
岡本 好司

- 臨床研修指導医数：58名 (H27年1月1日現在)
(指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当 (月額)	1 年次:300,000円 2 年次:320,000円
諸手当等	宿日直手当
宿日直の有無	有・4～5回/月
勤務形態	常勤嘱託医師
保険	全国健康保険協会、厚生年金、雇用保険、労災適用 有
医師賠償責任保険	病院にて加入
宿舍	専用宿舎有 ※世帯用に借り上げアパート有
住宅手当	無



【理 念】

私たちは、24 時間質の高い医療を提供し、皆様に、安心、信頼、満足していただける病院をめざします。

●臨床研修の特色

北九州市立八幡病院の研修医プログラムの特徴は、救急研修にあります。本院は、創設以来30年間にわたって100万都市北九州市とその近隣の救急救命センターとして機能してきました。年間の受診患者数は、3次救急(心肺停止などの重篤疾患)が約3,000名、1-2次救急が、年間約4万5千名です。臨床研修では、経験豊かな17臨床科のスタッフとともにこれらの救急医療に携わることで臨床の実地修練を積んでゆきます。研修システムは、3ヶ月から6ヶ月単位のローテーションを軸に組み立てられます。その時々研修医の先生の希望変更が反映できるように、研修の途中でも、3ヶ月から半年毎に、研修科の希望変更ができるようにしています。救急科は、診療の入り口です。迅速な診断治療を行った後に、さらに緊急心臓カテーテルや緊急手術になる患者さんもたくさんいます。

また、回復期に向けてのリハビリや退院に向けての予防医学など、現在の医療は、多くの医療行為を必要とされます。当院は、豊富な医師とコメディカル、設備により、ほとんどすべての医療処置を当院の中で完結することができます。研修医プログラムでは、これらの「できるスタッフ」に囲まれた専門的な治療もたくさん経験することになります。さらに、純粋な医学的な問題以外に、高齢社会における療養問題などの社会的な問題も目の当たりにすることになります。また、院内での実践的な講義や勉強会も盛んに行われています。医師は、「医学的な知識を持った人」ではなく、「医療行為を通して人を助ける人」です。北九州市立八幡病院は、「病気を持った患者さんへ対峙できる医師を目指した研修プログラム」を用意して皆さんを待っています。

北九州市立八幡病院事務局◎〒805-8534北九州市八幡東区西本町4丁目18-1

お問い合わせ

TEL:093-662-6565
FAX:093-662-1795

E-mail : byou-yahata-jimukyoku@city.kitakyushu.lg.jp
URL : http://www.yahatahp.jp/

●八幡駅出口から南へ徒歩5分

YAHATA HOSPITAL

指導医からの声

内科 (神経内科)
末永 章人

救命救急センターと小児救急センターを併設している当院では、一次救急から三次救急まで幅広い症例を経験することが可能です。教科書だけでは学べない、より実践的な医療を学ぶことができます。救急部が主催する勉強会も行っており、実際の症例を通じた臨場感あふれる経験

ができると思います。また党员の特徴として、院内の各診療科間の垣根が低く、コンサルトしやすい環境があります。できるだけ期待に沿えるように指導医の方も頑張りますので、どうぞ気軽に何でも相談(時には人生相談?)してください。

研修内容について

■研修ローテーション表(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	循環器科			麻酔科			放射線科		外科		形成外科	
B	麻酔科			内科			形成外科		外科			
C	内科			耳鼻咽喉科							麻酔科	

選択にあたっての注意事項

- ①研修希望の診療科は、3ヵ月毎に見直しできます。
- ②精神科、産婦人科の入院患者は協力機関にて研修を行います。



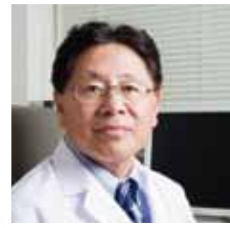
25 北九州総合病院

- 概要： 病床数：360床 (H27年1月1日現在)
 医師数：83名 (H27年1月1日現在)
 1日平均外来患者数：434名 (H26年度実績)
 1日平均入院患者数：313.7名 (H26年度実績)



専門医修練施設としての認定

日本内科学会認定医制度教育病院、日本小児科学会専門医制度研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本形成外科学会専門医研修施設、日本脳神経外科学会専門医制度指定訓練施設、日本泌尿器学会専門医教育施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本医学放射線科学会放射線科専門医修練協力機関、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本救急医学会救急科専門医指定施設、(日本病理学会病理専門医制度)日本病理学会研修登録施設、日本リハビリテーション医学会研修施設、日本呼吸器学会関連施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設(関連施設)、日本大腸肛門病学会認定施設、日本乳癌学会認定医専門医制度関連施設、日本手外科学会外科認定研修施設、日本熱傷学会熱傷専門医制度研修施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会施設認定・エキスパンダー(一次・二次両方)・インプラント(一次一期・一次二期・二次両建)



研修実施責任者
外科(院長・
臨床研修プログラム総括責任者)
永田 直幹

- 臨床研修指導医数：19名 (H27年1月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当(月額)	1年次:250,000円 賞与(年)500,000円
	2年次:300,000円 賞与(年)600,000円
諸手当等	宿直手当等
宿日直の有無	有・4～5回/月
勤務形態	常勤医
保険	健康保険、労災保険、雇用保険、厚生年金
医師賠償責任保険	病院にて加入、個人加入は任意
宿舍	有
住宅手当	原則、研修医は宿舍に入居

【理念】

患者さんのための医療
“for the patient”
をめざして

●臨床研修の特色

当院の初期臨床研修では、医師としての基本的知識および基本的手技の習得を到達の基本的目標とし、プライマリ・ケア、救急対応ができ、円滑に専門医療の領域に移行することのできる能力を有する医師になることを目指します。ベッドサイド教育を主体とし、できるだけ幅広い分野で多くの症例を経験できるようにして、その経験を通じて目標が達成できるよう指導医、研修医とともに努力していきます。

当院臨床研修の特徴としては、できるだけ多くの症例を指導医のもとで担当医として診療し、救急・麻酔では生命維持と全身管理の知識と技術を徹底的に学ぶことができます。症例を経験することが最大の教科書であり、特に救命救急センターを併設している当院の特性から救急症例が多く、一次から三次救急まで非常に広い範囲の症



例が経験できます。また、救急医療・外来・病棟と三位一体の研修ができるのも特徴の一つです。このような特徴を活かし、当院の初期臨床研修では非常に強い臨床力を身に付けることができます。北九州総合病院では、各自が目標を達成できるように十分にサポートをしていきます。是非、北九州総合病院で初期研修プログラムに参加して下さい。

お問い合わせ

臨床研修管理委員会事務局◎〒800-0295福岡県北九州市小倉南区湯川5丁目10番10号

TEL:093-921-0560
FAX:093-921-1539E-mail : g-kinoshita@kitakyu-hp.or.jp
URL : http://www.kitakyu-hp.or.jp/contents/kitahos_sogo.htm

- JRをご利用の場合
JR安部山公園駅から徒歩3分
- お車をご利用の場合
九州自動車道「小倉東J.C.J」から7分
都市高速道路「横代ランプ」から3分
- その他JR小倉駅からタクシーで約20分
北九州空港からタクシーで約30分

指導医からの声

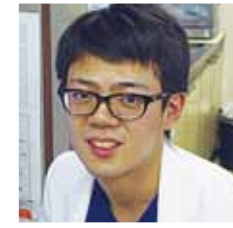
■日頃よりどんな点に注意して研修医指導をしていますか
 →以下の研修医教育ポリシーに基づいて教育しています。①「リードできる存在になる」・・・2年間のうち1年目で集約的に教育し、2年目には1年生の指導的役割を担えるレベルに達成させること。②「愛される環境を作る」・・・教育に最も必要なのは、研修医が院内の皆から愛される環境を作ること。③「研修目標の核をぶらさない」・・・重症症例を含め、本当に一人できちんとした患者管理が出来るようになるという研修目標の核をぶらさないこと。

■研修医に何を望んでいますか
 →◎元気で明るい素直な人物◎誰にも負けないプライマリーケアを身につけたいと自ら努力する積極的な人物◎病院の全スタッフに対し敬意をもって強調できる人物
 ■貴院のたすきがけ研修のおすすめポイントを教えてください
 →ポリシーに基づいて教育された当院の研修医たちは、非常に強い臨床力を身に付けて育って行きます。現場の雰囲気や、当院の研修医の実力を是非見学しに来てください。君達の今後のいい参考になると思いますよ。お待ちしております。



総合内科(副院長・
臨床研修プログラム責任者)
高水間 亮治

研修内容について



梶山 公裕

貴重な経験・発見が多い毎日です！

2私は大学5年生時に北九州総合病院に見学に来ました。その時の研修医の熱意ある姿に、自分もここで研修したい、医者として磨きたいと思いました。研修を始め忙しい毎日ですが、手技も含め貴重な経験・発見が多い毎日です。忙しいな

がらも、疲れた時など上級医の先生方に飲みに来て行ってもらい癒してもらっています(笑)。一度見学に来て一緒に話しましょう。最高のおもてなしでお迎えしますよ！



石井 美里

思っていた通り、理想としていたものが揃っていました！

私がこの病院を選んだ理由は、将来どの科に進んでも必要となる初期対応能力が学べること、上級医の指導の下で様々な手技を経験できること、研修医同士・上級医・コメディカル間の雰囲気

気が良く働きやすい環境であることです。研修を始め、思っていた通り理想としていたことが揃っていました。また、研修しながらも日々勉強できる環境があり、同期の人数も全員で切磋琢磨できる調度良い人数だと思います。“百聞は一見に如かず”是非見学に来てください。

北九州市のゼロ・カーボン先進地区に
「新しい街の新しい病院」として、
平成28年に新病院がオープンします。



選択にあたっての注意事項

精神科はありませんので、必要があれば大学研修中に行ってください。



26 田川市立病院

HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：342床 (H26年4月1日現在)
 医師数： 36名 (H26年4月1日現在)
 1 日平均外来患者数：486.8名 (H25年度実績)
 1 日平均入院患者数：211.1名 (H25年度実績)

専門医修練施設としての認定

日本内科学会認定制度教育関連病院、日本腎臓学会研修施設、日本透析医学会専門医制度認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本産科婦人科学会認定専攻医指導施設、日本泌尿器科学会専門医研修施設、日本形成外科学会教育関連施設、日本皮膚科学会専門医研修施設、日本口腔外科学会認定関連研修施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院 日本ペインクリニック学会指定研修施設



研修実施責任者
 病院長
 鴻江 俊治

- 臨床研修指導医数：10名 (H26年12月31日現在)
 (指導医資格取得医師数)

●処遇：

研修手当 (月額)	1 年次: 372,200円 (※改定により変更することがあります。)
	2 年次: 394,800円 (※改定により変更することがあります。)
諸手当等	時間外手当、宿直手当
宿日直の有無	有・4回/月
勤務形態	常勤
保険	全国健康保険協会、厚生年金、雇用保険、労災適用有
医師賠償責任保険	個人任意加入
宿舍	医師寮有
住宅手当	無

【理念】

基本理念

市民のため 市民とともに 全職員力を合わせ 田川の医療を守る
 質の高い 市立病院を 創造します “地方の医療創生は田川から”

役割

- がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病などに対する高度・専門医療の提供
- 周産期医療、小児医療など地域に不足する医療の提供
- 二次救急医療の提供
- 一般医療、高齢者への総合医療の提供
- 感染症、災害に対する行政的医療の提供
- 急性期医療・在宅・慢性期医療・介護の連携、地域包括ケアシステムの構築
- 田川における地域完結型医療の実現
- 教育・研修・研究の実施と医療人材の育成

●臨床研修の特色

- 1) 担当患者さんを外来から入院、また外来まで、継続して診る。
 大規模研修病院では研修医が外来を担当することは稀でしょう。当院では外来担当から入院加療、退院後は再び外来治療と一貫して診療経験が積めます。もちろん、ほったらかしでなく、指導教官が付きまます。
 2) 都会と異なった地方の医療を経験し、医療の本質を知る。
 超高齢者が多く、併存疾患を持っている患者さんが多いから、常に患者さんをトータルで考えなければならない。「病気を診ずして病人を

診よ (高木兼寛)』を実践していただきます。
 3) オールラウンドな実技修練が豊富に経験できる。
 少数精鋭の研修医に、多くの指導医がよってたかって指導します。基本的な技術を幅広く身に付けていただきます。
 4) 緑豊かで水清き田川の自然に触れる。
 長い医師人生、将来は都市部で仕事をしたいと思う方も1年間くらい田川に来てみませんか。
 小高い丘に位置する当院から、すぐ傍を穏やかに流れる彦山川 (遠賀川支流) と周りの田園と山々の風景、大いなる癒しです。都会の雑踏を離れて、仕事と自然にどっぷり浸かりませんか？



お問い合わせ	事務局総務課 ☎ 825-8567 福岡県田川市大字楠 1 7 0 0 番地 2	
	TEL: 0947-44-2100 FAX: 0947-45-0715	E-mail : shiritsubyuin@g.city.tagawa.fukuoka.jp URL : http://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp/

- JR「田川伊田駅」から平成筑豊鉄道「田川市立病院駅」まで約4分
 下車後徒歩3分
- 西鉄バス「後藤寺バスセンター」から田川市立病院まで約12分

TAGAWAMUNICIPAL HOSPITAL

指導医からの声

田川市立病院の循環器内科は、現在3人の医師で診断・治療を行っています。2012年7月に急性心筋梗塞ホットラインを開始し、2013年3月に最新の心カテ用アンギオ装置へ更新しました。また、田川市郡の医療機関訪問や市民向けの講演会などを行うことで、心臓カテーテル検査希望の紹介患者を含む受診者が大幅に増加しました。最近の年間実績は、心臓カテーテル検査総数1,200~1,400件 (緊急検査110~120件)、PCI治療400~500件、永久ペースメーカー移植術

(本体交換術を含む) 20~40件です。非侵襲検査としては、1か月に心エコー検査150~190件、トレッドミル運動負荷心電図検査30件前後などを行っています。医師数が少ない状況において、1~2年次の研修医にも積極的に検査・治療に参加してもらいますので、短期間において各種の穿刺技術や急患対応能力 (心不全、急性心筋梗塞、各種の不整脈など) を身につけることが可能です。



内科 (循環器)
 桑田 孝一

研修医からの声



種子島 時祥
 研修医 (地域医療)



今村 直樹
 研修医 (地域医療)



- ① 指導がイイ
 (マンツーマンどころか3メンツーマン)
- ② 宿舍がイイ
 (きれい・家電装備・テレビ・机)
- ③ 学習環境がイイ
 (研修医専用デスク、図書室)



選択にあたっての注意事項

精神科はありません (大学病院研修中に行ってください)。

27 大分県立病院

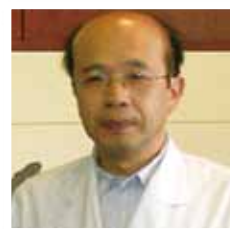
HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：566床 (H26年4月1日現在)
医師数：157名 (H26年4月1日現在)
1 日平均外来患者数：848名 (H25年度実績)
1 日平均入院患者数：411.6名 (H25年度実績)



専門医修練施設としての認定

母体保護法指定医研修指導病院、日本内科学会認定医制度教育病院、日本ⅠⅤR学会専門医修練施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本感染症学会認定研修施設、日本血液学会認定血液研修施設、日本肝臓学会認定施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本小児科学会小児科専門医研修支援施設、日本小児科学会専門医研修施設、日本小児循環器学会小児循環器専門医修練施設、日本小児神経学会小児神経専門医研修認定施設関連施設、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本静脈経腸栄養学会N S T 稼働施設、日本脳卒中学会認定教育病院、日本病理学会病理専門医制度研修認定病院B、日本麻酔科学会認定病院、日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設、日本臨床細胞学会認定施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設、日本小児外科学会専門医制度専門医育成認定施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関、日本放射線腫瘍学会認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本救急医学会認定救急科専門医指定施設、日本呼吸器外科専門医合同委員会基幹施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本周産期・新生児医学会専門医制度暫定研修施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設、日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、非血縁者間末梢血幹細胞採取・移植認定施設、日本精神神経学会精神科専門医研修施設、日本輸血細胞治療学会Ⅰ & A 認証施設



研修実施責任者
がんセンター所長、消化器内科部長
加藤 有史

- 臨床研修指導医数：54名 (H26年4月1日現在)
(指導医資格取得医師数)

●処遇：

研修手当(月額)	1 年次:301,500円 2 年次:316,700円
諸手当等	時間外勤務手当、宿日直手当、通勤手当
宿日直の有無	有・4回/月
勤務形態	非常勤
保険	全国健康保険協会、厚生年金、雇用保険、労災適用有
医師賠償責任保険	病院にて加入。個人は任意
宿舍	①専用宿舍有 ②借上げアパート有
住宅手当	無



【理念】

県民医療の基幹病院として、新しい時代に対応した質の高い医療を提供するため、「奉仕、信頼、進歩」の三つの基本理念を掲げ病院運営を行っています。

●臨床研修の特色

大分県立病院の卒後臨床研修では、Common Diseaseから高度・専門医療まで幅広く症例を体験できます。研修目標としては、将来、プライマリ・ケアに対処し得る第一線の臨床医や高度の専門医を目指すにあたり、必要な診療に関する基本的な知識及び技能の習得並びに医師としての人間性を涵養し、もって、厚生労働省が設定した「臨床研修の到達目標」を達成する。プログラムの特徴として、以下の各号に対処できる医師を養成する。1. 頻度の高い疾病や外傷の診断と治療ができる。2. 救急の初期診断ができる。3. 適切な時期

及び方法で、他科または上級医に紹介できる。4. 医療情報、診断内容を正しく記録する週間を身につけ、正確に伝達できる。5. チーム医療を理解し、実践できる。6. 患者およびその家族と信頼関係を構築でき、診断・治療に必要な情報が得られると共に診断結果、治療方法等相手の求める情報を正しく伝えるような医療面接を実施出来る。7. 疾病の予防、健康管理、リハビリテーションについて理解し、基本的医療計画をたてることができる。

お問い合わせ

教育研修センター ☎ 0970-8511 大分県大分市大字豊饒476番地

TEL:097-546-7454
FAX:097-546-0725

E-mail : kensyu-center@oitakenbyo.jp
URL : http://hospital.pref.oita.jp/

●JR大分駅から、大分バス
(県経路便、県立病院行きで約25分)

OITA PREFECTURAL HOSPITAL

Aコース

Bコース

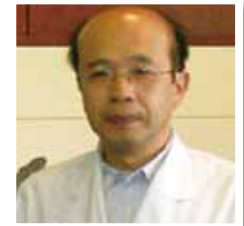
Cコース

Dコース

指導医からの声

■日頃よりどんな点に注意して研修医指導をしていますか
→常に疑問を持ち考えることが大切であることとを伝えるよう心がけています。
■研修医に何を望んでいますか
→幅広く興味を持ち、多くのことを経験して欲しいと思います。

■貴院のたすきがけ研修のおすすめポイントを教えてください。
→①症例数が多く、いろいろな手技を習得できる点
②外国人症例を経験できる点
③救命救急センターでファーストタッチした内科系疾患患者は入院中も引き続き担当医として治療に関わることができ、幅広い診療が可能などです。



消化器内科部長
加藤 有史

長崎大学基幹型研修医からの声



小山 正三朗

医師として実際働いてみて出身地大分の医療について知りたいと思ったのと、いつかは地元で働きたいという思いもあり、大分県立病院を選びました。仕事内容は大学病院とあまり変わりなく、受け持ち患者も適度です。大学と違う点はやはり当直があることです。県病の当直は、内科と外科関係なくウォークインから救急車対応のすべての救急外来患者のファーストタッチを研修医2人(一年目と二年目、各1人ずつ)で行いま

す。また、その指導体制として、内科系と外科系当直が1人ずついて、何事にも相談やアドバイスをしてもらえます。大変ではありますが、とても勉強にもなり実践できます。各科の垣根もありません。さらに、各研修医に電子カルテ用とネット用の2台のPCが支給されます。研修医みんな仲良しで飲み会がよく開催されます。大分大学や九州大学から協力型で来ている研修医も多く、交流の幅も広がります。

選択にあたっての注意事項

研修開始後の診療科の変更は原則出来ませんが、将来の進路等の理由による場合は、面接等を行った上で変更出来る場合があります。



28 山口県立総合医療センター

- 概要： 病床数：504床 (H26年4月1日現在)
 医師数：125名 (H26年4月1日現在)
 1 日平均外来患者数：891名 (H25年度実績)
 1 日平均入院患者数：417名 (H25年度実績)



研修実施責任者
副院長
藤井 崇史

- 臨床研修指導医数：31名 (H26年4月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当(月額)	1 年次:322,700円 2 年次:344,200円
諸手当等	宿日直手当、時間外手当
宿日直の有無	有・3回/月
勤務形態	有期常勤職員
保険	社会保険・雇用保険・労災保険加入
医師賠償責任保険	病院にて加入
宿舍	専用宿舎有
住宅手当	無



【理念】

県民の健康と生命を守るために
満足度の高い医療を提供する。

●臨床研修の特色

臨床研修においては、「頭から足の先まで診る」という医療の原点に立って、病む人を総合的に診療することのできる臨床医となるための基礎を学ぶことが重要です。本院の救命救急センターには年間1万5千人の救急患者が受診します。1 次から3 次救急まで、多種多様な救急疾患を経験できますので、臨床研修最大の目的であるプライマリ・ケアを身につけるためには、大変恵まれた環境となっています。本院では研修1 年目から指導医とともに当直を行い、初診時より直接患者さんの診療に携わりますので、あらゆる疾患に接することができます。さらに専門科と綿密なタイアップがなされていますので専門的な最先端医療まで学ぶことができます。多数の急性及び慢性疾患を研修することによって、プライマリ・ケアを出発点とした臨床医の基本的な能力を身につけてほしいと思っています。

さらに初期臨床研修においては全ての領域で質の高い医療を学ぶことも重要です。本院は神経科、歯科口腔外科を含む全科が揃っており、総勢約70名の経験豊かな指導医が指導に当たっているた

め、基本的な診断法から最先端の治療まで幅広く学べる環境にあります。各課をローテーションする際にはマンツーマンの指導体制をとっていますので、より有意義で、密度の濃い研修を受けられます。また、それとは別に年間指導医を各研修医に付け、どんなことでも相談できるような体制を作り、研修医全員が満足できる研修が受けられるよう努力しています。研修プログラムは必須科目においても出来るだけ各研修医の希望に沿ったプログラムにするよう調整しています。特に2 年目の選択科目につきましては、将来の進路を意識して研修をしていただくためにも、出来るだけ柔軟性に富んだ選択が出来るよう配慮しています。

本院は県内でも最大規模の基幹病院としてセンター機能、拠点病院としての役割を担っています。そのためにはより多くの若い研修医のみなさんに加わっていただき、活気にあふれた病院であることが最も大切なことと考えています。多くの研修医の皆さんを心よりお待ちしております。

お問い合わせ

山口県立総合医療センター総務課 ☎ 747-8511 山口県防府市大字大崎77番地

TEL:0835-22-4411
FAX:0835-22-9352E-mail : soumuka@ymgho.jp
URL : http://www.ymghp.jp

- JR山陽本線防府駅よりバスで12分
- 防府西ICより車で5分
- 防府東ICより車で10分

指導医からの声

■日頃よりどんな点に注意して研修医指導をしていますか
 →個人個人の研修目標を聞き、それを実現できるように心がけている。

■研修医に何を望んでいますか
 →何となく研修するのではなく目標を持って研修してほしい。

■貴院のたすきかけ病院のおすすめポイントを教えてください。

→ 山口県内最大規模の基幹病院として各種センター、拠点病院の役割を担っており多数の症例を経験できる。



一般外科、消化器外科
須藤 隆一郎



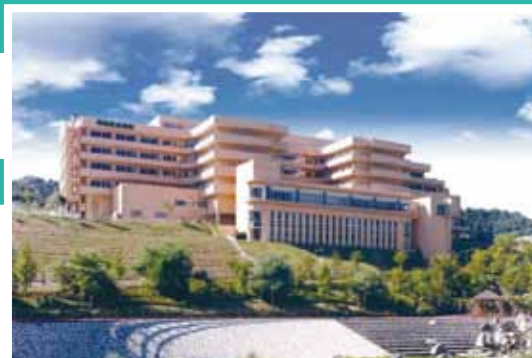
29 周南記念病院

- 概要： 病床数：250床 (H27年1月1日現在)
 医師数：21名 (H27年1月1日現在)
 1日平均外来患者数：323.0名 (H26年度実績)
 1日平均入院患者数：195.5名 (H26年度実績)



専門医修練施設としての認定

日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本形成外科学会認定教育関連施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本大腸肛門病学会認定施設、日本神経学会専門医制度准教育施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設



研修実施責任者
院長
竹重 元寛

- 臨床研修指導医数：3名 (H27年1月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当 (月額)	1年次: 440,000円
	2年次: 450,000円
諸手当等	賞与1年次: 1,472,000円/年2年次: 1,518,000円/年当直手当、通勤手当
宿日直の有無	有・3～4回/月
勤務形態	常勤
保険	全国健康保険協会・厚生年金・労災保険・雇用保険
医師賠償責任保険	病院にて加入
宿舍	無・(別途住宅手当有)
住宅手当	賃料の60%を支給

【理念】

一視同仁(相手の気持ちを大切に、仁愛を尽くすことに心がけます)

1. 協調

職員間で協調し、安心した医療と福祉が受けられる施設を目指します。

1. 信頼

地域の医療施設から信頼され、より良い医療と福祉の提供を目指します。

1. 健康文化のホームグラウンド

地域の皆様の健康に関する中心的な施設を目指します。

●臨床研修の特色

多くの症例を経験してきた指導医のもと、理論的で高度な技術を体得することが出来ます。

長崎大学病院の協力型研修施設であり、外科はもちろんのこと、大腸・肛門外科、消化器外科、呼吸器外科、血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科の手術にはほぼ入ることが可能で、さまざまな症例・手技を経験できます。



周南記念病院 ☎ 744-0033 山口県下松市生野屋南一丁目10番1号

お問い合わせ

TEL: 0833-45-3330
FAX: 0833-45-3331

E-mail: info@shunan-kinen.jp
URL: http://shunan-kinen.jp

- JR下松駅より、周南記念病院行きバスに
乗車
- JR徳山駅より、周南記念病院行きバスに
乗車

指導医からの声

内科系では、呼吸器内科、消化器内科・神経内科が研修の領域であり、外科系では、消化器外科・呼吸器外科・大腸肛門外科・血管外科・乳腺外科・甲状腺外科・脳神経外科・形成外科・整形外科が研修領域です。

領域の中の形成外科は、手術症例767例 (H26

年実績)あり、的確な局所麻酔、止血、創の保存的治療、皮膚切開、皮膚剥離、縫合のテクニックを習得するためには最適です。

内視鏡は、3,974例 (上部2,334例、下部1,640例 H26年実績)を実施し、血管造影など外科的診断等の習得が可能です。



外科・呼吸器外科
中元 賢武

選択にあたっての注意事項

精神科・産婦人科・小児科はありませんので、希望される場合は、大学病院での研修中に行ってください。



30 医誠会病院

HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：327床 (H27年11月30日現在)
医師数： 73名 (H27年11月30日現在)
1 日平均外来患者数：480名 (H26年実績)
1 日平均入院患者数：310名 (H26年実績)



Holonica Group

専門医修練施設としての認定

日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設関連施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本呼吸療法医学会呼吸療法専門医研修施設、呼吸器外科専門医合同委員会認定修練関連施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設(救急科専門医育成プログラム)、日本脳神経外科学会専門医研修プログラム研修施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本整形外科学会認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本内科学会認定医制度教育関連施設、日本老年医学会認定施設、日本形成外科学会認定施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、マンモグラフィ検診施設画像認定施設(検診車)、マンモグラフィ検診施設画像認定施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本脳ドック学会認定施設、日本大腸肛門病学会関連施設、日本集中治療医学会専門医研修施設、日本人間ドック学会人間ドック・健診施設機能評価、日本人間ドック学会・日本病院会指定優良人間ドック・健診施設、日本静脈経腸栄養学会・N S T(栄養サポートチーム)稼働施設、日本診療放射線技師会臨床実習指導施設、日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設、日本脊髄外科学会認定訓練施設、下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本病理学会研修登録施設、日本救急医学会指導医指定施設、日本消化管学会胃腸科指導施設



研修実施責任者
病院長
丸川 征四郎

- 臨床研修指導医数：20名 (H27年11月30日現在)
(指導医資格取得医師数)

●処遇：

研修手当(月額)	1 年次:400,000円 2 年次:420,000円
諸手当等	当直手当
宿日直の有無	有/月4回程度
勤務形態	常勤
保険	健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
医師賠償責任保険	個人での加入を必須とする。
宿舍	無
住宅手当	法人にて賃貸マンションの契約をし、月額家賃の半額(上限5万円)の補助をする

必修/内科6ヵ月:総合内科・循環器内科・消化器内科・糖尿病内科・呼吸器内科・腎臓内科より2〜3科を選択
必修/救急部門:救急診療科(ER・ICU)・救命救急科(ER・緊急手術・ICU・入院患者管理)より選択
選択必修:消化器外科・麻酔科より選択

【2年次】
選択:総合内科・腎臓内科・循環器内科・糖尿病内科・消化器内科・呼吸器内科・脳内科・脳神経外科・消化器外科
呼吸器外科・心臓血管外科・救急診療科・救命救急科・整形外科・形成外科・泌尿器科・婦人科・乳腺外科・麻酔科
放射線科・病理診断科より選択 ※研修期間は希望により調整する
○特色2 救急部門の指導体制が充実している
日本救急医学会の専門医・指導医研修施設である。指導医数:2名、専門医数:7名 平成26年度実績 救急患者数:11,143人、救急搬送件数:5,261件
○特色3 豊富な症例・手技を経験できる
臨床研修2年間に必要な経験症例数を1年次で達成できる。
少人数である利点を生かし、研修医が優先的に症例経験を積む事ができる。
○特色4 「患者管理の基礎」シリーズ講義
研修医向けにICU専従医師の週一回講義が大変評判です。研修医を囲む「総合カンファレンス」も人気です。

【理念】

先進的で高度・良質な医療の
提供による健康生活の回復と豊かな
生命の創造

●臨床研修の特色

当院は大阪市東淀川区に位置し、ベッド数3,000床、総従業員数5,000人を超える医療法人医誠会の中核病院として、24時間365日体制で地域の救急医療の一翼を担っている。平成23年度より臨床研修指定病院の認定を受け、毎年基幹型として2名、大阪市立大学附属病院の協力型病院として1〜4名の1年次研修医の受け入れを行っている。研修医同士の関係は毎年良好で、切磋琢磨しながら成長している。また、研修医室内・カンファレンス等で1・2年次研修医の交流も盛んである。

<医誠会病院の臨床研修の特色>

○特色1 1年次は、診療の基礎をしっかりと身に付け救急医療を行えるよう、研修診療科を研修医の希望を取り入れながら選定し、ローテーションを組む。2年次は、研修医の目標・希望に沿ったローテーションを組むことができる。

【1年次】

必修/臨床基本技術習得実習を1ヵ月、各診療科へ配属前に実施



ISEIKAI HOSPITAL

A
コース

B
コース

C
コース

D
コース

指導医からの声

当院は、平成23年度より基幹型臨床研修病院として毎年2名の研修医と、大阪市立大学病院のたすき掛け研修医2名(H28年度から4名に増員されます)を受入れ、今年で5年目となりました。研修された先生方から、もっと実践的なことを多く経験したい、実際の救急の現場をもっと体験したいなどのご意見を多数聴きます。☑当院ではそういった研修医のニーズに答え、一方で、気管挿管や中心静脈穿刺、心肺蘇生、救急患者のトリアージなどのプライマリケアができ、チーム医療と十分なインフォームドコンセントができる医師の養成をめざしています。当院では外科系、内科系とも専門分野ではエキスパートとなる指導医が豊富に存在します。また、種々の学会認定施設になっており各専門医を目指す医師にとって充実した環境です。

病院のあるところは新大阪駅に近い、淀川の北にあたるところで古くからの家と新しいマンションなど混在し町工場などもあります。環境的には独居の方や高齢者も多く、病状が進行してから救急搬送されたり、また引き取る家族がいない、など都心ならではの地域医療の問題も存在します。治療のみならずそういった地域医療にもどう取り組んでいくかは、我が国が高齢化社会に向かうなか是非とも学ばべき課題です。いかなる困難な状況にも十分対処でき、かつ十分な技量を身につけ、人間的にも成長する、そういった環境を提供すべくスタッフ一同努力いたします。是非当院で充実した研修生活を送ってください。



脳神経外科
松本 勝美



研修医からの声



森田 康太郎

□医誠会病院を研修先として選んだ理由
学生の頃、病院見学に訪れた際、先輩研修医に「当院は症例豊富で手技も沢山できる」と聞き、魅力に感じました。あと、自由度が高いプログラムであった点も理由の1つです。
□実際に研修してみて
病院見学で感じた印象通りでした。厳しい事も多々ありますが、充実した研修生活を過ごしています。当院は、大阪の中心地に近く、勤務終了後に院外で実施される勉強会へも積極的に参加できます。
□おすすめの研修診療科
救急診療科:患者さんが入院するまでの流れが学べます。指導医・上級医の指導の下、沢山の手

技を自ら行えます。また、当院は日本救急医学会の専門医・指導医研修施設です。この規模の病院では珍しいと聞いています。
消化器内科:手技・診療の考え方をバランスよく学べます。指導医より将来を見据えた指導を受ける事が出来ます。
脳神経外科:手術症例が豊富で積極的に手術に参加できます。
形成外科:創傷を専門的に学べます。
□たすき掛け研修病院を検討している方々へひとこと
より実践的な研修を受けたいと考える方は、ぜひ当院を選択して下さい。一緒に頑張りましょう!

選択にあたって注意事項

- ◎産婦人科、小児科、精神神経科は当院にはありません。
- ◎法人契約をする住居の手配については、当院にて行います。
- 間取りや条件など希望も相談に応じます。
- ◎病院見学・お問合せ随時受け付けています。お気軽にお問合せ下さい。



医療法人医誠会 医誠会病院◎〒533-0022 大阪市東淀川区菅原6-2-25

お問い合わせ

TEL:06-6326-1121
FAX:06-6329-6111

E-mail: ishi@holonicsystem.com
URL: http://www.iseikaihp.or.jp/index.html

●阪急京都本線・千里線「淡路」駅より徒歩10分

31 浜松医療センター

HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：606床 (H27年1月15日現在)
 医師数：145名 (H27年1月15日現在)
 1 日平均外来患者数：938名 (H26年度実績)
 1 日平均入院患者数：513名 (H26年度実績)



専門医修練施設としての認定

日本救急医学会、日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会、日本麻酔科学会、日本腎臓学会、日本透析医学会、日本リウマチ学会、日本肝臓学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本カプセル内視鏡学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本がん治療機構、日本アレルギー学会、日本糖尿病学会、日本内分泌学会、日本甲状腺学会、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本消化器病学会、日本大腸肛門学会、日本がん治療機構、日本呼吸器外科学会、日本胸部外科学会、日本整形外科学会、日本胸部外科学会、日本心血管外科学会、日本脈管学会 他



研修実施責任者
副院長
矢野 邦夫

- 臨床研修指導医数：47名 (H27年1月15日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当 (月額)	1 年次: 237,142円
	2 年次: 266,824円
諸手当等	宿日直手当
宿日直の有無	有・4～5回/月
勤務形態	常勤
保険	全国健康保険協会、厚生年金、雇用保険、労災適用有
医師賠償責任保険	個人加入必須
宿舍	借上げアパート有
住宅手当	有

【理念】

安心・安全な地域に
信頼される病院

●臨床研修の特色

当院は地域の基幹病院であり、がん拠点病院、エイズ中核拠点病院であるとともに、浜松地域最大の救急車受け入れ病院として救急医療にも力を入れており、初期研修にはベストな環境といえます。当院では十分な臨床経験を積んでいただくために次のような特徴をもった教育研修を実施します。

- ①臨床経験を科学的に裏付けた研修
- ②科学的な文献や情報を瞬時に入手できる研修環境の確保
- ③「患者の立場を尊重した医療」を実践するための研修
- ④総合診療を実践するための研修



お問い合わせ

医療クラーク課医局クラーク係 ☎ 432-8580 静岡県浜松市中区富塚町328

TEL: 053-453-7111
FAX: 053-451-2768

E-mail: ikyokujimu@hmedc.or.jp
URL: http://www.hmedc.or.jp/

●JR浜松駅から、
遠鉄バス②・③番ポールから乗車 (約15分)

HAMAMATSU MEDICAL CENTER

指導医からの声

【日頃より研修医指導で注意している点】

- ①医師にふさわしい服装、態度及び言葉づかい
- ②チーム行動における時間厳守と協調性
- ③他科及び地域開業医との円滑な連携
- ④適切なインフォームド・コンセント
- ⑤医療安全の重要性研

【修医に望むこと】

- ①医療全般に対する積極的な取り組みと学習態度
- ②円滑なコミュニケーションと情報の共有
- ③健康を含めた自己管理



外科 (消化器外科)
田村 浩章

研修医からの声



定方 英作

浜松医療センターは、救急車の搬送数が浜松一・二位を争うほど多いので、救急研修がしっかりしていて、初期対応・common diseaseを勉強したい人には最適だと思います。休日の当直の際は、通常二年次研修医1名、一年次研修医1名、外科・内科医師1名ずつの計4名で、一日約100名の患者さんを診るため、様々な症例を勉強す

ることができました。
また、共同の電子カルテやパソコンを使用したり、食事をしたりできる合同医局があるため、先生どうしの仲が良く、気軽に質問できる雰囲気です。

選択にあたって注意事項

精神科での研修は出来ませんので、必要であれば大学病院研修中に行ってください。





- 概要： 病床数：744床 (H27年1月1日現在)
 医師数：257名 (H27年1月1日現在)
 1 日平均外来患者数：1571名 (H26年実績)
 1 日平均入院患者数：689名 (H26年実績)

学会施設としての認定

呼吸器外科専門医合同委員会基幹施設、骨髄移植推進財団非血縁者間骨髄移植認定施設、三学会構成心臓血管外科専門医基幹施設、関連10学会構成日本ステントグラフト実施基準管理委員会、胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設、関連10学会構成日本ステントグラフト実施基準管理委員会、腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設、経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設、不整脈専門医研修施設、婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構登録参加認定施設、日本IVR学会専門医修練施設、日本アレルギー学会準教育施設、日本医学教育学会賛助施設、日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関、日本栄養療法推進協議会NST稼働施設、日本核医学会専門医教育病院、日本家庭医療学会家庭医療研修プログラム、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本感染症学会連携研修施設、暫定指導医認定施設、日本肝臓学会認定施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設、日本形成外科学会認定医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本血液学会認定研修施設、日本健康・栄養システム学会臨床栄養士研修施設、日本高血圧学会専門医認定施設、日本中脳学会認定専門医施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設、日本呼吸器内視鏡学会指導施設、日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本周産期・新生児医学会暫定研修施設、日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度認定施設、日本看護学会認定看護機器専門医研修施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本小児外科学会小児科専門医研修支援施設、日本小児外科学会専門医制度認定施設、日本小児循環器学会小児循環器専門医修練施設、日本小児神経学会研修施設、日本小児神経学会NST稼働施設、日本小児神経学会実地修練認定教育施設、日本神経学会認定教育施設、日本心臓血管インターベンション学会認定研修施設、日本腎臓学会研修施設、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本精神神経学会専門医研修施設、日本成人心臓血管外科手術データベース施設、日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設、日本手外科学会認定研修施設、日本てんかん学会研修施設、日本頭頸部外科学会研修施設、日本透析医学会認定医認定施設、日本透析学会認定医教育関連施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本内科学会認定医制度認定教育病院、日本内分泌代謝科認定教育施設、日本乳癌学会認定医・専門医研修施設、日本脳神経外科学会研修プログラム認定施設、日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所認定施設、日本脳卒中学会専門医研修教育病院、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本病理学会認定病院認定(日本病理学会研修認定施設A)、日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設、日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設、日本放射線腫瘍学会施設、日本麻酔科学会麻酔指導病院、日本リウマチ学会教育施設、日本リハビリテーション医学会研修施設、日本臨床検査医学会認定研修施設、日本臨床細胞学会教育研修施設、日本臨床細胞学会施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、インプラント実施施設、Eキスパンダー実施施設



研修実施責任者
人材育成センター副センター長
兼総合診療内科部長
副センター長
渡邊 卓哉

●臨床研修指導医数：102名 (H27年1月1日現在) (指導医資格取得医師数)

●処遇：

研修手当(月額)	1 年次:310,000円
	2 年次:360,000円
諸手当等	
宿日直の有無	有・6回/月
勤務形態	常勤職員
保険	健保・厚生・雇用・労災加入
医師賠償責任保険	病院および個人にて加入
宿舍	無
住宅手当	無

【理念】

私たちは利用してくださる方
ひとりひとりのために最善を
尽くすことに誇りをもつ

We will take pride in delivering
optimum services, remembering always
that each patient is our ultimate
customer.

●臨床研修の特色

- Point1
総合診療内科と救急科のローテーション、および2年間通年の救急
外来日当直によって、プライマリ・ケアに重点を置いた研修ができる
Point2
病歴の聴取・身体診察に基づく鑑別診断、検査計画の立案などの
EBMに則った臨床推論、プレゼンテーションやコンサルテーション
能力の獲得ができる
Point3
高度な診療を提供している各専門診療科での研修で、さらに知識や
技術の向上ができる



お問い合わせ

聖隷浜松病院 人材育成センター◎〒430-8558 静岡県浜松市中区住吉2-12-12

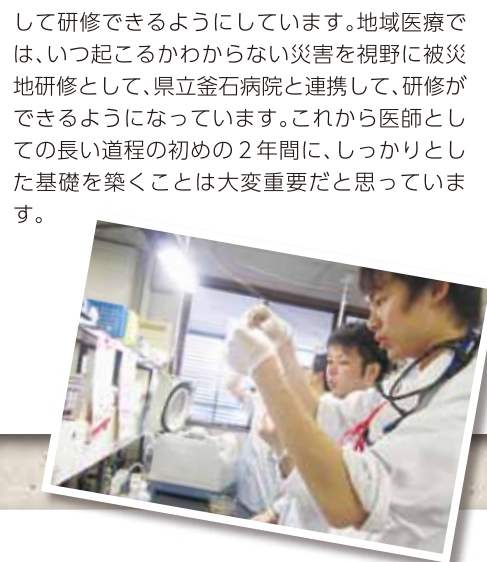
TEL:053-474-2261(直)
FAX:053-474-2262(直)

E-mail: hm-kenshu@sis.seirei.or.jp
URL: http://www.seirei.or.jp/hamamatsu/

●JR浜松駅北口 バスターミナル14番ボ
ールより下車:「せいれい病院」バス停(所要
時間 約15分)
https://www.seirei.or.jp/hamamatsu/
guidance/34.html

指導医からの声

2004年に始まった卒後臨床研修は、2010年
に、将来専門としたい診療科を視野に入れたプ
ログラムの弾力化が行われましたが、当院では、
引き続きプライマリ・ケアを重視し、将来専門
科に進むにしても、総合診療医や家庭医を目指
すにしても、2年間は広く全般にわたった研修が
意義あるものと考え、総合診療内科、救急科、地
域医療だけでなく、外科、麻酔科、産婦人科、小児
科、精神科、整形外科を必修としています。その
うで、7科ある専門内科からも選択内科とし
て、62科(標榜科35科)の診療科からも選択科と



産婦人科
人材育成センターセンター長
中山 理

研修医からの声



松本 朋樹

病院の価値とは何で決定されるのでしょうか。
それはおそらく、どの視点からその病院を見るか、
ということで変化します。そして研修医にとって、
当院は最高峰の研修病院なのだと、私はここに来
て理解しました。研修医にとつての病院選択では、
およそ3つの重要な点があります。
①医師の土台を形成する「臨床研修病院」という
特殊性を活かすことが出来るか
②学習面での環境や周囲のサポートは整っているか
③かけがえのない「出会い」はあるか
この3点こそ臨床研修で大切にすべきポイントです。
①将来の専門科が決まっている方でもそうでな
い方も、当院のER型救急診療で学ぶこと、感じる
ことはあまりに多いはず。浜松の1次～3次救
急を担い、軽症から重症まで数多くの幅広い症例
を経験することが出来ることは成長の大きな糧に
なります。そして高い専門性を持った各専門科の
診療や、ハイブリッド手術室でのTAVIを始めとす
る最先端の手術を経験することで将来の視野が
広がり、医療の未来と大きな可能性に気付くで
しょう。



②当院の中でも数多く開催される勉強会や多職
種とのカンファレンス、海外留学を見据えた英語
勉強会や米国医師を招いてのカンファレンスな
ど、国際的な活躍も視野に入れた学びが可能で
す。また、研修医でありながら地方会から国際学
会まで、熱意と努力さえあれば様々な学会で発表
し、結果を残すことが可能であると今までの先人
達が証明しています。
③744床の規模の基幹病院、257名という医師数
の中で、多くの人々と関わり、様々な出会いがあり
ます。2年間の中で自らの人生に大きな影響を与
えるものが必ずあります。そして情熱に溢れ励ま
し合える同期が、日本全国から集まってきます。こ
のかけがえのない出会いは、あなたの医師人生
の始まりにおいて何よりも重要な物です。互いに
切磋琢磨するライバル、仲間こそ人生において宝
となり得る物です。

あなたの医師人生の「きっかけ」に溢れた当院を、
是非体験してみてください。
我々は熱意ある方々を歓迎します。



33 練馬光が丘病院

HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：342床 (H26年4月1日現在)
 医師数：104名 (H26年4月1日現在)
 1 日平均外来患者数：610.3名 (H26年実績)
 1 日平均入院患者数：256.1名 (H26年実績)



学会施設としての認定

日本消化器外科学会 専門医制度指定修練施設、日本循環器学会 認定循環器専門医研修施設、日本麻酔科学会 麻酔科認定病院、日本救急医学会 救急専門医指定施設、日本外科学会 外科専門医制度修練施設(指定施設)、日本内科学会 教育関連病院、日本がん治療認定医機構 認定研修施設、日本呼吸器学会 専門医制度認定施設、日本透析医学会 教育関連施設、日本アレルギー学会 認定教育施設、日本老年病医学会 認定施設、日本神経学会 准教育施設、日本腎臓学会 研修施設、日本リウマチ学会 教育施設、日本整形外科学会 研修施設、日本大腸肛門病学会 認定施設、日本消化器内視鏡学会 指導施設、日本消化器病学会 認定施設、日本脈管学会 認定研修指定施設、日本呼吸器内視鏡学会 認定施設、日本医学放射線学会 専門医修練機関、日本泌尿器科学会 教育施設、日本超音波医学会 専門医研修施設、日本ステントグラフト実施基準管理委員会 腹部ステントグラフト実施施設、日本胆道学会 指導施設



研修実施責任者
 病院長
 川上正舒

- 臨床研修指導医数：22名 (H26年4月1日現在)
 (指導医資格取得医師数)

- 処遇：

研修手当(月額)	350,000円
諸手当等	400,000円
宿日直の有無	当直手当
勤務形態	有・4回/月
勤務形態	常勤
保険	全国健康保険協会、厚生年金、雇用保険、労災保険
医師賠償責任保険	病院にて加入
宿舍	有 34,000円
住宅手当	有(上限27,000円)

【理 念】

皆様とともに地域の発展に
 貢献致します。

●臨床研修の特色

当院は「我が国の地域医療の確保と質の向上を図る」を基本理念として設立された公益法人地域医療振興協会の中核的施設の一つです。地域医療を担う医師を育成することを目標とし、総合診療科を中心に多岐にわたる疾患に対応できるような医師育成のための研修を行っています。地域医療振興協会の運営する地域の病院や診療所、島嶼部の診療所も研修施設としており多様な場での研修が可能です。

総合診療科では、米国での内科研修を再現した北米式臨床研修を実践しており、レクチャーやカンファランスも非常に充実しています。また、月3回英国医師を交えたカンファランスやベッドサイド回診を行っています。ERでは、ER専属の救急科医師が内科系外科系すべての救急疾患の初期対応(診断と治療)を行っています。これらの診療科で研修することにより、地域医療専門医や病院総合医に必要な基本的な知識・技術および救急疾患対応能力を修得することが



可能です。
 また、当院は全ての診療科を備えており、将来専門としたい専門診療科での研修はもちろん、幅広い知識・技術を取得するために希望する専門診療科での研修も可能です。

お問い合わせ

公益社団法人地域医療振興協会練馬光が丘病院 © 〒179-0072 東京都練馬区光が丘2丁目11番1号

TEL:03-3979-3611
 FAX:03-3979-3868

E-mail : hikarigaoka@jadecom.or.jp
 URL : http://hikarigaoka.jadecom.or.jp/

●都営地下鉄大江戸線
 光が丘駅 徒歩5分

NERIMA HIKARIGAOKA HOSPITAL

指導医からの声

当院の研修では、カンファレンス・レクチャーにおいて、研修医自ら行うことによりより知識を深められるように工夫しています。もちろん診療を含めてバックアップをしっかり行っています。内科系入院の患者の多くを総合診療科で担当しており、幅広い症例を経験できます。レクチャーの内容も充実しておりますが、どのレクチャーも「明日から使える内容」をモットーに企画されていて診療に直結した内容となっています。

ぜひ、当院での研修、診療に参加していただき力をつけていただきたいと思います。



内科・循環器
 藤原 直樹

研修医からの声



沼田 佳久

練馬光が丘病院の総合診療科で研修しています。この病院の特徴は、カンファレンスが多く、各症例のフィードバックがしっかりしている点だと思います。気軽に質問できるアットホームなカンファレンスです。仕事はオーバーワークにならないよう配慮されており、勉強時間が確保できる点も魅力です。研修中は多くの症例を経験する事ができ、臨床

能力を確実に成長させられます。また内科での勉強会も多く、スタッフの先生方の指導も熱心であり、研修には申し分ない環境です。



平田 悠

練馬光が丘病院の総合内科の研修では、主治医として担当し濃密なフィードバックを頂く日々でした。勉強会も充実しており、内科的知識は勿論、EBMや倫理の勉強も出来ますし、日々の臨床の疑問の解決の仕方や勉強法も学ぶことができます。若手の先生方が多くおられますが、皆様優しく接してくれますし、医学的な知識は勿論、その他の面でも尊敬できる先生方ばかりなので非

常に刺激になりました。宿舍などの環境も整っており、初めての東京生活でしたが、申し分ない研修生活を送ることができました。





- 概要： 病床数：1208床 (H27年1月1日現在)
医師数：504名 (H27年1月1日現在)
1 日平均外来患者数：2389.2名 (H25年実績)
1 日平均入院患者数：826.1名 (H25年実績)

学会施設としての認定

日本内科学会 認定医制度教育病院、日本医学放射線学会 放射線科専門医制度修練機関(放射線診断・放射線治療・核医学診療)、日本小児科学会 小児科専門医制度研修施設、日本外科学会 外科専門医制度指定施設、日本産科婦人科学会 専門医制度卒業研修指導施設、日本救急医学会 救急科専門医指定施設、日本救急医学会 指導医指定施設、日本麻酔科学会 麻酔科認定病院、日本脳神経外科学会 研修プログラム認定病院、日本病理学会 病理専門医制度研修認定施設A、日本消化器病学会 専門医制度認定施設、日本血液学会 認定血液研修施設、日本核医学会 専門医教育病院、日本超音波医学会 認定超音波専門医研修施設、日本循環器学会 認定循環器専門医研修施設、日本消化器外科学会 専門医制度専門医修練施設、日本小児外科学会 専門医制度専門医育成認定施設、日本形成外科学会 認定医研修施設、日本整形外科学会 専門医制度研修施設、日本糖尿病学会 認定教育施設、呼吸器外科専門医認定機構基幹施設、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設、日本眼科学会 専門医制度眼科研修プログラム施行施設、日本皮膚科学会 認定専門医研修施設、日本耳鼻咽喉科学会 専門医研修施設、日本泌尿器科学会 専門医教育施設、日本腎臓学会 研修施設、日本透析医学会 認定医制度認定施設、日本輸血学会 認定医制度指定施設、日本JILH[®]-学会 認定教育施設(皮膚科)、日本JILH[®]-学会 認定教育施設 (JILH[®]・膠原病・JILH[®]-内科)、日本呼吸器学会 認定施設、日本神経学会 専門医制度教育施設、日本JIF[®]学会 教育施設、日本乳癌学会 認定医・専門医制度認定施設、日本呼吸器内視鏡学会 認定施設、日本JILH[®]学会 研修施設、日本ペインクリニック学会 認定医研修施設、日本臨床薬理学会 認定医制度研修施設、日本老年医学会 認定施設、日本消化器内視鏡学会 認定専門医制度指導施設、日本計量学会 認定施設、日本大腸肛門病学会 専門医修練施設、日本心血管インターベンション治療学会 認定研修施設、日本放射線腫瘍学会 認定施設、日本臨床細胞学会 認定施設、日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医制度認定教育施設、日本周産期・新生児医学会 周産期専門医制度認定研修施設、日本肥満学会 認定肥満症専門病院、日本臨床精神経理薬理学研修施設、日本臨床腫瘍学会 専門医制度研修施設、日本インターベンショナルラジオロジー学会 専門医修練施設認定、日本脳卒中学会 専門医認定制度研修教育病院、日本精神神経学会 精神科専門医制度研修施設、日本集中治療医学会 集中治療専門医研修施設、日本神経臨床栄養学会 NST移動施設認定、日本感染症学会 研修施設認定、日本がん治療認定医機構 認定研修施設、日本高血圧学会 専門医認定施設、日本老年精神医学会 専門医制度認定施設、日本緩和医療学会 認定研修施設、日本東洋医学会 指定研修施設、日本熱帯学会 専門医認定研修施設、一般社団法人日本アフレシス学会 認定施設、日本肝胆膵外科学会 高度技能医修練施設A認定、日本気管食道科学会 認定気管食道科専門医研修施設(咽喉科)、日本泌尿器外科学会 認定頭頸部がん専門医研修施設、日本高気圧環境・潜水医学会 認定病院、認定臨床微生物検査技術制度 研修施設、日本小児循環器学会 専門医修練施設群、日本小児JILH[®]学会 認定研修施設、日本手外科学会 認定研修施設(基幹研修施設)、日本婦人科腫瘍学会 専門医制度指定修練施設、日本心臓血管病学会 認定基幹施設、日本生殖医学会 指定専門医制度研修連携施設、日本外傷学会 認定専門医研修施設、日本外科感染症学会 認定教育施設、日本小児がん学会 認定小児血液・がん専門医研修施設、日本カプセル内視鏡学会 暫定指導施設、日本不整脈学会・日本心電学会認定 不整脈専門医研修施設、日本スタンダグラフ実施基準管理委員会 認定腹部スタンダグラフ実施施設、日本遠隔カウンセリング学会 認定研修施設



研修実施責任者
臨床研修センター長
大坪 毅人

●臨床研修指導医数：175名 (H27年1月1日現在) (指導医資格取得医師数)

●処 遇：

研修手当(月額)	1 年次:基本給20万円、研修医手当3万円
	2 年次:基本給20万円、研修医手当3万円
諸手当等	当直(病棟、夜間急) 手当、通勤手当
宿日直の有無	診療科による・当直4回/月、休日の日直1回/月
勤務形態	午前8時30分より午後5時まで(土曜日は12時30分まで)ただし、研修医が自主的に行う研修についてはこの限りではない。休日は日曜日、国民の祝日、開学記念日(10月第2土曜日)、第1・3土曜日、年末年始(12月29日から翌1月3日)
保険	日本私立学校振興・共済事業団(健康保険、年金等、社会保険制度)加入。労働者災害補償保険加入。
医師賠償責任保険	個人加入
宿舍	有(月額12,000円。水道代、共有部分の光熱費は病院負担。)
住宅手当	無



●臨床研修の特色

【理 念】

医師としての使命感に燃え、優れた臨床技能と熱い情熱・魂を持ち、愛ある医療を実践できる良医を育成する。

【基本方針】

1. 日常臨床で頻繁に遭遇する疾患から専門性の高い疾患、救急疾患まで幅広く研修する。
2. 聖マリアンナ医科大学病院群として、基幹型研修病院、協力型研修施設が密接な連携を保ちながら、希望に沿った幅広い研修を行う。
3. 病院間・診療科間の垣根を越えた、働きやすい環境の元で研修する。
4. 協力型研修施設がそれぞれ病院の特徴を有効に活用し、研修医のキャリアデザインに合った研修を可能にする。
5. 最短での学位・専門医の取得を支援する。
6. 研修医が研修センター運営委員会に積極的に参加し、研修環境や研修内容の改善に努める。
7. 後期研修を見据えた研修を行う。

聖マリアンナ医科大学病院 臨床研修センター◎〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1

お問い合わせ

TEL:044-977-8111(内3920)
FAX:044-976-7253

E-mail: rinshokenshu@marianna-u.ac.jp
URL: http://rinsho.marianna-u.ac.jp/

- 小田急線:向ヶ丘遊園駅、生田駅、百合ヶ丘駅、新百合ヶ丘駅
- 東急田園都市線:あざみ野駅、宮前平駅、溝の口駅
- JR南武線:武蔵溝ノ口駅
- 各駅よりバス15分から30分

指導医からの声

■日頃よりどんな点に注意して研修医指導をしていますか

初期臨床研修期間の2年間の目標には2つあると思います。一つはプライマリーケアについて理解を深める事であり、もう一つは将来自分の進みたい道への基礎を作る事ことです。

初期臨床研修のわずか2年間でプライマリーケアすべてを習得することは不可能ですが、その仕組みを理解し基本的診察能力(知識に加え、情報を処理する能力、総合的に判断する力、実際の医療を実践する手技・技能、態度)を身につけることができるよう指導しています。

また、研修期間中に行うもう一つの目標として、将来自分の目指す専門分野で行われていると思われる専門性の高い医療を実際に経験することも重要です。これらのことのみならず、将来の専門に関連する分野を経験する事も非常に重要であります。聖マリアンナ医科大学病院は大学病院で

ありながら1次、2次、3次救急を擁する一方で、地域の中核病院として高い専門性を有する30の診療科を擁しておりますので、プライマリーケアの基礎となる基本的診察能力を磨き、高い専門性の医療を経験することが可能です。

■研修医に何を望んでいますか

医師としてのキャリアデザインは、一人ひとりみんな違うはずです。将来は開業して地域医療に貢献したい、もっと専門的な高度医療を学びたい、外科医として腕を磨きたいなどなど。でも、基本的な診療能力は、初期臨床研修の2年間で重要であることは紛れもない事実です。

大切なことは多くの経験をやみくもに積むことではなく、一人ひとりの患者を経験しながら自分で学んでいく力、自分で解決していく力を身に付けることだと私たち聖マリアンナ医科大学は考えています。



消化器・一般外科
大坪 毅人

研修医からの声

初期臨床研修医 2 年
天野江里子

「病院見学をして自分が動いているイメージを」研修生活が始まって、あっという間に一年が経ちました。私は研修先を決める前に、複数箇所の病院に見学に行きましたが、最終的には自分が動いていくことを最も想像できた場所を選びました。病院見学は、たった一日かもしれませんが、パンフレットやホームページから得られる情報とはまた違ったものをたくさん感じられるので、ぜひ実際に足を運んでみることをおすすめします。どの病院にも必ず長所・短所はあり、これから研修先を考える皆様はたくさん悩むことと思います。一番

大切なことは、自分で考え、決めることだと思っています。私はここで研修していることを後悔したことは一度もありません。指導医の先生方、病棟その他院内で私たちを支えて下さるスタッフの方々、同期の皆、そして患者さん…恵まれた出会いに感謝しながら、日々奮闘しています。皆さんと共に働くことができる日を、楽しみにしています。あなたの医師人生の「きっかけ」に溢れた当院を、是非体験してみして下さい。我々は熱意ある方々を歓迎します。

初期臨床研修医 2 年
鈴木知美

「積極的に医療に参加し、さまざまな経験ができる恵まれた環境です」私は他大学の出身ですが、自分の育った地域で医療に携わりたいと思い、聖マリアンナ医科大学病院での研修を選択しました。自分の大学を離れて他大学へ移ることへの不安はありましたが、明るく、優しい同期に恵まれ、互いに切磋琢磨しながら研修生活を送ることができています。研修を初めてからは、大学病院ならではの難しい症例に頭を抱えることも多いですが、そのような症例にも最後まで担当医として関わることが大学病院での

研修の大きなメリットだと思います。どの科も様々な先生方の考え方を吸収することができ、また自分の考えを発言しやすい環境であり、手技も多く経験させてもらえるため、研修医が積極的に医療に参加できる恵まれた環境だと思います。さらに2年目の地域医療研修(近隣や遠隔地)では外の病院で研修することができるため、大学病院での研修だけでは経験できない、より地域に密着した医療を経験することも出来ます。自分で目標を定め、行動できるため2年間の研修で総合力を高めることが出来るプログラムだと思います。

選択にあたって注意事項

1. 希望者が多い場合は、調整させていただくことがあります。
2. 選択科研修は 2 か月となります。

35 東京北医療センター

HOSPITAL GUIDE BOOK FOR CLINICAL TRAINING

- 概要： 病床数：280床 (H27年1月1日現在)
医師数：112名 (H27年1月1日現在)
1 日平均外来患者数：828.1名 (H25年実績)
1 日平均入院患者数：222.1名 (H25年実績)

学会施設としての認定

臨床研修指定病院、日本内科学会認定教育病院、日本感染症学会連携研修施設、日本循環器学会認定循環器科専門医研修関連施設、日本小児科学会認定小児科専門医研修施設、日本小児神経学会認定小児神経科専門医研修施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本透析医学会認定教育関連施設、日本整形外科学会認定専門医制度研修施設、日本脳神経外科学会認定指定研修施設、日本麻酔科学会認定麻酔科認定研修施設、日本外科学会認定専門医制度修練施設、日本消化器外科学会認定専門医修練施設、日本産科婦人科学会総合型専攻医指導施設、日本医学放射線学会認定放射線科専門医修練協力機関、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医研修施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医教育施設、日本乳癌学会認定・専門医関連施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本静脈経腸学会認定NST稼働施設、日本神経学会専門医准教育施設、日本肝臓学会認定専門医関連施設



研修実施責任者
臨床研修センター長
梅屋 崇

- 臨床研修指導医数：24名 (H27年1月1日現在)
(指導医資格取得医師数)

●処遇：

研修手当 (月額)	1 年次: 350,000円 2 年次: 400,000円
諸手当等	時間外手当: 無、休日手当: 無
宿日直の有無	有・4～5 回/月
勤務形態	常勤
保険	公的医療保険: 全国健康保険協会 東京支部 公的年金保険: 厚生年金保険 労働者災害補償保険法の適用: 有 国家・地方公務員災害補償法の適用: 無 雇用保険: 有
医師賠償責任保険	病院において加入: する 個人加入: 任意
宿舍	有15,000円～
住宅手当	有

【理念】

地域の皆さま、医療機関、
行政との連携を大切にし、
愛され、親しまれ、信頼される
病院となることを目指します。

●臨床研修の特色

当院は、地域医療・へき地医療を支援する公益社団法人地域医療振興協会の基幹病院であり、将来地域やへき地で働く医師の養成に特化した初期・後期研修プログラムを提供しています。具体的には、上級医の指示のまに診療するのではなく、主治医としての責任を意識しながら自ら考え、一つ一つの判断にこだわりを持ちながら研修を進めることにより、身近に相談できる上級医がいない状況でも自力で情報収集し、問題解決しながら主体的に診療することのできる医師を養成しています。見学主体となりがちな地域研修を、その地域に1つしか医療機関がないようなへき地で、訪問診療や保健活動などを3ヶ月間本格的に体験できる、貴重なプログラムです。



TOKYO-KITA MEDICAL CENTER

Aコース

Bコース

Cコース

Dコース

Eコース

指導医からの声

医学の進歩と経済的発展にも後押しされて、日本は世界一長寿の国となっています。しかし、合計特殊出生率が1.5を下回り、高齢化率は着々と上昇しています。人口が減少していくこれからの日本の経済的発展を、今までのように期待することはできません。国自体が、急速に年を取っているとも言えると思います。これからの医師として働く皆さんは、医学の発展に寄与する一方で、加齢する日本国の医師として活躍することを期待されています。

東京北医療センターは、公益法人地域医療振興協会によって運営されており、協会内外の研修施設と連携した地域志向型の初期研修プログラムを提供しています。地域をどのように定義するかによって皆さんの活躍するフィールドは変わりますが、その地域ごとに、医療を取り巻く環境が異なっています。当プログラムの最大の特徴は、北

は北海道、南は沖縄まで多くのフィールドで、地域に密着した初期臨床研修できることです。異なった地域のニーズやスタイルを学ぶことは、長い医師のキャリアの財産になると確信します。我々が考える地域医療は、医療者が地域住民(患者)と地域の政治(行政)と協力して、持てる資源を最大限の利用し作って行くものです。資源の最大活用には、広い視点で行われる総合診療が必須であり、当院では地域や総合診療にウエイトをおいた初期研修を提供しています。

東京都内の救急病院での総合診療と地域診療所での総合診療に求められる知識や技能は、共通点も多いですが、必ずしも同一ではありません。両方のフィールドで研修しながら、これからの自分の方向を定めて行った先輩研修医が多数います。貴方も、東京北医療センターの地域志向型初期研修プログラムで、地域医療入門しませんか？



総合診療科
梅屋 崇

研修医からの声



児玉 崇志

当院の初期研修の特徴として1年次のハーフデイベック、2年次の内科初診外来、総合診療科での主治医制度、計3ヶ月の地域研修があります。ハーフデイベックは1年次の毎週火曜午後の半日間を使っての勉強会で、態度・特異度を意識した身体診察、EBMの実践法、医療倫理まで内容は様々です。2年次になると週1回の内科初診外来が始まり、指導医にコンサルトしながら問診し、治療方針を決定します。総合心療科での3ヶ月は主治医となり、指導医のバックアップのもと治療方針、IC、退院調整までを1年次から担当します。地域研修では全国の協会内施設で、地域医療のスペシャリ

ストの指導のもとに外来診療や訪問診療を実践します。これらの研修を通して、自分自身で調べて考えることができる医師になること、また、退院後の生活のことや病院にこない患者さんの健康についても考えられる医師になることを目指しています。集まる研修医の将来の目標は地域、総合診療、専門医と様々ですが、勉強会などで集まる機会も多く、支え合い切磋琢磨して研修に励んでいます。指導医や病院スタッフの雰囲気も温かく、とても働きやすい環境です。地域医療や総合診療、EBMIに興味がある方など、ぜひ一度見学に来て下さい。

選択にあたって注意事項

当院では、主に総合診療科での内科研修、救急研修、地域研修で主治医としての責任を自覚してもらい、自ら考えて行動することを重視しています。かなりハードな研修となることを承知してください。



東京北医療センター◎〒115-0053 東京都北区赤羽台4-17-56

お問い合わせ

TEL:03-5963-3311
FAX:03-5963-6678

E-mail: kensyu-j@tokyokita-jadecom.jp
URL: http://www.tokyokita-jadecom.jp/

●JR京浜東北線、埼京線。宇都宮線、高崎線

研修可能な診療科

		長崎大学病院	長崎なまでアルセナール市民病院	日本赤十字社長崎原爆病院	済生会長崎病院	上吉町病院	長崎記念病院	井上病院	光晴会病院	虹が丘病院	護国総合病院	市立大村市民病院	長崎県島原病院	長崎医療センター	佐世保市立総合病院	佐世保中央病院	長崎分災病院	佐世保共済病院
内科			○	○	○	○	○	○	○		○	○	△*5	○	○	○	○	△
呼吸器内科		○	○	○	○			○	○	○	○	○	△*5	○	○	○	○	
内分泌・代謝内科		○	○	○	○			○	○	○	○			○	○			
リウマチ・膠原病内科		○		○					○		○				○	○	○	
循環器内科(循環器科)		○	○	○	○			○	○	○	○	○	△*5	○	○	○	○	○
腎臓内科		○			○			○	○	○	○	○		○	○	○		○
消化器内科		○	○	○	○			○	○	○	○	○	△*5	○	○	○	○	○
血液内科		○	○	○									△*5	○	○		○	
感染症内科		○								○							○	
総合診療科		○			○			○				○		○	○			
神経内科(神経科)		○	○	○				○			○			○	○	○		
胃腸科								○						○				
生活習慣病			○		○			○						○				
糖尿病			○		○			○	○	○	○			○	○*7			
脳卒中センター		○												○				
外科			○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
心臓血管外科		○	○						○	○		○		○	○	○		
呼吸器外科		○		○					○		○				○	○		
消化器外科		○		○				○	○	○	○				○	○		
乳腺内分泌外科(乳腺外科)		○		○				○	○		○				○	○		
胸部血管外科(胸部外科)								○	○									
小児外科		○												○				
整形外科		○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○
形成外科		○	○				○	○						○	○			
脳神経外科(脳外科)		○	○		○								○	○	○	○	○	
脊椎脊髄外科																		
放射線科		○	○	○				○		○	○	○	○	○	○	○		
精神科神経科		○	○											○		○		
心療内科			○															
小児科		○	○		○		○				○		○	○	○	○		
産科婦人科		○	○								○			○	○			
婦人科				○	○													
新生児科																		
皮膚科		○	○	○								○		○	○			
眼科		○	○	○				○							○			
耳鼻咽喉科		○	○	○							○	○		○	○	○		
泌尿器科		○	○	○			○		○			○		○	○	○		
麻酔科		○	○	○	○			○			○	○	△*6	○	○	○	○	
緩和ケア(内科)(緩和医療科)			○					○										
検査部		○						○										
救急部		○	○	○	○							○		○	○			
病理部(病理診断科)		○	○	○				○						○	○	○		
集中治療部		○	○*8															
外傷センター		○																
国際ヒバクシャ医療センター		○																
リハビリテーション科					○			○		○				○				
脳卒中診療科				○									○		○		○	
脳血管内治療科				○									○		○		○	
じん肺					○			○										
禁煙					○			○										
感染制御科		○																
受入人数	平成27年度	70	10	8	4	1	-	-	-	-	10	2	2	2	12	6	2	-
	平成28年度	70	10	8	4	1	1	1	1	1	10	2	2	2	12	6	2	1

※1内科、外科、整形外科他の中で救急医療、ヘリ搬送、洋上救急を行う ※2女性総合外来含む ※3研修期間は1か月のみ
※4院外研修※510月～3月 ※65月以外※79月～3月 ※8救急科もしくは麻酔科のローテート後

研修可能な診療科

		五島中央病院 ※1	佐賀病院	嬉野医療センター	福岡青洲会病院	北九州市立八幡病院	北九州総合病院	田川市立病院	大分県立病院	山口県立総合医療センター	周南記念病院	医療会病院	浜松医療センター	東京ベイ・浦安市川医療センター	練馬光が丘病院	聖隷浜松病院	聖マリアンナ医科大学病院	東京北医療センター
内科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○
呼吸器内科				○	○		○		○		○	○	○	○	○	○	○	○
内分泌・代謝内科				○				○	○			○	○	○	○	○	○	
リウマチ・膠原病内科				○			○		○				○		○	○	○	
循環器内科(循環器科)				○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
腎臓内科				○	○			○	○			○	○	○	○	○	○	○
消化器内科				○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
血液内科								○					○				○	
感染症内科													○	○				
総合診療科					○							○	○	○	○	○		
神経内科(神経科)				○	○				○	○	○		○*3			○	○	○
胃腸科					○			○										
生活習慣病					○							○						
糖尿病					○			○				○						
脳卒中センター												○						
外科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
心臓血管外科				○					○	○		○	○	○	○	○	○	
呼吸器外科				○	○	○			○		○	○	○			○	○	
消化器外科				○	○			○	○		○	○	○	○	○	○	○	
乳腺内分泌外科(乳腺外科)				○	○			○			○	○	○	○	○	○	○	
胸部血管外科(胸部外科)				○							○		○					
小児外科									○	○				○		○	○	
整形外科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
形成外科			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
脳神経外科(脳外科)				○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
脊椎脊髄外科					○							○						
放射線科		○	○	○	○	○	○*3		○	○		○	○	○	○	○	○	○
精神科神経科		○				○*4				○						△	○	
心療内科																		
小児科		○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	○	△	○	○
産科婦人科		○	○	○		○*4		○	○	○			○	○	○	○	○	○
婦人科								○				○		○		○	○	
新生児科								○	○							△	○	
皮膚科			○	○		○		○	○	○					○	○	○	○
眼科		○	○			○			○	○			○	○		○	○	○
耳鼻咽喉科		○		○		○	○		○	○			○			○	○	○
泌尿器科		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○	○	○
麻酔科				○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
緩和ケア(内科)(緩和医療科)									○				○					
検査部									○							○		
救急部		○		○	○	○	○		○			○	○	○	○	○	○	
病理部(病理診断科)				○	○		○					○	○	○		○	○	
集中治療部												○						
外傷センター																		
国際ヒバクシャ医療センター																		
リハビリテーション科		○		○												○		○
脳卒中診療科																		
脳血管内治療科												○						
じん肺						○												
禁煙						○												
感染制御科																		
受入人数	平成27年度	2	5	4	-	4	4	2	3	6	1	-	2	1	1	1	1	1
	平成28年度	2	5	4	4	4	4	2	3	6	1	1	2	1	1	1	1	1

※1内科、外科、整形外科他の中で救急医療、ヘリ搬送、洋上救急を行う ※2女性総合外来含む ※3研修期間は1か月のみ
※4院外研修※510月～3月 ※65月以外※79月～3月 ※8救急科もしくは麻酔科のローテート後

新・鳴滝塾トライアングルコース(長崎大学病院臨床研修基本プログラムDコース)研修可能な診療科

○:通年を通じて可 △:指定期間のみ可	長崎大学病院	長崎みなと メディカルセンター 市民病院	日本赤十字社 長崎原爆病院	済生会長崎病院	上戸町病院	長崎医療センター	市立大村市民病院
内科(一般)		○	○	○	○		○
呼吸器内科	○	○	○	○			○
内分泌・代謝科	○	○	○	○			
リウマチ・膠原病内科	○		○				
循環器内科	○	○	○	○			○
腎臓内科	○			○			○
消化器内科	○	○	○	○			○
血液内科(原研内科)	○	○	○				
感染症内科(熱研内科)	○						
総合診療科	○			○		△:1年次 11月～2年次 8月のうちの6ヶ月間	○
神経内科		○	○				
胃腸科							
生活習慣病		○		○			
糖尿病		○	○	○			
脳卒中センター	○						
外科		○	○			△:2年次 10月～翌年3月の6ヶ月間	○
心臓血管外科	○	○					○
呼吸器外科	○		○				
消化器外科	○		○				
乳腺・内分泌外科	○		○				
小児外科	○						
整形外科	○	○	○	○	○		○
形成外科	○	○					
脳神経外科	○	○		○			
脊椎脊髄外科			○				
放射線科	○	○	○				○
精神科神経科	○	○					
心療内科		○					
小児科	○	○		○			
新生児小児科							
女性総合外来							
産(科)婦人科	○	○	○(婦人科のみ)	○(婦人科のみ)			
皮膚科	○	○	○				○
眼科	○	○	○				
耳鼻咽喉科	○	○					○
泌尿器科	○	○	○				○
麻酔科	○	○	○	○		△:2年次 2～6ヶ月間	○
緩和ケア内科		○					
検査部	○						
臨床検査科							
救命救急	○					△:2年次 10月～翌年3月の6ヶ月間	
救急		○	○	○			○
病理部	○		○				
病理診断科		○				△:2年次 3～6ヶ月間	
創傷センター							
認知症疾患							
ストーマ							
洋上救急							
集中治療部	○	○:救急科もしくは麻酔科のローテート後					
外傷センター	○						
国際ヒバクシャ医療センター	○						
リハビリテーション科					○		
脳卒中診療科				○			
脳血管内治療科				○			
胸部外科							
肛門科							
睡眠障害							
じん肺					○		
禁煙					○		
感染制御科	○						

※選択する施設の基幹型研修と重複しないよう、事前に調整が必要です。

○:通年を通じて可 △:指定期間のみ可	豊島総合病院	長崎県島原病院	佐世保市 総合医療センター	佐世保中央病院	佐世保共済病院	長崎労災病院	長崎県五島中央病院	長崎県上五島病院
内科(一般)	△:秋以降なら可	△:10月～3月	○		△	○	○	○
呼吸器内科	△:秋以降なら可	△:10月～3月	○	○		○		
内分泌・代謝科	△:秋以降なら可		○					
リウマチ・膠原病内科	△:秋以降なら可		○	○				
循環器内科	△:できれば9月～3月	△:10月～3月	○	○	○	○		
腎臓内科	△:秋以降なら可		○	○	○			
消化器内科	△:秋以降なら可	△:10月～3月	○	○	○	○		
血液内科(原研内科)		△:10月～3月	○					
感染症内科(熱研内科)						○		
総合診療科								
神経内科	△:秋以降なら可		○	○				
胃腸科			○			○		
生活習慣病			○					
糖尿病	△:秋以降なら可		○	△:9月～3月のみ				
脳卒中センター						○		
外科	○	○:できれば2年次	○	○	○	○	○	○
心臓血管外科			○	○				
呼吸器外科	○		○					
消化器外科	○		○			○		
乳腺・内分泌外科	○		○			○		
小児外科		△:10月～3月	○					
整形外科	○	○	○		○	○	○	○
形成外科			○			○		
脳神経外科		○:できれば2年次	○	○		○		
脊椎脊髄外科						○		
放射線科	○	○	○	○		○	○	
精神科神経科			○(神経内科)				○	
心療内科								
小児科	△:秋以降なら可		○	○			○	○
新生児小児科								
女性総合外来								
産(科)婦人科	△:10月以降なら可		○		○		○	
皮膚科			○			○		
眼科			○				○	
耳鼻咽喉科	○		○				○	
泌尿器科	○		○	○	○		○	
麻酔科	△:2年次は通年を通じて可1年次は麻酔科を履修後なら可	△5月以外	○		○	○		
緩和ケア内科								
検査部								
臨床検査科								
救命救急			○					
救急			○			○	○:1年次は、整形外科など他施設へリハビリを要する場合は、要相談	
病理部								
病理診断科			○	○	○			
創傷センター								
認知症疾患								
ストーマ								
洋上救急								
集中治療部						○		
外傷センター								
国際ヒバクシャ医療センター								
リハビリテーション科			○				○	
脳卒中診療科		○:できれば2年次	○			○		
脳血管内治療科		○:できれば2年次	○			○		
胸部外科								
肛門科								
睡眠障害								
じん肺								
禁煙								
感染制御科								

お問い合わせ先一覧

1	長崎大学病院	医療教育開発センター	TEL:095-819-7874
		http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kaihatu/	
2	長崎みなとメディカルセンター 市民病院	教育研修センター	TEL:095-822-3251
		http://shibyo.nmh.jp/	
3	日本赤十字社 長崎原爆病院	総務課	TEL:095-847-1511
		http://www.nagasaki-med.jrc.or.jp/	
4	社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 済生会長崎病院	臨床研修教育センター	TEL:095-826-9236
		http://www.nsaisei.or.jp/	
5	健友会 上戸町病院	研修担当	TEL:095-879-0705
		http://www.kenyukai.or.jp	
6	長崎記念病院	事務部	TEL:095-871-1515
		http://www.nmhp.or.jp/	
7	井上病院	事務担当	TEL:095-844-1281
		http://www.shunkaikai.jp/inoue/	
8	光晴会病院	事務	TEL:095-857-3533
		http://www.kouseikai.org/	
9	虹が丘病院	事務	TEL:095-856-1112
		http://www.nijigaoka.org/	
10	諫早総合病院	庶務課	TEL:0957-22-1380
		http://isahaya.jcho.go.jp/	
11	市立大村市民病院	総務課	TEL:0957-52-2161
		http://www.omh-jadecom.jp/	
12	長崎県島原病院	総務課	TEL:0957-63-1145
		http://www.shimabarabyoin.jp/	
13	独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター	教育センター	TEL:0957-52-3121
		http://www.nagasaki-mc.jp/	
14	佐世保市総合医療センター	総務課	TEL:0956-24-1515
		http://www.hospital.sasebo.nagasaki.jp/	
15	社会医療法人財団 白十字会 佐世保中央病院	総務課	TEL:0956-33-7151
		http://www.hakujyujikai.or.jp/chuo/	
16	労働者健康福祉機構 長崎労災病院	総務課	TEL:0956-49-2191
		http://www.na-robyo.jp/	
17	独立行政法人 国立病院機構 長崎川棚医療センター	管理課	TEL:0956-82-3121
		http://www.nkmc.jp/	
18	国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院	総務課	TEL:0956-22-5136
		http://kkr.sasebo.nagasaki.jp/	

19	長崎県五島中央病院	総務課	TEL:0959-72-3181
		http://www.gotocyuoh-hospital.jp/	
20	長崎県上五島病院	総務係	TEL:0959-52-3000
		http://www.kamigoto-hospital.jp/	
21	国立病院機構 佐賀病院	管理課	TEL:0952-30-7141
		http://www.saga-hosp.jp/	
22	独立行政法人 国立病院機構 嬉野医療センター	管理課	TEL:0954-43-1120
		http://www.uresino.go.jp/	
23	福岡青洲会病院	事務局	TEL:092-939-0010
		http://www.f-seisyukai.jp/	
24	北九州市立八幡病院	事務局	TEL:093-662-6565
		http://www.yahatahp.jp/	
25	特定医療法人 北九州病院 北九州総合病院	臨床研修事務局	TEL:093-921-0560
		http://www.kitakyu-hp.or.jp	
26	田川市立病院	総務課	TEL:0947-44-2100
		http://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp/	
27	大分県立病院	教育研修センター	TEL:097-546-7111
		http://hospital.pref.oita.jp/	
28	山口県立総合医療センター	総務課	TEL:0835-22-4411
		http://www.ymghp.jp	
29	社会医療法人 同仁会 周南記念病院	総務課	TEL:0833-45-3330
		http://shunan-kinen.jp	
30	医誠会病院	臨床研修管理室	TEL:06-6307-2151
		http://www.iseikaihp.or.jp/	
31	浜松医療センター	経営企画課 人材育成係	TEL:053-453-7111
		http://www.hmedc.or.jp/	
32	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院	人材育成センター	TEL:053-474-2261
		http://www.seirei.or.jp/hamamatsu/	
33	練馬光が丘病院	総務課	TEL:03-3979-3611
		http://hikarigaoka.jadecom.or.jp/	
34	聖マリアンナ医科大学病院	臨床研修センター	TEL:044-977-8111
		http://www.marianna-u.ac.jp/hospital/	
35	東京北医療センター	総務課	TEL:03-5963-3311
		http://www.tokyokita-jadecom.jp/	